大学院学生募集要項

令和８年10 月入学
令和９年４ 月入学
令和９年10 月入学（持続可能社会創成学環のみ）

人文社会芸術総合研究科（修士課程）
総合医薬学研究科（修士課程、博士前期課程、博士後期課程、博士課程）
理工学研究科（博士前期課程、博士後期課程）
持続可能社会創成学環（修士課程）
医薬理工学環（博士前期課程、博士後期課程）

令和８年４月

富山大学

不測の事態により、試験日程等本学生募集要項の内容を変更する場合があります。変更する必要が生じた場合は、
本学ウェブサイトでお知らせいたしますので、最新の情報を確認するよう留意してください。
https://www.u-toyama.ac.jp

目　　　　　　次

富山大学大学院の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
1　概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
2　プログラムの概要及び学位・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
3　教育方法の特例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
4　入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

修士課程・博士前期課程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
1　募集人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
2　入学者選抜日程の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
3　出願資格等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
4　入学者選抜方法　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
（1）人文社会芸術総合研究科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
入学試験関係日程
募集人員
入学者選抜方法
試験日程及び試験場
合否判定基準
入試情報開示
合格者発表
追加合格
（2）総合医薬学研究科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
入学試験関係日程
募集人員
入学者選抜方法
試験日程及び試験場
外部英語試験の利用について
合否判定基準
入試情報開示
合格者発表
（3）理工学研究科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
入学試験関係日程
募集人員
入学者選抜方法
試験日程及び試験場
外部英語試験の利用について
合否判定基準
入試情報開示
合格者発表
入学確約書
（4）持続可能社会創成学環・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
入学試験関係日程
募集人員
入学者選抜方法
試験日程及び試験場
外部英語試験の利用について
合否判定基準
入試情報開示
合格者発表
（5）医薬理工学環・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57
入学試験関係日程
募集人員
入学者選抜方法
試験日程及び試験場
外部英語試験の利用について
合否判定基準
入試情報開示
合格者発表

博士課程・博士後期課程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
1　募集人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63
2　入学者選抜日程の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
3　出願資格等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65
4　入学者選抜方法　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
（１）総合医薬学研究科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
入学試験関係日程
募集人員
入学者選抜方法
試験日程及び試験場
外部英語試験の利用について
合否判定基準
入試情報開示
合格者発表
（２）理工学研究科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73
入学試験関係日程
募集人員
入学者選抜方法
試験日程及び試験場
外部英語試験の利用について
合否判定基準
入試情報開示
合格者発表
（３）医薬理工学環・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76
入学試験関係日程
募集人員
入学者選抜方法
試験日程及び試験場
外部英語試験の利用について
合否判定基準
入試情報開示
合格者発表
共通事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80
1　出願期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81
2　出願の流れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81
3　事前準備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 86
4　検定料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 87
5　出願書類等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 88
（１）修士課程・博士前期課程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 88
（２）博士後期課程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 94
（３）博士課程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 95
6　出願上の注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 97
7　出願資格の事前審査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 97
8　受験票及び受験上の注意事項の印刷・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 99
9　不正行為について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 99
10　入学手続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100
11　志願者の個人情報の取扱いについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 101
12　安全保障輸出管理について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 101
13　障害等のある入学志願者の事前相談・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 101
14　書類提出先・問合せ先・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 102

添付書類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 104
入学志願票（見本）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 105
宛名シート（見本）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 106
安全保障輸出管理に関する誓約書（入学・採用時）・・・・・・・・・・・・・・・・ 107
外国為替及び外国貿易法第２５条第１項及び第２項の遵守のための特定類型該当性に
関する誓約書　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 108
検定料返還請求書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 110

大学院教職実践開発研究科の募集については、本要項とは別に公表する「富山大学大学院教職実践開発研究科専門職学位課程［教職大学院］学生募集要項」を確認してください。

富山大学大学院の概要

1　概要

富山大学は、「“人”と“地”の健康を科学する大学」として、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会（Society5.0）とSDGｓに貢献できる人材育成を行うために、従来の大学院組織を改組して、令和４年４月に新たな大学院を設置しました。

新大学院は、「人文社会芸術総合研究科」「持続可能社会創成学環」「理工学研究科」「医薬理工学環」「総合医薬学研究科」の５研究科・学環から構成され、また、専門職大学院として「教職実践開発研究科」が設置されており、文系や理系の枠を超えた分野横断的な教育・研究を実施しています。

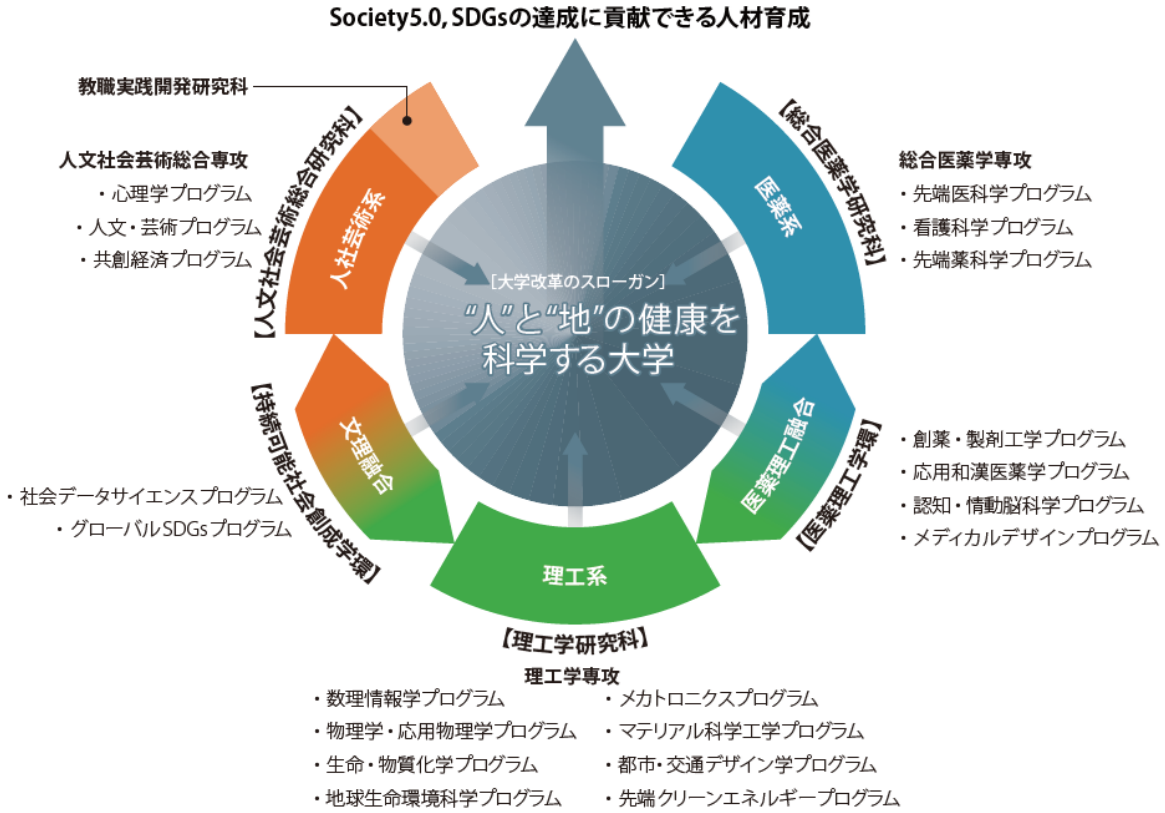
現代の社会課題は複雑化しています。そのため、単に専門性が高いだけでは複雑化する社会課題に対応できません。「専門知」と「総合知」を兼ね備えた人材が求められています。

そこで、本学大学院では、大学院レベルの教育を受けた者であれば誰しもが修得すべき知識や技術として「大学院共通科目」を設けており、総合性を修得します。また、それぞれの分野の知識や技術を習得する「研究科共通科目」や「プログラム科目」を設けており、専門性を修得します。

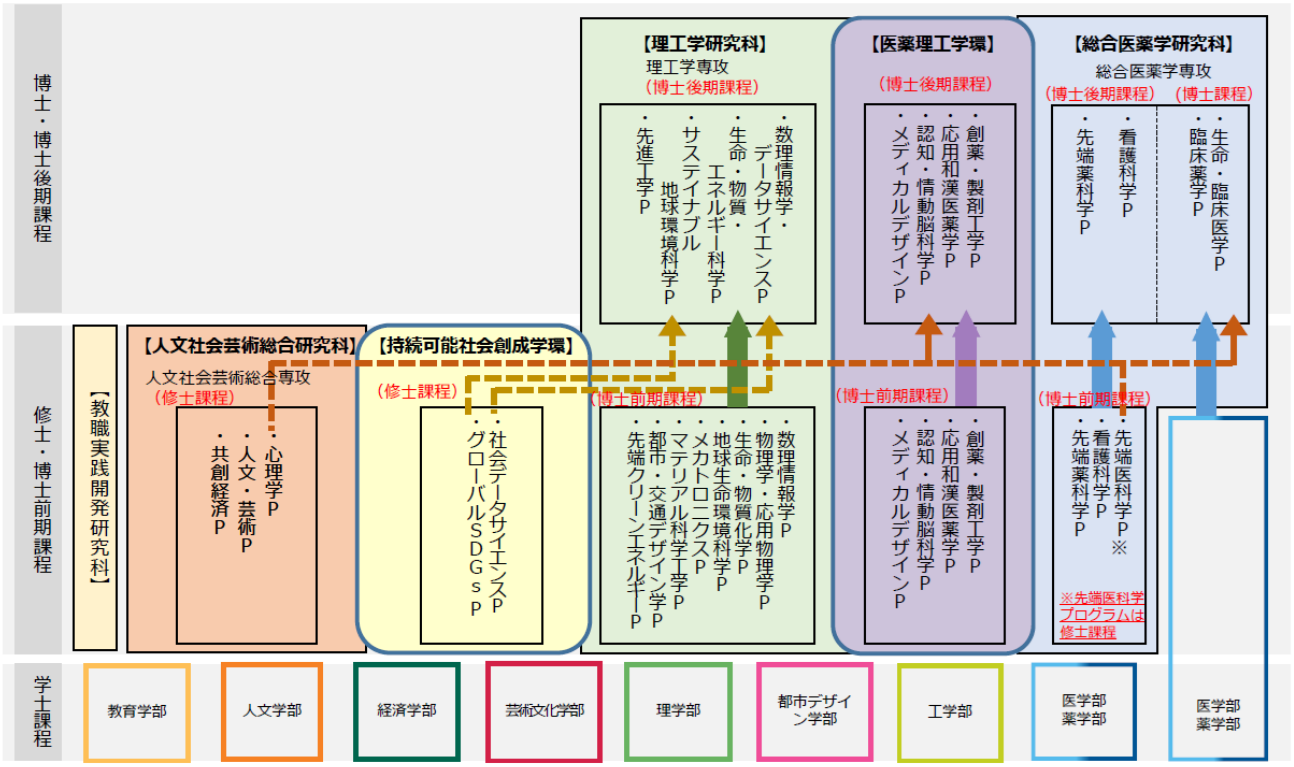
指導体制も、大学院生自身の専攻分野を専門とする主指導教員と、専門領域の異なる副指導教員の複数指導教員体制で指導しており、主指導教員からの指導により自身の専門領域を深めるとともに、副指導教員からの指導により多角的な視点を修得します。

また、オンデマンド教育の充実を図っており、履修者の都合に合わせた場所や時間で学修できるよう配慮しています。

こうした大学院教育によりSociety5.0やSDGｓに貢献できる人材を育成しています。



富山大学組織図



2　プログラムの概要及び学位

各研究科・学環（以下「研究科等」という。）の指導教員、授業科目は、それぞれのウェブサイトに掲載しています。

修士課程・博士前期課程

研究科等	プログラム	概要（特徴）	学位
人文社会芸術総合研究科人文社会芸術総合専攻	心理学プログラム	心理学の高度な専門的学識を修得し、心理学的洞察力と高い倫理観、豊かな実践能力を備えることにより、「“人”と“地”の健康」に貢献する人材を養成します。国家資格である公認心理師養成にも対応します。	修士（心理学）
	人文・芸術プログラム	人文科学と芸術文化学における高度な専門的知識・技能・倫理観と、専門分野を横断した複眼的視点を学ぶことで、新たな文化的・社会的価値を創りだす力を身につけます。	修士（文学） 修士（芸術文化学）
	共創経済プログラム	修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた４つの能力を修得できるよう共創経済プログラムに関わる専門分野（経済学、経営学、法学、デザイン学）の体系的な学修を可能とする教育課程を編成しており、修士（経済学、経営学）のいずれかの学位を取得することができます。	修士（経済学） 修士（経営学）
総合医薬学研究科総合医薬学専攻	先端医科学プログラム	医科学の専門知識を習得して医科学研究を実践し、研究成果の発表、研究論文の作成を行った経験を活かし、専門職医療人としてのスキルアップ、専門職企業人として活躍、大学院博士課程へ進学する者を育成します。	修士（医科学）

	看護科学プログラム	現代社会の多様な要請に応えるために、看護学専門領域における研究や学際的知見の成果を総合的に活用して、保健・医療・福祉の分野で活躍できる高度医療専門職業人又は教育研究者を育成します。	修士（看護学）
	先端薬科学プログラム	幅広い知識を基盤とする高い専門性と、医学的素養を含む豊かな創造力、人間尊重の精神を基本とする総合的な判断力を培い、薬科学関連領域の研究者・教育者・技術者、及び医薬品の開発や普及を担う専門家として、人々の健康と学術研究の進歩に貢献できる人材を育成します。	修士（薬科学）
理工学研究科理工学専攻	数理情報学プログラム	情報学、数学の基礎や応用及びその関連分野の幅広い知識を有し、関連産業やイノベーションに寄与できる高度な数理情報学系の専門知識を身に付けます。	修士（数理情報学）
	物理学・応用物理学プログラム	物理学及び応用物理学、さらにその関連分野の幅広い学問の基盤的能力と高度な専門的知識を修得し、研究者・技術者としての倫理観、問題を提示して他者との協働によりその解決策を提示する力を身に付けます。	修士（理工学）
	生命・物質化学プログラム	生命工学及び物質化学、さらにその関連分野の幅広い学問の基盤的能力と高度な専門的知識を修得し、倫理観及び新たな知を創り出す創造力を身に付けます。	修士（理工学）
	地球生命環境科学プログラム	地球生命環境科学分野及びその関連分野の幅広い学問の基盤的能力と高度な専門的知識を修得し、倫理観及び新たな知を創り出す創造力を身に付けます。	修士（理学）
	メカトロニクスプログラム	電気電子工学及び機械工学、さらにその関連分野の幅広い学問の基盤的能力と高度な専門的知識を修得し、倫理観及び新たな知を創り出す創造力を身に付けます。	修士（工学）
	マテリアル科学工学プログラム	柔軟に対応できる基礎能力と工学的知識を展開していく応用能力をもって、マテリアル科学工学分野における専門知識を身に付けます。	
	都市・交通デザイン学プログラム	都市・交通デザイン学及びその関連分野の幅広い学問の基盤的能力と高度な専門的知識を修得し、倫理観及び新たな知を創り出す創造力を身に付けます。	
	先端クリーンエネルギープログラム	幅広い学問の基盤的能力と水素エネルギー、CO2の再資源化及び核融合等における高度な専門的知識を修得し、倫理観及び新たな知を創り出す創造力を身に付けます。	修士（理工学）
持続可能社会創成学環	社会データサイエンスプログラム	人口減少・超高齢化や地球温暖化の時代に、経済学と都市デザイン学を基盤とした文理融合型プログラム。データサイエンス・AIを活用し、ビッグデータを読み解いて地域課題を発見・解決、新しい価値を創造する力を身につけます。スマートシティや持続可能なまちづくりを推進し、地域活性化とSDGs達成に貢献する高度専門職業人を育成します。	修士（学術）
	グローバルSDGsプログラム	留学生3割超の英語環境で，理学と社会科学を横断的に学びます。 データ解析やGISを駆使し，課題を科学的に評価する力を習得できます。 専門分野を深めながら，国際的な視点も磨けるカリキュラムを通して，複雑な社会課題を解決に導く能力を身につけられます。	修士（サステイナビリティ学）

医薬理工学環	創薬・製剤工学プログラム	創薬・製剤の知識と技能を生かし、製薬企業の創薬部門における医薬品設計や製剤開発研究部門における製剤設計を担当できる研究者、専門的技術者を養成します。	修士（薬科学）
	応用和漢医薬学プログラム	幅広い知識を基盤とした和漢医薬学を応用できる専門性の高い知識と技術を授け、和漢医薬学研究に基づいた医薬品開発とレギュレーション、未病研究に基づいた健康・医療の創生などを行える薬科学関連領域の研究者・教育者・技術者、および審査官（行政官）など、和漢医薬を含めた伝統医薬からの創薬と人々の健康維持、並びに学術研究の進歩に貢献できる人材を育成します。	
	認知・情動脳科学プログラム	幅広い観点から認知・情動脳科学の専門知識を習得して研究を実践し、研究成果の発表、研究論文の作成を行った経験を活かし、製薬企業等で活躍できる専門的技術者や研究者及び教育関係で活躍できる研究者を養成します。	修士（神経科学）
	メディカルデザインプログラム	学生に基礎から臨床・社会実装に至る幅広い観点から医学・福祉・看護学・理工学等の基礎的な考え方と知識、疾病の予防・病態解明・診断・治療・社会復帰に関する医工学の知識と研究手法を修得させ、実践的な研究活動と成果発表を体験学修させます。 これらの教育を通じて先端的な医療・福祉機器・サービスの研究開発を担うことができる人材を育成するとともに、博士課程に進学して未来の医療・福祉・研究分野を創造し、デザインする研究者や開発者を目指してさらなる研鑽を積む人材を育成します。	修士（医工学）

博士課程・博士後期課程

研究科等	プログラム	概要（特徴）	学位
総合医薬学研究科総合医薬学専攻	生命・臨床医学プログラム	疾病の原因の解明及び治療・予防法に関して基礎・臨床の両面から総合的に教育研究を行い、基礎研究のみならず、臨床応用の橋渡しとなるトランスレーショナルリサーチの展開を行える人材を育成する。また、医学／薬学／看護学の連携を理解した世界の医学・医療をリードできる複眼的人材を育成します。	博士（医学）
	臨床薬学プログラム	臨床薬学領域の幅広い知識や高い専門性とともに、疾病を深く理解し患者に寄り添うことのできる医学的素養を教授することで、人間尊重の精神を基本とする高い倫理観と、人々の健康と学術研究の進歩という、高度な社会的要請に応えるための創造力、判断力、課題解決力、発信力を兼ね備え、臨床薬学領域で先導的に活躍できる教育者・研究者・高度職業人・専門家を育成します。	博士（薬学）
	看護科学プログラム	豊かで幅広い学識と高度な問題解決能力を有する人材育成を目指し、看護の教育・研究基盤を確立するため、知の統合・創生と実践を改革・開発・創造でき、国内外の生活文化に貢献しうる看護実践現場の問題を	博士（看護学）

		見出し、研究的な視点を持って解決がはかれるよう研究力を獲得した実践的研究者を育成します。	
	先端薬科学プログラム	薬科学領域の広範かつ先端的な知識や高い専門性とともに、患者の病気や立場を理解できる医学的素養を醸成する。そして、人間尊重の精神を基本とする高い倫理観と、人々の健康と学術研究の進歩という、高度な社会的要請に応えるための創造力、判断力、課題解決力、発信力を兼ね備え、薬科学及び学際的領域で先導的に活躍できる研究者・教育者・技術者・専門家を育成します。	博士（薬科学）
理工学研究科理工学専攻	数理情報学・データサイエンスプログラム	数学、情報学及びデータサイエンスに必要なプログラミングやコンピューター、AIについての素養を主に必要とする数理情報学の幅広い分野で貢献できる高度専門職業人及び研究者を養成します。	博士（数理情報学）
	生命・物質・エネルギー科学プログラム	理学と工学の分野にまたがって、生命、物質、エネルギーの各分野について、物理学的及び化学的観点から理解し、イノベーションや問題解決に当たることができる高度専門職業人及び研究者を養成します。	博士（理工学）
	サステイナブル地球環境学プログラム	地球科学、生物学 、環境科学の主たる学問分野を広く修得し、持続可能社会に貢献できる高度専門職業人及び研究者を養成します。	博士（理学）
	先進工学プログラム	機械工学、エレクトロニクス、ロボティクス、材料科学、社会基盤工学の工学分野の専門能力を身に付け、データを活用して、イノベーションや問題解決に当たることができる高度専門職業人及び研究者を養成します。	博士（工学）
医薬理工学環	創薬・製剤工学プログラム	創薬・製剤の高度の知識と技能を生かし、製薬企業の創薬部門における医薬品設計や製剤開発研究部門における製剤設計を自立して担当できる研究者、専門的技術者を養成します。	博士（薬科学）
	応用和漢医薬学プログラム	和漢医薬学を応用できる専門的で幅広い知識と技術を授け、医薬品開発とレギュレーション、未病研究に基づいた健康・医療の創生などを行える薬科学関連領域の研究者・教育者・技術者、および審査官（行政官）など、和漢医薬を含めた伝統医薬からの創薬と人々の健康維持、並びに学術研究の進歩に貢献できる高度な人材を育成します。	
	認知・情動脳科学プログラム	脳神経科学研究分野での研究を支える基盤的能力、専門的な学識、生命倫理と研究者倫理を教授し、脳神経科学や脳神経疾患に対する創造的な研究テーマへの取組を通して、製薬企業等における医薬品研究開発者、人工知能の開発者や技術者等の高度な人材を育成します。	博士（神経科学）
	メディカルデザインプログラム	企業等において先端的な医療・福祉機器・サービスの研究開発を担うことができる人材を育成するとともに、大学、研究機関等において未来の医療・福祉・研究分野を創造するとともに当該分野の従事者及び後進を指導できる人材を育成します。	博士（医工学）

3　教育方法の特例

（1）大学院設置基準第 14 条に基づく教育方法の特例措置について

大学院設置基準第 14 条では、「教育上特別の理由があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は期間において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる」旨が規定されています。

これを踏まえ、富山大学大学院では、本人の事情（所属先の勤務条件等）を考慮し、昼夜開講やその他の時間帯・時期等可能な範囲で相談に応じます。

（2）長期履修制度について

長期履修制度とは、職業（常勤）等を有している等の理由により、授業や研究指導の履修時間が制約され、標準修業年限では修了が困難な方のために、標準修業年限を超えた一定の期間にわたって計画的に教育課程を履修して修了する制度です。入学時の申請に基づき、選考により、在学年数を延長し、計画的に履修を行うことができます。この場合の授業料年額については、本来支払うべき授業料年額に標準修業年限を乗じて得た額を、長期履修期間の年数で除した額となります。

（3）社会人短期修了制度について

①概要

富山大学大学院博士後期課程及び博士課程では、優れた研究業績を有する社会人の方を対象とした、社会人短期修了制度を導入しています。本制度は、既に有している研究業績が、各研究科等規則に定める「優れた研究業績」と認められることにより、通常より短い期間で博士の学位取得を目指すものです。これにより、博士後期課程の場合は標準修業年限の３年間が最短で１年間まで短縮し、博士課程の場合は標準修業年限の４年間が最短で３年間まで短縮し、修了することが可能です。

②対象となる研究科等

研究科等	プログラム	申請方法
総合医薬学研究科	【一般入試志願者】 先端薬科学プログラム 臨床薬学プログラム	入学試験出願と併せて申請してください。申請書類等については、総合医薬学研究科のウェブサイトからダウンロードしてください。
理工学研究科	【社会人早期修了入試志願者】 数理情報学・データサイエンスプログラム	大学院理工学研究科（博士後期課程）社会人早期修了入試に出願してください。詳細は、662ページを確認してください。
	【社会人特別入試志願者】 生命・物質・エネルギー科学プログラム サステイナブル地球環境学プログラム 先進工学プログラム	入学試験出願と併せて申請してください。申請書類等については、理工学研究科のウェブサイトからダウンロードしてください。
医薬理工学環	【一般入試志願者】 創薬・製剤工学プログラム 応用和漢医薬学プログラム 認知・情動脳科学プログラム メディカルデザインプログラム	入学試験出願と併せて申請してください。申請書類等については、医薬理工学環のウェブサイトからダウンロードしてください。

③申請要件等

総合医薬学研究科（先端薬科学プログラム、臨床薬学プログラム）

理工学研究科（生命・物質・エネルギー科学プログラム、サステイナブル地球環境学プログラム、先進工学プログラム）

医薬理工学環（全プログラム）

本制度の申請は、入学試験に加えて、以下の申請要件を満たし、かつ博士課程に在籍する十分な能力を有すると認められた場合に本制度に申請することが可能です。ただし、申請要件を満たした場合でも、社会人短期修了制度の適用が認められない場合があります。また、社会人短期修了制度の適用が認められた場合であっても、在学期間を短縮し、博士の学位授与を保証するものではありません。

また、出願前に志望する分野の指導教員と教育・研究等に関する方向性等について事前相談を行い、志望する分野の指導教員の承認を得られた者に限ります。

＜申請要件＞

入学試験時に、次のいずれかの要件を満たすこと。なお、「学術論文」は、査読付き学術論文（富山大学における学術論文の定義※に該当するもの）とします。

※富山大学における学術論文の定義　https://www.u-toyama.ac.jp/collaboration/treatise-definition/

1．学位申請者が筆頭著者（第一著者と同等の寄与があると明記されていることを含む。）となり学術雑誌に掲載又は掲載が確定（accepted）された学位論文の基礎となる学術論文が２篇以上。

※第一著者と同等の寄与があると明記された掲載（予定）論文については、学術論文のうち１篇に限り、第一著者として取り扱う。

2．学位申請者が筆頭著者（第一著者と同等の寄与があると明記されていることを含む。）となりインパクトファクター（以下「IF」という。）５以上のジャーナルに掲載又は掲載が確定(accepted）された学位論文の基礎となる学術論文が１篇以上。IFはジャーナル投稿時で最新のものとする。

3．学位申請者が筆頭著者（第一著者と同等の寄与があると明記されていることを含む。）となりサイトスコアパーセンタイルが90%以上である学術雑誌に掲載又は掲載が確定（accepted）された学位論文の基礎となる学術論文が１篇以上。サイトスコアパーセンタイルはジャーナル投稿時で最新のものとする。

理工学研究科　数理情報学・データサイエンスプログラム

本制度の申請を希望する場合、次の条件を満たし、富山大学大学院理工学研究科博士後期課程社会人早期修了入試に出願することが必要です。社会人早期修了入試において意欲のある学生を選抜します。ただし、本入試の合格によって、最短１年間での修了が保証されるものではありません。

・各種の研究機関、教育機関、企業等に勤務している研究者又は技術者で、所属長の推薦を受けた者

・査読付き学術論文（富山大学における学術論文の定義※に該当するもの）が１篇以上（主たる著者であること。査読付き国際会議論文でも認められる場合がある。）又は登録特許（発明者として主たる貢献をしているもの）が１件以上ある者

※富山大学における学術論文の定義　https://www.u-toyama.ac.jp/collaboration/treatise-definition/

4　入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

富山大学大学院　入学者受入れの方針 富山大学大学院は、本学大学院の目的、修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、専攻する研究分野についての強い関心と基礎的能力を有し、論理的思考力と創造性を持ち、文化の進展に寄与しようとする意欲を備えている者を受け入れる。 そのための入学者選抜の基本方針として、複数の受験機会や多様な学生を評価できる入試を提供する。

人文社会芸術総合研究科人文社会芸術総合専攻

＜修士課程＞

【入学者受入れの方針】

人文科学、社会科学、芸術文化学についての強い関心と基礎的能力を有し、論理的思考力と創造性を持ち、文化、社会の発展に寄与しようとする意欲を備えているものを受け入れる。

【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】

多様な学生を受け入れるため、４月入学と10月入学を認め、年２回の入学者選抜を実施する。また社会人特別入試及び外国人留学生特別入試、外国人留学生特別入試（指定校推薦）を実施する。

＜一般入試、社会人特別入試、外国人留学生特別入試＞

筆記試験、口述試験、学業成績証明書及び志願理由書、研究計画書等を総合的に評価する。

各プログラムの入学者受入れの方針

心理学プログラム	【入学者受入れの方針】 心理学についての強い関心と基礎的能力を有し、論理的思考力と創造性を持ち、文化の進展に寄与しようとする意欲を備えている者を受け入れる。 【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】 多様な学生を受け入れるため、社会人特別入試及び外国人留学生特別入試を実施する。 ＜一般入試、社会人特別入試＞ 筆記試験、口述試験、外部英語試験、学業成績証明書及び志願理由書、研究計画書等を総合的に評価する。 ＜外国人留学生特別入試＞ 筆記試験、口述試験、学業成績証明書及び志願理由書、研究計画書等を総合的に評価する。
人文・芸術プログラム	【入学者受入れの方針】 人文科学・芸術文化学についての強い関心と基礎的能力を有し、論理的思考力と創造性を持ち、文化の進展に寄与しようとする意欲を備えている者を受け入れる。 【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】 多様な学生を受け入れるため、年２回の入学者選抜を実施する。また社会人特別入試及び外国人留学生特別入試、外国人留学生特別入試（指定校推薦）を実施する。 ＜一般入試、社会人特別入試、外国人留学生特別入試＞ 筆記試験（人文科学系のみ）、口述試験、学業成績証明書及び志願理由書、研究計画書等を総合的に評価する。
共創経済プログラム	【入学者受入れの方針】 社会科学についての強い関心と基礎的能力を有し、論理的思考力と創造性を持ち、社会の進展に寄与しようとする意欲を備えている者を受け入れる。 【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】 ＜一般入試＞ 一般入試では、「志願理由書」と入学後の研究の進め方を記述した「研究計画書」の提出並びに「口述試験（プレゼンテーションを含む）」を課し、これらから学修意欲、問題設定能力、研究遂行力等を総合的に評価して多様な学生を選抜する。 ＜推薦入試＞

	推薦入試では、「志願理由書」と入学後の研究の進め方を記述した「研究計画書」の提出並びに「口述試験（プレゼンテーションを含む）」を課し、これらから学修意欲、問題設定能力、研究遂行能力等を総合的に評価して多様な学生を選抜する。

総合医薬学研究科総合医薬学専攻

＜修士課程・博士前期課程＞

【入学者受入れの方針】

総合医薬学研究科は、本研究科の目的、修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、医療系の研究分野についての強い関心と基礎的能力を有し、論理的思考力と創造性を持ち、人と地の健康文化の進展に寄与しようとする意欲を備えている者を受け入れる。

そのため入学者選抜の基本方針として、複数の受験機会や多様な学生を評価できる入試を提供する。

【入学者選抜の基本方針(入試種別とその評価方法)】

多様な学生を受け入れるため、４月入学と１０月入学を認め、年２回の入学者選抜を実施する。また社会人特別入試及び外国人留学生特別入試を実施する。

＜一般入試、外国人留学生特別入試＞

入学者の選抜は、プログラム毎に小論文・適性検査、外国語(英語)試験、口述試験及び成績証明書の成績等により、４年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価する。

＜社会人特別入試＞

入学者の選抜は、プログラム毎に業績審査、外国語(英語)試験、口述試験及び成績証明書の成績等により、４年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価する。

各プログラムの入学者受入れの方針

先端医科学プログラム	【入学者受入れの方針】 ・生命科学に興味を持ち、医学の基礎・臨床分野における基礎知識を修得し、最先端の知識に触れることにより、高度な専門職業人として様々な分野で活躍したい人材を求める。 ・医療系の社会人として、最先端の医学知識の涵養を図り、職場でのキャリアアップを図りたい人材を求める。 【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】 多様な学生を受け入れるため、４月入学と１０月入学を認め、年２回の入学者選抜を実施する。また社会人特別入試、外国人留学生特別入試を実施する。 ＜一般入試、外国人留学生特別入試＞ 入学者の選抜は、小論文・適性検査、外国語（英語）試験、口述試験、志望理由書及び成績証明書の成績により、4 年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価する。 ＜社会人特別入試＞ 入学者の選抜は、業績審査、外国語（英語）試験、口述試験、志望理由書及び成績証明書の成績により、4 年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価する。
看護科学プログラム	【入学者受入れの方針】 看護学とその学際領域における幅広く深い学識を持ち、研究遂行能力または高度で専門的な職業人に必要な能力を養うという目的を理解し、次の資質をもつ学生を求める。 ①高度な先端医療に対応できる技術、心理や生命倫理など全人的な理解、人々のＱＯＬや自己回復を引き出す能力、保健医療福祉の課題などの熟達した対応が求められる分野で活躍したいと考えている者 ②看護の現状認識と将来の展望にたって保健医療福祉の課題を総合的・組織的に把握し、課題に対応できることを目指す優れた看護実践のためのキャリア形成を求めている者

	【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】 多様な学生を受け入れるため、４月入学と１０月入学を認め、年２回の入学者選抜を実施する。また社会人特別入試、外国人留学生特別入試を実施する。 ＜一般入試、外国人留学生特別入試＞ 入学者の選抜は、小論文・適性検査、外国語(英語)試験及び口述試験の成績により、高度な看護実践能力と看護研究方法を修得するための基盤となる基礎的な知識、研究遂行能力等を評価する。 ＜社会人特別入試＞ 入学者の選抜は、業績審査、外国語(英語)試験及び口述試験の成績により、高度な看護実践能力と看護研究方法を修得するための基盤となる看護実践実績及び(業務)研究実績、研究への関心・遂行能力等を評価する。
先端薬科学プログラム	【入学者受入れの方針】 将来、薬科学関連領域の研究者・教育者・技術者、及び医薬品の開発や普及を担う専門家として、人々の健康と学術研究の進歩に貢献できる人材を育成することを目的としている。そのためには、人間尊重の精神を基本とする高い倫理観の下で、薬科学に関する幅広い学識と高い専門性を備え、それらを統合、応用して創造性の高い研究を遂行する能力を身に付けることが必要である。この目的に基づき、本プログラムでは以下のような学生を求める。 ・薬科学及び学際的領域で活躍する研究者・教育者・技術者を志す者。 ・創薬科学、生命科学に関する専門知識を有する者。 ・研究を通じて、薬科学関連領域の諸課題を解決し、人々の健康と学術研究の進歩に貢献したいという意欲を持つ者。 ・国内外の研究者に対して研究の内容やその価値を説明、議論できるコミュニケーション力、表現力を持つ者。 【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】 多様な学生を受け入れるため、４月入学と１０月入学を認め、年２回の入学者選抜を実施する。また外国人留学生特別入試を実施する。 ＜一般入試、外国人留学生特別入試＞ 入学者の選抜は、小論文・適性検査、外国語(英語)試験、口述試験及び成績証明書の成績により、４年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価する。 ＜社会人特別入試＞ 入学者の選抜は、業績審査、外国語（英語）試験、口述試験及び成績証明書の成績により、４年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価する。

＜博士課程・博士後期課程＞

【入学者受入れの方針】

総合医薬学研究科は、本研究科の目的、修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、医療系の研究分野についての強い関心と基礎的能力を有し、論理的思考力と創造性を持ち、人と地の健康文化の進展に寄与しようとする意欲を備えている者を受け入れる。

そのため入学者選抜の基本方針として、複数の受験機会や多様な学生を評価できる入試を提供する。

【入学者選抜の基本方針(入試種別とその評価方法)】

多様な学生を受け入れるため、４月入学と１０月入学を認め、年２回の入学者選抜を実施する。また外国人留学生特別入試を実施する。

入学者の選抜は、プログラム毎に小論文・適性検査、外国語(英語)試験、口述試験及び成績証明書の成績等により、６年制学部卒業または大学院修士課程修了相当の学力、意欲、能力等について評価する。

各プログラムの入学者受入れの方針

生命・臨床医学プログラム	【入学者受入れの方針】 ・医学・医療の分野における最先端の研究に取り組みたい人材を求める。 ・医学・医療の教育研究に対する熱意と能力があり、将来の国内外の医療・医学に貢献する意欲のある人材を求める。 ・他分野の多彩な学問領域において高い基礎学力を身につけ、医学・医療の分野における最新の研究を志す人材を求める。 【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】 一般学生の他、外国人留学生等の多様な学生を受け入れるため、４月入学と１０月入学を認め、年２回の入学者選抜を実施する。 一般入試では、外国語試験(外部英語試験)、口述試験及び成績証明書の成績により、６年制医学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価する。
臨床薬学プログラム	【入学者受入れの方針】 博士課程臨床薬学プログラムでは、将来、臨床薬学を中心とした薬学領域の教育者・研究者、チーム医療を推進する薬剤師、社会的リーダーとして活躍する薬剤師、行政職員、医薬品製造・開発者及び医薬連携の実践や健康医療・公衆衛生科学の開拓を担う専門家としてその分野を先導し、人々の健康と学術研究の進歩に貢献できる人材を育成することを目的としている。そのためには、医薬看の分野横断的な専門知識と人間尊重の精神を基本とする高い倫理観の下で、臨床薬学を中心とした薬学に関する多様で幅広い学識と高い専門性を備え、それらを統合、応用して創造性の高い研究を遂行し、新たな知見を見いだして課題を解決する能力を身に付けることが必要である。この目的に基づき、本プログラムでは以下のような学生を求める。 ・地域から国際レベルに至る薬学系諸分野で活躍する高度薬剤師・医療職業人・研究者・教育者・行政職員・医薬品製造・開発者を志す者。 ・臨床薬学、生命科学および薬学関連領域に関する専門知識を有する者。 ・最先端の薬学研究を実践して、臨床薬学を中心とした薬学関連領域の諸課題を解決し、人々の健康と学術研究の進歩に貢献したいという意欲を持つ者。 ・国内外の研究者や医療従事者に対して研究や薬剤師業務の内容やその価値を説明、議論できるコミュニケーション力、表現力を持つ者。 【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】 多様な学生を受入れるため、４月入学と10月入学を認め、年2回の入学者選抜を実施する。また、外国人留学生特別入試を実施する。 一般入試、外国人留学生特別入試では、小論文・適性検査、外国語(英語)試験、口述試験及び成績証明書の成績により、６年制薬学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価する。
看護科学プログラム	【入学者受入れの方針】 看護科学プログラムは、豊かで幅広い学識と高度な問題解決能力を有する人材育成を目指し、看護の教育・研究基盤を確立するため、知の統合・創成と実践の改革・開発・創造でき、国内外の生活文化に貢献しうる実践的研究者を育成することを目的とする。この目的を理解し、次の資質をもつ学生を求める。 ①看護学とその学際領域における幅広く深い学識を持ち、一連の研究プロセスを網羅的に

	立案・展開できる研究能力を身に付けている。 ②看護の現状認識と将来の展望に立って保健医療福祉の課題を総合的・組織的に把握し、解決を図ることができ、看護の高度で専門的職業人として国際的にも信頼・通用する卓越した知識・能力を身に付けている。 【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】 多様な学生を受け入れるため、４月入学と10月入学を認め、年２回の入学者選抜を実施する。また外国人留学生特別入試を実施する。 入学者の選抜は、小論文・適性検査、外国語(英語)試験、口述試験及び成績証明書の成績等により、大学院修士課程修了相当の学力、意欲、能力等、看護研究遂行能力を評価する。
先端薬科学プログラム	【入学者受入れの方針】 博士後期課程先端薬科学プログラムでは、将来、薬科学及び学際的領域の最先端研究を遂行する研究者・教育者・技術者、及び医薬品の開発や普及を担う専門家としてその分野を先導し、人々の健康と学術研究の進歩に貢献できる人材を育成することを目的としている。そのためには、医薬看の分野横断的な専門知識と人間尊重の精神を基本とする高い倫理観の下で、薬科学に関する幅広い学識と高い専門性を備え、それらを統合、応用して創造性の高い研究を遂行し、新たな知見を見いだして課題を解決するする能力を身に付けることが必要である。この目的に基づき、本プログラムでは以下のような学生を求める。 ・薬科学及び学際的領域の最先端で活躍する研究者・教育者・技術者、及び医薬品の開発や普及を担う専門家を志す者。 ・創薬科学、生命科学に関する専門知識を有する者。 ・疾病を理解した上で、研究を通じて、薬科学関連領域の諸課題を解決し、分野を先導して人々の健康と学術研究の進歩に貢献したいという意欲を持つ者。 ・国内外の研究者に対して研究の内容やその価値を説明、議論できるコミュニケーション力、表現力、発信力を持つ者。 【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】 多様な学生を受け入れるため、４月入学と１０月入学を認め、年２回の入学者選抜を実施する。また外国人留学生特別入試を実施する。 一般入試、外国人留学生特別入試では、小論文・適性検査、外国語(英語)試験、口述試験及び成績証明書の成績により、大学院修士課程修了相当の学力、意欲、能力等について評価する。

理工学研究科 理工学専攻

＜博士前期課程＞

【入学者受入れの方針】

理工学研究科は、理工学分野に強い関心と基礎的能力を有し、将来、専門知識と技術を活かして、技術革新を牽引し、文化の進展に寄与することにより、人類の福祉に貢献できる技術者・研究者となる意欲のある学生を求める。

【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】

複数の受験機会を提供するとともに多様な学生を評価できるようにするため、以下の各種の入試を提供する。

＜一般入試、推薦入試、社会人特別入試、外国人留学生特別入試＞

面接（学力試験（口述）含む。）及び出願書類を総合して評価する。

各プログラムの入学者受入れの方針

数理情報学プログラム	【入学者受入れの方針】 数理情報学プログラムは、数学及び情報学の面から技術イノベーションを牽引し、地域の人々の幸福度の向上に貢献できる数理情報学高度専門職業人及び研究者となる資質を有する者を求める。 【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】 複数の受験機会を提供するとともに多様な学生を評価できるようにするため、以下の各種の入試を提供する。 ＜一般入試＞ 面接（学力試験（口述）含む。）及び出願書類（学業成績、外部英語試験等)を総合して評価する。 ＜推薦入試＞ 面接（学力試験（口述）含む。）及び出願書類（推薦書、学業成績、外部英語試験等）を総合して評価する。 ＜社会人特別入試、外国人留学生特別入試＞ 面接（学力試験（口述）含む。）及び出願書類（学業成績等）を総合して評価する。
物理学・応用物理学プログラム	【入学者受入れの方針】 物理学・応用物理学プログラムは、理工学分野に強い関心と基礎的能力を有し、将来、専門知識と技術を活かして、技術革新を牽引し、文化の進展に寄与することにより、人類の福祉に貢献できる技術者・研究者となる意欲のある学生を求める。 【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】 複数の受験機会を提供するとともに多様な学生を評価できるようにするため、以下の各種の入試を提供する。 ＜一般入試＞ 面接（学力試験（口述）含む。）及び出願書類（学業成績、外部英語試験等）を総合して評価する。 ＜推薦入試＞ 面接（学力試験（口述）含む。）及び出願書類（推薦書、学業成績、外部英語試験等）を総合して評価する。 ＜社会人特別入試、外国人留学生特別入試＞ 面接（学力試験（口述）含む。）及び出願書類（学業成績等）を総合して評価する。

生命・物質科学プログラム	【入学者受入れの方針】 生命・物質化学プログラムは、生命工学、化学、応用化学などの学問領域で学ぶ専門分野について、基礎学力を有し、豊かな専門的学識や高度な研究能力を身に付けることで、充実した力量を有する高度専門職業人として貢献する意欲がある学生を求める。 【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】 複数の受験機会を提供するとともに多様な学生を評価できるようにするため、以下の各種の入試を提供する。 ＜一般入試＞ 面接（学力試験（口述）含む。）及び出願書類（学業成績、外部英語試験等）を総合して評価する。 ＜推薦入試＞ 面接（学力試験（口述）含む。）及び出願書類（推薦書、学業成績、外部英語試験等）を総合して評価する。 ＜社会人特別入試、外国人留学生特別入試＞ 面接（学力試験（口述）含む。）及び出願書類（学業成績等）を総合して評価する。
地球生命環境科学プログラム	【入学者受入れの方針】 地球生命環境科学プログラムは、地球生命環境科学に強い関心と基礎的能力を有し、将来、専門知識と技術を活かして、技術革新を牽引し、文化の進展に寄与することにより、人類の福祉に貢献できる技術者・研究者となる意欲のある学生を求める。 【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】 複数の受験機会を提供するとともに多様な学生を評価できるようにするため、以下の各種の入試を提供する。 ＜一般入試＞ 面接（学力試験（口述）含む。）及び出願書類（学業成績、外部英語試験等）を総合して評価する。 ＜推薦入試＞ 面接（学力試験（口述）含む。）及び出願書類（推薦書、学業成績、外部英語試験等）を総合して評価する。 ＜社会人特別入試、外国人留学生特別入試＞ 面接（学力試験（口述）含む。）及び出願書類（学業成績等）を総合して評価する。
メカトロニクスプログラム	【入学者受入れの方針】 メカトロニクスプログラムは、電気電子工学及び機械工学分野に強い関心と基礎的能力を有し、将来、専門知識と技術を活かして、技術革新を牽引し、文化の進展に寄与することにより、人類の福祉に貢献できる技術者・研究者となる意欲のある学生を求める。 複数の受験機会を提供するとともに多様な学生を評価できるようにするため、以下の各種の入試を提供する。 ＜一般入試＞ 面接（学力試験（口述）含む。）及び出願書類（学業成績、外部英語試験等）を総合して評価する。 ＜推薦入試＞ 面接（学力試験（口述）含む。）及び出願書類（推薦書、学業成績、外部英語試験等）を総合して評価する。 ＜社会人特別入試、外国人留学生特別入試＞ 面接（学力試験（口述）含む。）及び出願書類（学業成績等）を総合して評価する。

マテリアル科学工学プログラム	【入学者受入れの方針】 マテリアル科学工学プログラムは、マテリアル科学工学分野に強い関心と基礎的能力を有し、将来、専門知識と技術を活かして、技術革新を牽引し、文化の進展に寄与することにより、人類の福祉に貢献できる技術者・研究者となる意欲のある学生を求める。 【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】 複数の受験機会を提供するとともに多様な学生を評価できるようにするため、以下の各種の入試を提供する。 ＜一般入試＞ 面接（学力試験（口述）含む。）及び出願書類（学業成績、外部英語試験等）を総合して評価する。 ＜推薦入試＞ 面接（学力試験（口述）含む。）及び出願書類（推薦書、学業成績、外部英語試験等）を総合して評価する。 ＜社会人特別入試、外国人留学生特別入試＞ 面接（学力試験（口述）含む。）及び出願書類（学業成績等）を総合して評価する。
都市・交通デザイン学プログラム	【入学者受入れの方針】 都市・交通デザイン学プログラムは、都市・交通分野に強い関心と基礎的能力を有し、将来、専門知識と技術を活かして、技術革新を牽引し、文化の進展に寄与することにより、人類の福祉に貢献できる技術者・研究者となる意欲のある学生を求める。 【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】 複数の受験機会を提供するとともに多様な学生を評価できるようにするため、以下の各種の入試を提供する。 ＜一般入試＞ 面接（学力試験（口述）含む。）及び出願書類（学業成績、外部英語試験等）を総合して評価する。 ＜推薦入試＞ 面接（学力試験（口述）含む。）及び出願書類（推薦書、学業成績、外部英語試験等）を総合して評価する。 ＜社会人特別入試、外国人留学生特別入試＞ 面接（学力試験（口述）含む。）及び出願書類（学業成績等）を総合して評価する。
先端クリーンエネルギープログラム	【入学者受入れの方針】 先端クリーンエネルギープログラムは、クリーンエネルギー分野に強い関心と基礎的能力を有し、将来、専門知識と技術を活かして、技術革新を牽引し、文化の進展に寄与することにより、人類の福祉に貢献できる技術者・研究者となる意欲のある学生を求める。 【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】 複数の受験機会を提供するとともに多様な学生を評価できるようにするため、以下の各種の入試を提供する。 ＜一般入試＞ 面接（学力試験（口述）含む。）及び出願書類（学業成績、外部英語試験等）を総合して評価する。 ＜推薦入試＞ 面接（学力試験（口述）含む。）及び出願書類（推薦書、学業成績、外部英語試験等）を総合して評価する。 ＜社会人特別入試、外国人留学生特別入試＞ 面接（学力試験（口述）含む。）及び出願書類（学業成績等）を総合して評価する。

＜博士後期課程＞

【入学者受入れの方針】

理工学研究科は、理工学分野に強い関心と基礎的能力を有し、将来、専門知識と技術を活かして、技術革新を牽引し、文化の進展に寄与することにより、人類の福祉に貢献できる技術者・研究者となる意欲のある学生を求める。

【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】

＜一般入試＞

口述試験、面接及び書類審査により、英語による語学力、志望する教育分野に関連する科目、修士論文及び入学後の研究計画について評価する。

＜社会人特別入試＞

口述試験、面接及び出願書類により、志望する教育分野に関連する科目、学術論文、業績報告書、特許等の研究業績及び入学後の研究計画について評価する。

＜社会人早期修了入試＞

口述試験、面接及び出願書類により、志望する教育分野に関連する科目、学術論文、業績報告書、特許等の研究業績及び博士論文作成計画書について評価する。

＜外国人留学生特別入試＞

口述試験、面接及び出願書類により評価する。口述試験及び面接においては、博士後期課程の教育を受けるために必要となる語学力、志望する教育分野に関連する科目、修士論文及び入学後の研究計画について行う。

各プログラムの入学者受入れの方針

数理情報学・データサイエンスプログラム	【入学者受入れの方針】 理工学研究科理工学専攻博士後期課程　数理情報学・データサイエンスプログラムでは、数学、情報学及びデータサイエンスの面から技術イノベーションを牽引し、地域の人々の幸福度の向上に貢献できる数理情報学高度専門職業人及び研究者となる意欲のある学生を求める。 【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】 複数の受験機会を提供するとともに多様な学生を評価できるようにするため、以下の各種の入試を提供する。 ＜一般入試＞ 口述試験、面接及び書類審査により、英語の語学力、志望する教育分野に関連する科目、修士論文及び入学後の研究計画について評価する。 ＜社会人特別入試＞ 口述試験、面接及び出願書類により、志望する教育分野に関連する科目、学術論文、業績報告書、特許等の研究業績及び入学後の研究計画について評価する。 ＜社会人早期修了入試＞ 口述試験、面接及び出願書類により、志望する教育分野に関連する科目、学術論文、業績報告書、特許等の研究業績及び博士論文作成計画書について評価する。 ＜外国人留学生特別入試＞ 口述試験、面接及び出願書類により、博士後期課程の教育を受けるために必要となる語学力、志望する教育研究分野に関連する科目、修士論文及び入学後の研究計画について評価する。
生命・物質・エネルギー科学プ	【入学者受入れの方針】 理工学研究科理工学専攻博士後期課程　生命・物質・エネルギー科学プログラムでは、理学と工学の分野にまたがって、生命、物質、エネルギーの各分野について、物理化学的

ログラム	観点からの理解とイノベーションに強い関心と基礎的能力を有し、将来、専門知識と技術を活かして、技術革新を牽引し、文化の進展に寄与することにより、人類の福祉に貢献できる技術者・研究者となる意欲のある学生を求める。 【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】 複数の受験機会を提供するとともに多様な学生を評価できるようにするため、以下の各種の入試を提供する。 ＜一般入試＞ 口述試験、面接及び書類審査により、英語の語学力、志望する教育分野に関連する科目、修士論文及び入学後の研究計画について評価する。 ＜社会人特別入試＞ 口述試験、面接及び出願書類により、志望する教育分野に関連する科目、学術論文、業績報告書、特許等の研究業績及び入学後の研究計画について評価する。 ＜外国人留学生特別入試＞ 口述試験、面接及び出願書類により、博士後期課程の教育を受けるために必要となる語学力、志望する教育研究分野に関連する科目、修士論文及び入学後の研究計画について評価する。
サステイナブル地球環境学プログラム	【入学者受入れの方針】 理工学研究科理工学専攻博士課程　サステイナブル地球環境学プログラムでは、地球科学、生物科学、環境科学の分野に強い関心と基礎的能力を有し、将来、専門知識と技術を活かして、技術革新を牽引し、文化の進展に寄与することにより、持続可能社会に貢献し、人類の福祉に貢献できる技術者・研究者となる意欲のある学生を求める。 【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】 複数の受験機会を提供するとともに多様な学生を評価できるようにするため、以下の各種の入試を提供する。 ＜一般入試＞ 口述試験、面接及び書類審査により、英語の語学力、志望する教育分野に関連する科目、修士論文及び入学後の研究計画について評価する。 ＜社会人特別入試＞ 口述試験、面接及び出願書類により、志望する教育分野に関連する科目、学術論文、業績報告書、特許等の研究業績及び入学後の研究計画について評価する。 ＜外国人留学生特別入試＞ 口述試験、面接及び出願書類により、博士後期課程の教育を受けるために必要となる語学力、志望する教育研究分野に関連する科目、修士論文及び入学後の研究計画について評価する。
先進工学プログラム	【入学者受入れの方針】 理工学研究科理工学専攻博士課程　先進工学プログラムでは、機械工学、エレクトロニクス、ロボティクス、材料科学、社会基盤工学の工学分野に強い関心と基礎的能力を有し、将来、専門知識と技術を活かして、技術革新を牽引し、文化の進展に寄与することにより、人類の福祉に貢献できる技術者・研究者となる意欲のある学生を求める。 【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】 複数の受験機会を提供するとともに多様な学生を評価できるようにするため、以下の各種の入試を提供する。 ＜一般入試＞ 口述試験、面接及び書類審査により、英語の語学力、志望する教育分野に関連する科目、修士論文及び入学後の研究計画について評価する。 ＜社会人特別入試＞ 口述試験、面接及び出願書類により、志望する教育分野に関連する科目、学術論文、業績報告書、特許等の研究業績及び入学後の研究計画について評価する。 ＜外国人留学生特別入試＞

	口述試験、面接及び出願書類により、博士後期課程の教育を受けるために必要となる語学力、志望する教育研究分野に関連する科目、修士論文及び入学後の研究計画について評価する。

持続可能社会創成学環

＜修士課程＞

【入学者受入れの方針】

持続可能社会創成学環は、データサイエンスやサステイナビリティ学など持続可能社会に関連する学問分野に強い関心と基礎的能力を有し、将来、高度専門職業人として持続可能社会の実現に貢献する意欲のある学生を求める。

【入学者選抜の基本方針】

入学者選抜はプログラムごとに行い、多様な学生を評価できるようにするため複数の受験機会を提供する。

各プログラムの入学者受入れの方針

社会データサイエンスプログラム	【入学者受入れの方針】 社会データサイエンスプログラムは、基礎的能力及びデータサイエンス・AIの強い学修意欲を持ち、将来、専門知識と技術を活かして持続可能社会の実現に貢献する意欲のある学生を求める。 【入学者選抜の基本方針】 社会データサイエンスプログラムは、社会人を積極的に受け入れる意図から、筆記試験は課さずに入学者選抜を行う。 ＜総合型入試＞ 面接（学力に関する口頭試問を含む）及び出願書類（学業成績証明書など）により、学士課程までに修得した知識、研究課題及びその解決に必要な知識・スキルを設定する能力、コミュニケーション力、論理的思考力を総合的に評価する。 ＜推薦入試＞ 面接（学力に関する口頭試問を含む）及び出願書類（学業成績証明書など）を総合して評価する。
グローバルSDGsプログラム	【入学者受入れの方針】 グローバルSDGsプログラムは、サステイナビリティ学に強い関心と基礎的能力を有し、将来、専門知識と技術を活かして持続可能社会の構築に貢献できる技術者・研究者となる意欲のある学生を求める。 【入学者選抜の基本方針】 複数の受験機会を提供するとともに多様な学生を評価できるようにするため、以下の各種の入試を提供する。実施は年２回とし、秋入学を可能とすることで、国内外の学生を広く対象とする。本プログラムでは、外国人特別入試を導入しない代わりに、口述試験における使用言語を変えることで外国人留学生の受験にも対応する。また、本プログラムでは、人文社会系や理工系の様々な学術分野からの受験生を想定し、面接・口述試験においては、社会科学系と理学系の複数名の教員により評価する。 ＜一般入試＞ 口述試験（プレゼンテーションを含む）及び出願書類（学業成績証明書、外部英語試験など）を総合して評価する。 ＜推薦入試、社会人特別入試＞ 口述試験（プレゼンテーションを含む）及び出願書類（学業成績証明書など）を総合して評価する。

医薬理工学環

＜博士前期課程＞

【入学者受入れの方針】

医薬理工学環は、本学環の目的、修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、創薬・製剤工学、応用和漢医薬学、認知・情動脳科学またはメディカルデザインの研究分野についての強い関心と基礎的能力を有し、論理的思考力と創造性を持ち、人と地の健康文化の進展に寄与しようとする意欲を備えている者を受け入れる。

そのため入学者選抜の基本方針として、複数の受験機会や多様な学生を評価できる入試を提供する。

【入学者選抜の基本方針(入試種別とその評価方法)】

多様な学生を受け入れるため、４月入学と１０月入学を認め、年２回の入学者選抜を実施する。各プログラムともに一般入試、社会人特別入試、外国人留学生特別入試を実施する。

＜一般入試、外国人留学生特別入試＞

入学者の選抜は、プログラム毎に小論文・適性検査、外国語(英語)試験、口述試験及び成績証明書の成績により、４年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価する。

＜社会人特別入試＞

入学者の選抜は、プログラム毎に外国語(英語)試験、口述試験（業績調書含む）及び成績証明書の成績により、４年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価する。

各プログラムの入学者受入れの方針

創薬・製剤工学プログラム	【入学者受入れの方針】 創薬・製剤工学プログラムでは、修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に示す人材育成の目的に基づき、総合的な判断力を持った創造性豊かな研究者及び技術者を志し、創薬・製剤の基礎を学びたいという意欲を持つ者を受け入れる。 入学希望者に求める資質・能力は次のとおりである。 【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】 学部卒業見込みの者だけでなく、社会人等の多様な学生を受け入れるため、４月入学と10月入学を認め、年２回の入学者選抜を実施する。また外国人留学生特別入試を実施する。 ＜一般入試、外国人留学生特別入試＞ 入学者の選抜は、小論文・適性検査、外国語(英語)試験、口述試験及び成績証明書の成績により、４年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価する。 ＜社会人特別入試＞ 入学者の選抜は、外国語(英語)試験、口述試験（業績調書含む）及び成績証明書の成績により、４年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価する。
応用和漢医薬学プログラム	【入学者受入れの方針】 応用和漢医薬学プログラムでは、修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に示す人材育成の目的に基づき、総合的な判断力を持った創造性豊かな研究者、教育者及び技術者を志し、応用和漢医薬学の基礎と実践を学びたいという意欲を持つ者を受け入れる。 【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】 学部卒業見込みの者だけでなく、社会人等の多様な学生を受け入れるため、４月入学と10月入学を認め、年２回の入学者選抜を実施する。また外国人留学生特別入試を実施する。 ＜一般入試、外国人留学生特別入試＞

	入学者の選抜は、小論文・適性検査、外国語(英語)試験、口述試験及び成績証明書の成績により、4年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価する。 ＜社会人特別入試＞ 入学者の選抜は、外国語(英語)試験、口述試験（業績調書含む）及び成績証明書の成績により、4年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価する。
認知・情動脳科学プログラム	【入学者受入れの方針】 認知・情動脳科学プログラムでは、修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に示す人材育成の目的に基づき、総合的な判断力を持った創造性豊かな研究者及び技術者を志し、認知・情動脳科学の基礎を学びたいという意欲を持つ者を受け入れる。 【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】 学部卒業見込みの者だけでなく、社会人等の多様な学生を受け入れるため、4月入学と10月入学を認め、年2回の入学者選抜を実施する。また外国人留学生特別入試を実施する。 ＜一般入試、外国人留学生特別入試＞ 入学者の選抜は、小論文・適性検査、外国語(英語)試験、口述試験及び成績証明書の成績により、4年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価する。 ＜社会人特別入試＞ 入学者の選抜は、外国語(英語)試験、口述試験（業績調書含む）及び成績証明書の成績により、4年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価する。
メディカルデザインプログラム	【入学者受入れの方針】 ・医工学・福祉工学に興味を持ち、医学・薬学・医療・福祉及び理工学の基礎知識、先端知識を修得する意欲のある人材を求める。 ・医工学を修学した高度な専門職業人・研究者として、医療・福祉・健康分野、その他様々な分野で社会に貢献する意欲のある人材を求める。 ・医療・福祉・健康分野において高度かつ先端的な研究・開発を遂行するために必要な基礎的能力を持っている人材を求める。 【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】 学部卒業見込みの者だけでなく、社会人等の多様な学生を受け入れるため、4月入学と10月入学を認め、年2回の入学者選抜を実施する。また外国人留学生特別入試を実施する。 ＜一般入試、外国人留学生特別入試＞ 入学者の選抜は、小論文・適性検査、外国語(英語)試験、口述試験及び成績証明書の成績により、4年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価する。 ＜社会人特別入試＞ 入学者の選抜は、外国語(英語)試験、口述試験（業績調書含む）及び成績証明書の成績により、4年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価する。

＜博士後期課程＞

【入学者受入れの方針】

医薬理工学環は、本学環の目的、修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、創薬・製剤工学、応用和漢医薬学、認知・情動脳科学またはメディカルデザインの研究分野についての強い関心と基礎的能力を有し、論理的思考力と創造性を持ち、人と地の健康文化の進展に寄与しようとする意欲を備えている者を受け入れる。

そのため入学者選抜の基本方針として、複数の受験機会や多様な学生を評価できる入試を提供する。

【入学者選抜の基本方針(入試種別とその評価方法)】

多様な学生を受け入れるため、４月入学と１０月入学を認め、年２回の入学者選抜を実施する。各プログラムともに一般入試、外国人留学生特別入試を実施する。

入学者の選抜は、プログラム毎に外国語(英語)試験、口述試験及び成績証明書の成績により、大学院博士前期(修士)課程修了相当の学力、意欲、能力等について評価する。

各プログラムの入学者受入れの方針

創薬・製剤工学プログラム	【入学者受入れの方針】 創薬・製剤工学プログラムでは、修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に示す人材育成の目的に基づき、総合的な判断力を持った創造性豊かな研究者・教育者・技術者を志し、創薬・製剤の最先端を学びたいという意欲を持つ者を受け入れる。 【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】 大学院博士前期(修士)課程修了見込みの者だけでなく、社会人等の多様な学生を受け入れるため、４月入学と10月入学を認め、年２回の入学者選抜を実施する。また外国人留学生特別入試を実施する。 入学者の選抜は、外国語(英語)試験、口述試験及び成績証明書の成績により、大学院博士前期(修士)課程修了相当の学力、意欲、能力等について評価する。
応用和漢医薬学プログラム	【入学者受入れの方針】 応用和漢医薬学プログラムでは、修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に示す人材育成の目的に基づき、総合的な判断力を持った創造性豊かな研究者、教育者及び技術者を志し、応用和漢医薬学の基礎と実践を学びたいという意欲を持つ者を受け入れる。 【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】 大学院博士前期(修士)課程修了見込みの者だけでなく、社会人等の多様な学生を受け入れるため、４月入学と10 月入学を認め、年２回の入学者選抜を実施する。また外国人留学生特別入試を実施する。 入学者の選抜は、外国語(英語)試験、口述試験及び成績証明書の成績により、大学院博士前期(修士)課程修了相当の学力、意欲、能力等について評価する。
認知・情動脳科学プログラム	【入学者受入れの方針】 認知・情動脳科学プログラムでは、修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に示す人材育成の目的に基づき、総合的な判断力を持った創造性豊かな研究者・教育者及び技術者を志し、認知・情動脳科学の最先端を学びたいという意欲を持つ者を受け入れる。 【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】 大学院博士前期(修士)課程修了見込みの者だけでなく、社会人等の多様な学生を受け入れるため、４月入学と10 月入学を認め、年２回の入学者選抜を実施する。また外国人留学生特別入試を実施する。

	入学者の選抜は、外国語(英語)試験（原則として外部試験の成績提出）、口述試験及び成績証明書の成績により、大学院博士前期(修士)課程修了相当の学力、意欲、能力等について評価する。
メディカルデザインプログラム	【入学者受入れの方針】 ・医工学・福祉工学に興味を持ち、医学・薬学・医療・福祉及び理工学の基礎知識、先端知識を修得する意欲のある人材を求める。 ・医工学を修学した高度な専門職業人・研究者として、医療・福祉・健康分野、その他様々な分野で社会に貢献する意欲のある人材を求める。 ・医療・福祉・健康分野において高度かつ先端的な研究・開発を遂行するために必要な基礎的能力を持っている人材を求める。 【入学者選抜の基本方針（入試種別とその評価方法）】 大学院博士前期(修士)課程修了見込みの者だけでなく、社会人等の多様な学生を受け入れるため、4月入学と10月入学を認め、年2回の入学者選抜を実施する。また外国人留学生特別入試を実施する。 入学者の選抜は、外国語(英語)試験（原則として外部試験の成績提出）、口述試験及び成績証明書の成績により、大学院博士前期(修士)課程修了相当の学力、意欲、能力等について評価する。

修士課程・博士前期課程

1 募集人員

研究科等		専攻等・プログラム		入学定員	推薦入試	一般入試	総合型入試	社会人特別入試	外国人留学生特別入試
人文社会芸術総合研究科	修士課程	人文社会芸術総合専攻	心理学プログラム	51 (42)		6		若干名	若干名
			人文・芸術プログラム　人文科学系			18		若干名	若干名
			人文・芸術プログラム　芸術文化学系					若干名	若干名
			共創経済プログラム		若干名	18			
			計			42			
総合医薬学研究科	修士課程	総合医薬学専攻	先端医科学プログラム	56 (46)		6		若干名	若干名
	博士前期課程		看護科学プログラム			8		若干名	若干名
			先端薬科学プログラム			32		若干名	若干名
			計			46			
理工学研究科	博士前期課程	理工学専攻	数理情報学プログラム	370 (322)	31	30		若干名	若干名
			物理学・応用物理学プログラム		8	7		若干名	若干名
			生命・物質化学プログラム		21	21		若干名	若干名
			地球生命環境科学プログラム		18	18		若干名	若干名
			メカトロニクスプログラム		58	57		若干名	若干名
			マテリアル科学工学プログラム		19	18		若干名	若干名
			都市・交通デザイン学プログラム		6	6		若干名	若干名
			先端クリーンエネルギープログラム		2	2		若干名	若干名
			計		163	159			
持続可能社会創成学環	修士課程		社会データサイエンスプログラム	20	若干名		8		
			グローバルSDGsプログラム		若干名	A日程 10 B日程 2		若干名	
	小計					12	8		
医薬理工学環	博士前期課程		創薬・製剤工学プログラム	47		15		若干名	若干名
			応用和漢医薬学プログラム			8		若干名	若干名
			認知・情動脳科学プログラム			9		若干名	若干名
			メディカルデザインプログラム			15		若干名	若干名
	小計					47			
合　　計				477	163	306	8	若干名	若干名

専門職学位課程

研究科	専攻	入学定員	派遣教員入試	一般入試
教職実践開発研究科	教職実践開発専攻	14	14	

備考　１．募集人員は、第１次及び第２次を合わせた人数です。第１次の学生募集の定員充足状況により実施しない場合があります。実施の有無については、令和８年10月～11月頃に本学ウェブサイトで公表します。
なお、志願状況により第３次を実施する場合があります。

２．各プログラムの募集人員は、概ねの人数です。

３．令和9年10月入学者の募集人員は若干名です。

４．学環に各研究科から活用する入学定員は次のとおり。
持続可能社会創成学環：人文社会芸術総合研究科　9人　理工学研究科　11人
医薬理工学環：総合医薬学研究科　10人　理工学研究科　37人

５．入学定員の（　）の数は、４に示す学環へ活用する各定員を除いた数を示す。

６．入学定員の合計欄の数は、持続可能社会創成学環及び医薬理工学環の入学定員を除いた合計を示す。

７．大学院教職実践開発研究科の募集については、本要項とは別に公表する「富山大学大学院教職実践開発研究科専門職学位課程［教職大学院］学生募集要項」を確認してください。

２　入学者選抜日程の概要

令和８年10月入学

研究科等	プログラム	入試区分	出願期間		試験日	合格発表日	入学手続日
			開始日	終了日			
持続可能社会創成学環	グローバルＳＤＧｓプログラム	【A日程】 一般入試 社会人特別入試 推薦入試	令和8年5月25日（月）	令和8年6月1日（月）	令和8年7月1日（水）	令和8年7月17日（金）	令和8年8月26日（水）
総合医薬学研究科	先端医科学プログラム	一般入試 社会人特別入試 外国人留学生特別入試	令和8年7月10日（金）	令和8年7月17日（金）	令和8年8月18日（火）	令和8年9月1日（火）	令和8年9月11日（金）
	看護科学プログラム	一般入試 社会人特別入試 外国人留学生特別入試					
	先端薬科学プログラム	一般入試 社会人特別入試 外国人留学生特別入試					
理工学研究科	全プログラム	一般入試 社会人特別入試 外国人留学生特別入試			令和8年8月19日（水）		
持続可能社会創成学環	社会データサイエンスプログラム	総合型入試			令和8年8月21日（金）		
医薬理工学環	創薬・製剤工学プログラム、応用和漢医薬学プログラム、認知・情動脳科学プログラム	一般入試 社会人特別入試 外国人留学生特別入試			令和8年8月18日（火）		
	メディカルデザインプログラム				令和8年8月19日（水）		

令和９年４月入学

研究科等	プログラム	入試区分	出願期間		試験日	合格発表日	入学手続日
			開始日	終了日			
人文社会芸術総合研究科	共創経済プログラム	推薦入試	令和8年5月25日（月）	令和8年6月1日（月）	令和8年6月24日（水）	令和8年7月17日（金）	令和9年1月20日（水）
理工学研究科	全プログラム	推薦入試					
持続可能社会創成学環	社会データサイエンスプログラム	推薦入試					
	グローバルＳＤＧｓプログラム	【A日程】 一般入試 社会人特別入試 推薦入試			令和8年7月1日（水）		
人文社会芸術総合研究科	心理学プログラム	【第１次】 一般入試 社会人特別入試 外国人留学生特別入試	令和8年7月10日（金）	令和8年7月17日（金）	令和8年8月25日（火）	令和8年9月7日（月）	令和8年10月30日（金）
	人文・芸術プログラム	【第１次】 一般入試 社会人特別入試 外国人留学生特別入試					令和9年1月20日（水）
	共創経済プログラム	【第１次】 一般入試 ※社会人、外国人留学生を含む。					

研究科等	プログラム	入試区分	出願期間		試験日	合格発表日	入学手続日
			開始日	終了日			
総合医薬学研究科	先端医科学プログラム	【第１次】 一般入試 社会人特別入試 外国人留学生特別入試	令和8年7月10日（金）	令和8年7月17日（金）	令和8年8月18日（火）	令和8年9月1日（火）	令和9年1月20日（水）
	看護科学プログラム	【第１次】 一般入試 社会人特別入試 外国人留学生特別入試					
	先端薬科学プログラム	【第１次】 一般入試 社会人特別入試 外国人留学生特別入試					
理工学研究科	全プログラム	【第１次】 一般入試 社会人特別入試 外国人留学生特別入試			令和8年8月19日（水）		
持続可能社会創成学環	社会データサイエンスプログラム	【第１次】 総合型入試			令和8年8月21日（金）		
医薬理工学環	創薬・製剤工学プログラム、応用和漢医薬学プログラム、認知・情動脳科学プログラム	【第１次】 一般入試 社会人特別入試 外国人留学生特別入試			令和8年8月18日（火）		
	メディカルデザインプログラム				令和8年8月19日（水）		
人文社会芸術総合研究科	心理学プログラム 人文・芸術プログラム	【第２次】 一般入試 社会人特別入試 外国人留学生特別入試			令和9年2月12日（金）	令和9年2月22日（月）	令和9年3月5日（金）
	共創経済プログラム	【第２次】 一般入試 ※社会人、外国人留学生を含む。					
理工学研究科	全プログラム	【第２次】 一般入試 社会人特別入試 外国人留学生特別入試			令和9年2月19日（金）	令和9年3月5日（金）	令和9年3月12日（金）
持続可能社会創成学環	社会データサイエンスプログラム	【第２次】 総合型入試			令和9年1月20日（水）	令和9年2月2日（火）	令和9年2月12日（金）
	グローバルＳＤＧｓプログラム	【B日程】 一般入試 社会人特別入試 推薦入試	令和8年12月14日（月）	令和8年12月21日（月）			
総合医薬学研究科	先端医科学プログラム	【第２次】 一般入試 社会人特別入試 外国人留学生特別入試			令和9年2月18日（木）	令和9年3月5日（金）	令和9年3月12日（金）
	看護科学プログラム	【第２次】 一般入試 社会人特別入試 外国人留学生特別入試					
	先端薬科学プログラム	【第２次】 一般入試 社会人特別入試 外国人留学生特別入試					
医薬理工学環	創薬・製剤工学プログラム、応用和漢医薬学プログラム、認知・情動脳科学プログラム	【第２次】 一般入試 社会人特別入試 外国人留学生特別入試					
	メディカルデザインプログラム				令和9年2月19日（金）		

第２次の学生募集は、第１次の学生募集の定員充足状況により実施しない場合があります。

令和９年10月入学

研究科	プログラム	入試区分	出願期間		試験日	合格発表日	入学手続日
			開始日	終了日			
持続可能社会創成学環	グローバルＳＤＧｓプログラム	【B日程】 一般入試 社会人特別入試 推薦入試	令和8年12月14日（月）	令和8年12月21日（月）	令和9年1月20日（水）	令和9年2月2日（火）	令和9年7月予定

3　出願資格等

各出願資格において見込みで出願する者は、入学手続の時までに必要な条件が得られないことが確定した場合、入学を許可しません。

＜推薦入試＞

【人文社会芸術総合研究科共創経済プログラム】

人文社会芸術総合研究科共創経済プログラム推薦入試志願者は次の(1)及び（2）のいずれかに該当し、かつ、**推薦要件の各号のいずれかを満たし**、学業成績、人物ともに優れ、出身大学の学長（学部長）、出身学校長又は指導教員が責任を持って推薦でき、合格した場合には、入学を確約できる者とします。

(1)日本の大学を令和８年９月、もしくは令和９年３月に卒業見込みの者

(2)短期大学専攻科又は高等専門学校専攻科を令和９年３月修了見込みの者で、かつ、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に学士の学位（学校教育法第104 条第７項第１号に規定する学位）の授与申請見込み（令和９年３月に学位取得見込み）の者

推薦要件

・上記の（１）で出願する場合（次の２点をすべて満たすこと。）

① ３年次修了時までに、100 単位以上（ただし、卒業要件に含まない科目を除く）を修得していること（成績評価が「認」、「合」で行われる科目の単位を含む）

② 修得単位のうち、成績評価が「優（Ａ）」（「秀（Ｓ）」評価を実施している場合を含む）、「良（Ｂ）」、「可（Ｃ）」で行われる科目の合計単位数の６割以上が「優（Ａ）」以上であること

・上記の（２）で出願する場合（次の２点をすべて満たすこと。）

①専攻科１年次修了時までに、100 単位以上を修得していること（成績評価が「認」、「合」で行われる科目の単位を含む）

ただし単位数は、短期大学専攻科の場合は、短期大学の修得単位数と専攻科１年次までの修得単位数を合計した数とし、高等専門学校専攻科の場合は、高等専門学校本科４、５年次の修得単位数と専攻科１年次までの修得単位数を合計した数とする

② 修得単位のうち、成績評価が「優（Ａ）」（「秀（Ｓ））評価を実施している場合を含む）、「良（Ｂ）」、「可（Ｃ）」で行われる科目の合計単位数の６割以上が「優（Ａ）」以上であること

【理工学研究科】

理工学研究科推薦入試志願者は次の(1)から（3）のいずれかに該当し、かつ、学業成績、人物ともに優れ、出身大学の学長（学部長）、出身学校長又は指導教員が責任を持って推薦でき、合格した場合には、入学を確約できる者とします。

(1)日本の大学を令和９年３月に卒業見込みの者

(2)短期大学専攻科又は高等専門学校専攻科を令和９年３月修了見込みの者で、かつ、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に学士の学位（学校教育法第104 条第７項第１号に規定する学位）の授与申請見込み（令和９年３月に学位取得見込み）の者

(3)昭和 28 年２月７日文部省告示第５号（大学院及び大学の専攻科の入学に関し大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者）で指定する大学校（注）を令和９年３月までに卒業見込みの者

（注）出願資格（３）で指定する大学校は、防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、職業能力開発総合大学校の長期課程及び気象大学校とします。

【持続可能社会創成学環】

持続可能社会創成学環推薦入試志願者は一般入試の出願資格(1)から（12）のいずれかに該当し、かつ、出身大学の学長（学部長）、出身学校長又は指導教員が責任を持って推薦でき、合格した場合には、入学を確約できる者とします。

＜一般入試＞

次の各号のいずれかに該当する者とします。

なお、総合医薬学研究科看護科学プログラムの診療看護師（NP）コースに出願する場合は、この要件の他に、５年以上の看護職としての経験があること及び日本国の看護師の免許を有することが必要です。

(1) 日本の大学を卒業した者及び入学を希望する月の前月末日までに卒業見込みの者

(2) 学校教育法第104条第7項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び入学を希望する月の前月末日までに授与される見込みの者

(3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び入学を希望する月の前月末日までに修了見込みの者

(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び入学を希望する月の前月末日までに修了見込みの者

(5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び入学を希望する月の前月末日までに修了見込みの者

(6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び入学を希望する月の前月末日までに授与される見込みの者

(7) 専修学校の専門課程(修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び入学を希望する月の前月末日までに修了見込みの者

(8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第５号）

① 旧制学校等を修了した者

② 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者　注1

(9) 学校教育法第102条第２項の規定により他の大学院に入学した者であって、その後に入学させる本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると入学を希望する本学研究科又は学環において認めたもの

(10) 入学を希望する本学研究科又は学環において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に22歳に達するもの

(11) 入学を希望する月の前月末日の時点で大学に３年以上在学した者、外国において学校教育（日本において、外国の大学が行う通信教育を履修する場合を含む）における15年の課程を修了した者又は日本において、文部科学大臣が指定した外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設において15年の課程を修了した者であって、所定の単位を優れた成績をもって修得したと入学を希望する本学研究科又は学環が認めたもの

(12)大学卒業までに16年を要しない国からの外国人留学生又はこれに準ずる者であって、次の二つの条件を満たし、かつ入学を希望する本学研究科又は学環において、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもの

ａ．大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関法人等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等としておおむね１年以上研究に従事した者及び入学を希望する月の前月末

日までにおおむね１年以上研究に従事する見込みの者
ｂ．入学時に22歳に達するもの

（注1）出願資格(8)で各省大学校を修了した者として指定する大学校は、防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、職業能力開発総合大学校の長期課程及び気象大学校とします。
（注2）出願資格(9)～(12)で出願しようとする者は、事前に出願資格審査を行うので、97ページ「７　出願資格の事前審査」を参照し、所定の手続きを行ってください。

＜総合型入試＞

出願できる者は、一般入試の出願資格（1）～(12)のいずれかに該当する者とします。

※ 一般入試の出願資格(9)～(12)により出願しようとする者は、事前に出願資格審査を行うので、97ページ「７　出願資格の事前審査」を参照し、所定の手続きを行ってください。

＜社会人特別入試＞

次の(1)から(10)のいずれかに該当する者で、かつ**希望する研究科又は学環が定める出願要件を満たす**ものとします。

(1) 大学を卒業した者
(2) 学校教育法第104条第７項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
(3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
(5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
(6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
(7) 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
(8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第５号）注1
(9) 学校教育法第102条第２項の規定により他の大学院に入学した者であって、その後に入学させる本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると本研究科において認めたもの
(10) 入学を希望する本学研究科又は学環において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に22歳に達しているもの

（注1）出願資格(8)で各省大学校を修了した者として指定する大学校は、防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、職業能力開発総合大学校の長期課程及び気象大学校とします。
（注2）出願資格(9)、(10)で出願しようとする者は、事前に出願資格審査を行うので、97ページ「７　出願資格の事前審査」を参照し、所定の手続きを行ってください。

出願要件

【人文社会芸術総合研究科】

社会人として３年以上の経験を有すること。

【総合医薬学研究科】

先端医科学プログラム及び看護科学プログラム

社会人として３年以上の実務経験及び研究発表等の業務実績を有すること。

看護科学プログラムの診療看護師(NP)コースに出願する場合は、５年以上の看護職としての経験があること及び日本国の看護師の免許を有すること。

先端薬科学プログラム

社会人として１年以上の実務経験及び研究発表等の業績実績を有すること。

【持続可能社会創成学環】

社会人として１年以上の実務経験及び研究発表等の業務実績を有すること。

【理工学研究科】

社会人として１年以上の実務経験及び研究発表等の業務実績を有すること。

社会人としての実務経験は、常勤・非常勤を問いません。ただし、大学その他の学校在学期間に行ったアルバイト等は社会人経験には含みません。また、出願資格(8)のうち、職業能力開発総合大学校の長期課程の資格で申請する場合は１年以上の社会人経験を必要としません。

【医薬理工学環】

社会人として１年以上の実務経験及び研究発表等の業務実績を有すること。

社会人としての実務経験は、常勤・非常勤を問いません。ただし、大学その他の学校在学期間に行ったアルバイト等は社会人経験には含みません。また、出願資格(8)のうち、職業能力開発総合大学校の長期課程の資格で申請する場合は１年以上の社会人経験を必要としません。

＜外国人留学生特別入試＞

出願できる者は、一般入試の出願資格（1）～(12)のいずれかに該当する者で、かつ、次の出願要件をすべて満たすものとします。

※ 一般入試の出願資格(9)～(12)により出願しようとする者は、事前に出願資格審査を行うので、97ページ「７　出願資格の事前審査」を参照し、所定の手続きを行ってください。

研究科等	プログラム	出願要件
人文社会芸術総合研究科	心理学プログラム 人文・芸術プログラム（人文科学系）	① 日本国籍を有しない者 ②「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を有する者又は入学後に在留資格を「留学」に変更できる見込みの者 ③公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験（JLPT）Ｎ１の認定を受けた者 ※心理学プログラムにおいては、公認心理師受験資格取得を希望する場合は、一般入試で出願してください。

	人文・芸術プログラム （芸術文化学系）	① 日本国籍を有しない者 ②「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を有する者又は入学後に在留資格を「留学」に変更できる見込みの者 ③公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験の成績通知書等又は独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験（EJU）（日本語）の成績通知書等（写しでも可）がある者
総合医薬学研究科	先端医科学プログラム 先端薬科学プログラム	① 日本国籍を有しない者 ②「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を有する者又は入学後に在留資格を「留学」に変更できる見込みの者
	看護科学プログラム	①日本国籍を有しない者 ②「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を有する者又は入学後に在留資格を「留学」に変更できる見込みの者 ③ 日本語で日常会話ができる者
理工学研究科 医薬理工学環	全プログラム	①日本国籍を有しない者 ②「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を有する者又は入学後に在留資格を「留学」に変更できる見込みの者

4　入学者選抜方法

（1）人文社会芸術総合研究科（修士課程）

入学試験関係日程

事項	推薦入試	一般入試・社会人特別入試・外国人留学生特別入試 令和９年４月入学	
		第１次	第２次（予定）
障害等のある入学志願者の事前相談期限	令和８年 ５月８日（金）16時必着	令和８年 ６月25日（木）16時必着	令和８年 11月20日（金）16時必着
出願資格審査照会期限 （該当者のみ）		令和８年 ６月25日（木）16時必着	令和８年 11月20日（金）16時必着
出願資格審査結果通知 （該当者のみ）		出願期間開始日の前日までに本人宛に通知	出願期間開始日の前日までに本人宛に通知
出願期間	令和８年５月25日（月） ～６月１日（月） 17時必着	令和８年７月10日（金） ～７月17日（金） 17時必着	令和８年12月14日（月） ～12月21日（月） 17時必着
受験票等発行日 （予定） ※インターネット出願サイト上で印刷	令和８年 ６月12日（金）15時	令和８年 ８月３日（月）15時	令和９年 １月12日（火）15時
試験日	令和８年６月24日（水）	令和８年８月25日（火）	令和９年２月12日（金）
合格者発表	令和８年 ７月17日（金）15時	令和８年 ９月７日（月）15時	令和９年 ２月22日（月）15時
入学手続締切日 （予定）	令和９年１月20日（水） 16時必着	＜心理学プログラム）＞ 令和８年10月30日（金） 16時必着 ＜人文・芸術プログラム、共創経済プログラム）＞ 令和９年１月20日（水） 16時必着	令和９年３月５日（金） 16時必着

※心理学プログラムにおいては、第２次の学生募集は、第１次の学生募集の定員充足状況により実施しない場合があります。実施の有無については、令和８年11月頃に本学ウェブサイトで公表します。

※入学時期は４月入学のみとし、10月入学は実施していません。

（注）入学志願者は、出願前に志望する指導教員と教育・研究に関する方向性等について、必ず相談してください。志望する指導教員が未定の場合は出願できません。希望する指導教員への連絡方法が分からない場合は、102ページの指導教員が担当するプログラムの「担当・連絡先」に問い合わせてください。

相談の主な目的は、以下のとおりです。

・入学後の研究分野の確認

・教育・研究等に関する方向性の確認

なお、相談の内容が入試の合否に直接影響することはありません。

募集人員

令和９年４月入学

プログラム名	推薦入試	一般入試	社会人特別入試	外国人留学生特別入試
心理学プログラム	―	6 名	若干名	若干名
人文・芸術プログラム	―	18 名	若干名	若干名
共創経済プログラム	若干名	18 名	―	―
計	42名			

※共創経済プログラムの一般入試では、社会人、外国人留学生も併せて募集します。

入学者選抜方法

＜推薦入試＞

【共創経済プログラム】

入学者の選抜は、口述試験（プレゼンテーションを含む）を行います。

口述試験では志願理由書及び研究計画書等に基づき志願者の修学条件、研究意欲、研究能力等を判定します。プレゼンテーションは、志望理由、これまでの研究成果（研究レポート、卒業論文等に基づくもの）及び入学後の研究計画について、プレゼンテーション資料を用いて８分以内で発表を行います。

＜一般入試＞

【心理学プログラム】

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験、外部英語試験及び提出された書類を総合して行います。

①筆記試験

心理学に関する筆記試験を行います。

②口述試験

心理学に関する口頭試問、志願理由書及び研究計画書に基づき志願者の修学条件、研究意欲、研究能力等を判定します。

外部英語試験の利用について

提出された外部英語試験のスコアを50点満点に換算し、筆記試験の得点に算入します。なお、外部英語試験の成績が提出できない場合は、出願を認めません。

外部英語試験の種類は、TOEIC Listening & Reading 公開テスト、TOEIC-IPテスト とします。TOEIC® L&R のスコアは公式認定証、もしくは IP テストのスコアレポート(マークシート方式で受験の際の成績)のみ有効とします。オンラインで受験したTOEIC- IPテストの 成績は、出願書類として使用できません。

なお、利用するスコアは、出願期間最終日から遡って２年以内に受験したものに限ります。

スコアの換算方法

・TOEIC Listening & Reading 公開テスト、TOEIC-IPテスト

換算点＝ TOEIC のスコア/ 20（小数点第１位を四捨五入）

【人文・芸術プログラム（人文科学系）】

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験及び提出された書類を総合して行います。

①筆記試験

筆記試験は、志望研究領域に関する筆記試験（専門科目）を行います。

なお、英語又は希望する研究領域に応じた外国語に関する内容が含まれる場合があります。

各研究領域における試験内容は以下のとおりです。

	研究領域	試験内容
人文科学系	哲学・人間学	哲学・倫理思想・宗教思想に関する選択問題。
	歴史文化	歴史学全般に関する知識及び志望研究分野（日本史学・東洋史学・西洋史学・考古学）の専門的知識を問う。
	言語学	言語学及び音声学に関する知識を問う。
	国際関係論	国際関係論の基礎的知識を問う
	社会学	基礎用語及び研究方法に関する理解を問う。
	人文地理学	さまざまな地図や統計データを適切に読み取り論述する能力，地理学に関する専門用語についての基礎的知識を問う。
	文化人類学	文化人類学の基礎的知識及びフィールドワークの技能を問う。
	スポーツ人類学	スポーツ人類学に関する基礎的知識及びフィールドワークの技能を問う。
	日本言語文化	志望研究分野(日本語学・日本文学)の専門的知識を問う。
	朝鮮言語文化	朝鮮語学・朝鮮文学の知識を問う。
	中国言語文化	中国語学・中国文学に関する知識を問う。
	英語学	英語力及び英語学の知識を問う。
	イギリス言語文化	英語の読解力、及びイギリス文学・文化に関する知識を問う。
	アメリカ言語文化	英語の読解力、及びアメリカ文学・文化に関する知識を問う。
	ドイツ言語文化	ドイツ語力を見る問題のほかに、ドイツ語学・ドイツ文学に関する知識を問う。
	フランス言語文化	フランス語の総合的な理解力、及びフランス文学・文化の知識を問う。
	ロシア言語文化	ロシア語の総合的な理解力、及びロシア文学・文化の知識を問う。

②口述試験

研究領域に関する口頭試問、志願理由書及び研究計画書に基づき志願者の 修学条件、研究意欲、研究能力等を判定します。

【人文・芸術プログラム（芸術文化学系）】

入学者の選抜は、口述試験及び提出された書類により行います。

口述試験では、研究計画・志願理由書等と作品（持ち込みがあった場合）に基づき、研究目的・計画等の明確さ、研究能力・作品制作能力及び、コミュニケーション能力等を評価します。

【共創経済プログラム】

入学者の選抜は、口述試験（プレゼンテーションを含む）を行います。

口述試験では志願理由書及び研究計画書等に基づき志願者の修学条件、研究意欲、研究能力等を判定します。プレゼンテーションは、志望理由、これまでの研究成果（研究レポート、卒業論文等に基づくもの）及び入学後の研究計画について、プレゼンテーション資料を用いて８分以内で発表を行います。

＜社会人特別入試＞

【心理学プログラム】

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験、外部英語試験及び提出された書類を総合して行います。

①筆記試験

心理学に関する筆記試験を行います。

②口述試験

心理学に関する口頭試問、志願理由書及び研究計画書に基づき志願者の修学条件、研究意欲、研究能力等を判定します。

外部英語試験の利用について

提出された外部英語試験のスコアを50点満点に換算し、筆記試験の得点に算入します。なお、外部英語試験の成績が提出できない場合は、出願を認めません。

外部英語試験の種類は、TOEIC Listening & Reading 公開テスト、TOEIC-IPテストとします。

TOEIC® L&R のスコアは公式認定証、もしくは IPテストのスコアレポート(マークシート方式で受験の際の成績)のみ有効とします。オンラインで受験したTOEIC- IPテストの成績は、出願書類として使用できません。

なお、利用するスコアは、出願期間最終日から遡って 2 年以内に受験したものに限ります。

スコアの換算方法

・TOEIC Listening & Reading 公開テスト、TOEIC-IPテスト

換算点＝ TOEIC のスコア/ 20（小数点第１位を四捨五入）

【人文・芸術プログラム（人文科学系）】

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験及び提出された書類を総合して行います。

①筆記試験

筆記試験は、志望研究領域に関する筆記試験（専門科目）を行います。

なお、英語又は希望する研究領域に応じた外国語に関する内容が含まれる場合があります。

各研究領域における試験内容は35ページのとおりです。

②口述試験

研究領域に関する口頭試問、志願理由書及び研究計画書に基づき志願者の修学条件、研究意欲、研究能力等を判定します。

【人文・芸術プログラム（芸術文化学系）】

入学者の選抜は、口述試験及び提出された書類により行います。

口述試験では、研究計画・志願理由書等と作品（持ち込みがあった場合）に基づき、研究目的・計画等の明確さ、研究能力・作品制作能力及び、コミュニケーション能力等を評価します。

＜外国人留学生特別入試＞

【心理学プログラム】

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験及び提出された書類を総合して行います。
ただし、公認心理師受験資格取得を希望する場合は、一般入試で出願してください。
①筆記試験
心理学に関する筆記試験を行います。なお、英語に関する内容が含まれる場合があります。
②口述試験
心理学に関する口頭試問、志願理由書及び研究計画書に基づき志願者の修学条件、研究意欲、研究能力等を判定します。

【人文・芸術プログラム（人文科学系）】

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験及び提出された書類を総合して行います。
①筆記試験
筆記試験は、志望研究領域に関する筆記試験（専門科目）を行います。
なお、英語又は希望する研究領域に応じた外国語に関する内容が含まれる場合があります。
各研究領域における試験内容は35ページのとおりです。
②口述試験
研究領域に関する口頭試問、志願理由書及び研究計画書に基づき志願者の修学条件、研究意欲、研究能力等を判定します。

【人文・芸術プログラム（芸術文化学系）】

入学者の選抜は、口述試験及び提出された書類により行います。
口述試験では、研究計画・志願理由書等と作品（持ち込みがあった場合）に基づき、研究目的・計画等の明確さ、研究能力・作品制作能力及び、コミュニケーション能力等を評価します。

試験日程及び試験場

【推薦入試】試験日：令和８年６月24日（水）

試験科目等	共創経済プログラム
受付	13：15 集合
口述試験	13：30～
試験場	富山大学五福キャンパス　経済学部

※試験当日は、印刷した受験票を持参してください。また、事前に受験上の注意事項を必ず確認してください。（99ページ参照）

【一般入試、社会人特別入試、外国人留学生特別入試】

【第１次】試験日：令和８年８年25日（火）
【第２次】試験日：令和９年２月12日（金）

試験科目等	一般入試、社会人特別入試、外国人留学生特別入試			一般入試
	心理学プログラム	人文・芸術プログラム		共創経済プログラム
		人文科学系	芸術文化学系	
受付	９：00～	９：00～	12：30～	13：15 集合
筆記試験	10：00 ～12：00	10：00 ～12：00	―	―
口述試験	13：00 ～	13：00 ～	13：00 ～	13：30～
試験場	富山大学五福キャンパス 人文学部		富山大学 高岡キャンパス 芸術文化学部	富山大学 五福キャンパス 経済学部

※心理学プログラムにおいては、第２次募集は、第１次募集の定員充足状況により実施しない場合があります。
※試験当日は、印刷した受験票を持参してください。また、事前に受験上の注意事項を必ず確認してください。（99ページ参照）

合否判定基準

＜推薦入試＞

【共創経済プログラム】

口述試験（プレゼンテーションを含む）400 点満点とし、高得点順とします。

なお、原則として得点率60％未満の場合は合格の対象としません。

＜一般入試＞

【心理学プログラム 】

筆記試験（200 点（外部英語試験のスコアの換算点50点を含む。））及び口述試験（200 点）の合計 400 点満点とし、教育・研究環境等の条件を総合的に勘案して、高得点順に判定します。

【人文・芸術プログラム（人文科学系）】

筆記試験（200 点）及び口述試験（200 点）の合計 400 点満点とし、高得点順に判定します。

【人文・芸術プログラム（芸術文化学系）】

口述試験400点満点とし、教育・研究環境等の条件を総合的に勘案して、高得点順に判定します。

【共創経済プログラム】

口述試験（プレゼンテーションを含む）400 点満点とし、高得点順とします。

なお、原則として得点率60％未満の場合は合格の対象としません。

＜社会人特別入試、外国人留学生特別入試＞

【心理学プログラム 】

筆記試験（200 点(社会人特別入試においては、外部英語試験のスコアの換算点50点を含む。)）及び口述試験（200 点）の合計 400 点満点とし、教育・研究環境等の条件を総合的に勘案して、高得点順に判定します。

【人文・芸術プログラム（人文科学系）】

筆記試験（200 点）及び口述試験（200 点）の合計 400 点満点とし、高得点順に判定します。

【人文・芸術プログラム（芸術文化学系）】

口述試験400点満点とし、教育・研究環境等の条件を総合的に勘案して、高得点順に判定します。

入試情報開示

出題意図及び筆記試験にかかる試験問題、解答又は解答例等は、令和９年４月頃に、人文社会芸術総合研究科ウェブサイトに公表します。

なお、入学試験の成績開示は行いません。

合格者発表

合格者の受験番号を富山大学ウェブサイトに掲載するとともに、本人に合格通知書を郵送します。

なお、電話、E-mail等による合否の問合せには、一切応じません。発表日時は33ページを参照してください。

追加合格（心理学プログラムのみ）

心理学プログラムでは、入学手続締切日において、入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、追加合格による欠員補充を行うことがあります。追加合格候補者に対して、入学志願票に記載された連絡先の電話番号に連絡します。入学手続締切日は33ページを参照してください。

（2）総合医薬学研究科（修士課程・博士前期課程）

入学試験関係日程

事項	一般入試・社会人特別入試・外国人留学生特別入試	
	令和８年10月入学 令和９年４月入学【第１次】	令和９年４月入学【第２次】
障害等のある入学志願者の事前相談	令和８年 ６月25日（木）16時必着	令和８年 11月27日（金）16時必着
出願資格審査照会期限（該当者のみ）	令和８年 ７月２日（木）16時必着	令和８年 12月４日（金）16時必着
出願資格審査結果通知（該当者のみ）	出願期間開始日の前日 までに本人宛に通知	出願期間開始日の前日 までに本人宛に通知
出願期間	令和８年７月10日（金） ～　７月17日（金）17時必着	令和８年12月14日（月） ～　12月21日（月）17時必着
受験票等発行日（予定） ※インターネット出願サイト上で印刷	令和８年８月５日（水）15時	令和９年２月 ５日（金）15時
試験日	令和８年８月18日（火）	令和９年２月18日（木）
合格者発表	令和８年９月１日（火）15時	令和９年３月5日（金）15時
入学手続締切日（予定）	＜令和８年10月入学＞ 令和８年９月11日（金）16時必着 ＜令和９年４月入学）＞ 令和９年１月20日（水）16時必着	令和９年３月12日（金）16時必着

※第２次の学生募集は、第１次の学生募集の定員充足状況により実施しない場合があります。
実施の有無については、令和８年11月頃に本学ウェブサイトで公表します。

（注）入学志願者は、出願前に志望する指導教員と教育・研究に関する方向性等について、必ず相談してください。志望する指導教員が未定の場合は出願できません。指導教員の連絡先は102ページに記載のウェブサイトで確認してください。

相談の主な目的は、以下のとおりです。
・入学後の研究分野の確認
・教育・研究等に関する方向性の確認
なお、相談の内容が入試の合否に直接影響することはありません。

募集人員　注

令和９年４月入学

プログラム名	一般入試	社会人特別入試	外国人留学生特別入試
先端医科学プログラム	６人	若干名	若干名
看護科学プログラム	８人	若干名	若干名
先端薬科学プログラム	32人	若干名	若干名
計	46人		

令和８年10月入学

プログラム名	一般入試	社会人特別入試	外国人留学生特別入試
先端医科学プログラム	若干名	若干名	若干名
看護科学プログラム	若干名	若干名	若干名
先端薬科学プログラム	若干名	若干名	若干名

注 各プログラムの募集人員は、概ねの人数です。

看護科学プログラムには、研究者コース、 専門看護師(CNS/がん・母性)コース及び診療看護師(NP)コースがあります。診療看護師（NP）コースは、４月入学のみの受入れとなります。

入学者選抜方法

＜一般入試＞

【先端医科学プログラム】

入学者の選抜は、小論文・適性検査、外国語(英語)試験(42ページ「外部英語試験の利用について」を参照)、口述試験、志望理由書及び成績証明書の成績により、４年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価します。

①小論文・適性検査

・志望動機、研究計画、先端医科学研究に関する興味や関心、倫理観などについて問います。

② 口述試験

・筆記試験での解答を踏まえ、志望動機、これまでに学修してきた内容を大学院でどのように活かすのか、研究計画、修了後の希望や社会貢献の予定、等について面接形式で問います。

【看護科学プログラム】

入学者の選抜は、小論文・適性検査、外国語（英語）試験（42ページ「外部英語試験の利用について」を参照。）及び口述試験の成績により、高度な看護実践能力と看護研究方法を修得するための基盤となる基礎的な知識、研究遂行能力等を評価します。

①小論文・適性検査

・志望動機、研究計画、看護科学研究に関する興味や関心、倫理観などについて問います。

②口述試験

・大学院入学への志望動機、研究意欲等を問います。

【先端薬科学プログラム】

入学者の選抜は、小論文・適性検査、外国語（英語）試験（42ページ「外部英語試験の利用について」を参照。）、口述試験及び成績証明書の成績により、４年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価します。

①小論文・適性検査

・適性検査として薬科学研究に関する基礎的な知識を問います。

②口述試験

・大学院入学への志望動機、研究意欲等を問います。

＜社会人特別入試＞

【先端医科学プログラム】

入学者の選抜は、業績審査、外国語（英語）試験（42ページ「外部英語試験の利用について」を参照）、口述試験、志望理由書及び成績証明書の成績により、４年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価します。

① 口述試験

・志望動機、先端医科学研究に関する興味や関心、これまでに学修してきた内容を大学院でどのように活かすのか、研究計画、倫理観、修了後の希望や社会貢献の予定、等について面接形式で問います。

【看護科学プログラム】

入学者の選抜は、研究業績審査、外国語（英語）試験（42ページ「外部英語試験の利用について」を参照。）及び口述試験の成績により、高度な看護実践能力と看護研究方法を修得するための基盤となる看護実践実績及び(業務)研究実績、研究への関心・遂行能力等を評価します。

① 口述試験

・大学院入学への志望動機、研究意欲等を問います。

【先端薬科学プログラム】

入学者の選抜は、業績審査、外国語（英語）試験（42ページ「外部英語試験の利用について」を参照）、口述試験及び成績証明書の成績により、４年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価します。

①口述試験

・大学院入学の志望動機、研究意欲等を問います。

＜外国人留学生特別入試＞

【先端医科学プログラム】

入学者の選抜は、小論文・適性検査、外国語（英語）試験（42ページ「外部英語試験の利用について」を参照）、口述試験、志望理由書及び成績証明書の成績により、４年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価します。

① 小論文・適性検査

・志望動機、研究計画、先端医科学研究に関する興味や関心、倫理観などについて問います。

② 口述試験

・筆記試験での解答を踏まえ、志望動機、これまでに学修してきた内容を大学院でどのように活かすのか、 研究計画、修了後の希望や社会貢献の予定、等について面接形式で問います。

【看護科学プログラム】

入学者の選抜は、小論文・適性検査、外国語（英語）試験（42ページ「外部英語試験の利用について」を参照。）及び口述試験の成績により、高度な看護実践能力と看護研究方法を修得するための基盤となる基礎的な知識、研究遂行能力等を評価します。

① 小論文・適性検査

・志望動機、研究計画、看護科学研究に関する興味や関心、倫理観などについて問います。

②口述試験

・大学院入学への志望動機、研究意欲等を問います。

【先端薬科学プログラム】

入学者の選抜は、小論文・適性検査、外国語（英語）試験（42ページ「外部英語試験の利用について」を参照。）、口述試験及び成績証明書の成績により、４年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価します。

①小論文・適性検査

適性検査として薬科学研究に関する基礎的な知識を問います。

②外国語(英語)

４年制学部教育卒業レベルの語学力を問います。

・外部英語試験のスコアを提出した場合は、外国語（英語）試験は課しません。

③ 口述試験

大学院入学の志望動機、研究意欲等を問います。

試験日程及び試験場

【令和９年４月入学（第１次）・令和８年10月入学】試験日：令和８年８月18日（火）

【令和９年４月入学（第２次）】試験日：令和９年２月18日（木）

試験科目等	一般入試 （全プログラム） 外国人留学生特別入試 （先端医科学プログラム、 看護科学プログラム）	社会人特別入試 （全プログラム）	外国人留学生特別入試 （先端薬科学プログラム）
外国語(英語)	―	―	９：30 ～ 10：30
小論文・適性検査	11：00 ～12：00	―	11：00 ～12：00
口述試験	13：30 ～※	13：30 ～※	13：30 ～※
試験場	富山大学　杉谷（医薬系）キャンパス		

※口述試験の開始時間については、志願者数によって変更することがあります。変更する場合は、受験票を発行する際にお知らせします。

※試験当日は、印刷した受験票を持参してください。また、事前に受験上の注意事項を必ず確認してください。（99ページ参照）

外部英語試験の利用について

総合医薬学研究科においては外国語（英語）の筆記試験を行わず、提出された外部英語試験のスコアを100 点満点に換算した点数を成績とします。ただし、外国人留学生特別入試先端薬科学プログラムにおいては、外部英語試験のスコアが提出できない者に、外国語（英語）筆記試験を実施します。複数の試験を受験している場合は、換算点の高いものを提出してください。外部英語試験の種類は、TOEFL-iBT、TOEFL-ITP、TOEIC L&R、TOEIC L&R-IP及びIELTSとします。

なお、利用するスコアは受験する入学試験日から過去２年以内に受験したものに限ります。

※看護科学プログラムのみ受験日の制限はありません。

スコアの換算方法

・TOEFL-iBT

70以上＝100点

70未満の場合 換算点＝100×（TOEFL-iBTのスコア）／ 70

・TOEFL-ITP

525以上＝100点

525未満の場合 換算点＝100×｛（TOEFL-ITPのスコア）－ 310｝／ 215

310以下＝0点

・TOEIC L&R、TOEIC L&R-IP

730以上＝100点

730未満の場合 換算点＝100×（TOEICのスコア）／ 730

・IELTS

6.0以上＝100点

6.0未満の場合 換算点＝100×｛（IELTSのスコア）-1｝／ 5

合否判定基準

【先端医科学プログラム】

① 一般入試

小論文・適性検査150点、外国語（英語）試験100点、口述試験等50点、合計300点満点とし、その高得点順に判定します。

② 社会人特別入試

業績審査150点、外国語（英語）試験100点、口述試験等50点、合計300点満点とし、その高得点順に判定します。

③ 外国人留学生特別入試

小論文・適性検査150点、外国語（英語）試験100点、口述試験等50点、合計300点満点とし、その高得点順に判定します。

なお、いずれの入試区分においても外国語（英語）試験の得点が50点未満の場合又は、口述試験の得点が30点未満の場合は、不合格とします。

【看護科学プログラム】

① 一般入試

小論文・適性検査150点、外国語（英語）試験100点、口述試験等50点、合計300点満点とし、その高得点順に判定します。

② 社会人特別入試

業績審査150点、外国語（英語）試験100点、口述試験等50点、合計300点満点とし、その高得点順に判定します。

③ 外国人留学生特別入試

小論文・適性検査150点、外国語（英語）試験100点、口述試験等50点、合計300点満点とし、その高得点順に判定します。

なお、いずれの入試区分においても外国語（英語）試験の得点が50点未満の場合又は口述試験の得点が30点未満の場合は、不合格とします。

【先端薬科学プログラム】

① 一般入試

小論文・適性検査150点、外国語（英語）試験100点、口述試験等50点、合計300点満点とし、その高得点順に判定します。

② 社会人特別入試

業績審査150点、外国語（英語）試験100点、口述試験等50点、合計300点満点とし、その高得点順に判定します。また、口述試験の得点が30点未満の場合は、不合格とします。

③ 外国人留学生特別入試

小論文・適性検査150点、外国語（英語）試験100点を参照）、口述試験等50点、合計300点満点とし、その高得点順に判定します。

なお、いずれの入試区分においても外国語（英語）試験の得点が50点未満の場合は、不合格とします。

入試情報開示

出題意図及び筆記試験にかかる試験問題、解答又は解答例等は、令和９年５月に、総合医薬学研究科ウェブサイトに公表します。

なお、入学試験の成績開示は行いません。

合格者発表

合格者の受験番号を富山大学ウェブサイトに掲載するとともに、本人に合格通知書を郵送します。

なお、電話、E-mail等による合否の問合せには、一切応じません。発表日時は39ページを参照してください

（3）理工学研究科（博士前期課程）

入学試験関係日程

事項	推薦入試	一般入試・社会人特別入試・外国人留学生特別入試	
		令和８年10月入学 令和９年４月入学 【第１次】	令和９年４月入学 【第２次】
障害等のある入学志願者の事前相談	令和８年 ５月８日（金）16時必着	令和８年 ６月25日（木）16時必着	令和８年 11月27日（金）16時必着
出願資格審査照会期限（該当者のみ）		令和８年 ７月２日（木）16時必着	令和８年 12月４日（金）16時必着
出願資格審査結果通知（該当者のみ）		出願期間開始日の前日までに本人宛に通知	出願期間開始日の前日までに本人宛に通知
出願期間	令和８年５月25日（月） ～６月１日（月） 17時必着	令和８年７月10日（金） ～７月17日（金） 17時必着	令和８年12月14日（月） ～12月21日（月） 17時必着
受験票等発行日（予定） ※インターネット出願サイト上で印刷	令和８年 ６月12日（金）15時	令和８年 ８月５日（水）15時	令和９年 ２月５日（金）15時
試験日	令和８年６月24日（水）	令和８年８月19日（水）	令和９年２月19日（金）
合格者発表	令和８年 ７月17日（金）15時	令和８年 ９月１日（火）15時	令和９年 ３月５日（金）15時
入学手続締切日（予定）	令和９年１月20日（水） 16時必着	＜令和８年10月入学＞ 令和８年９月11日（金） 16時必着 ＜令和９年４月入学＞ 令和９年１月20日（水） 16時必着	令和９年３月12日（金） 16時必着

※第２次募集は、第１次募集の定員充足状況により実施しない場合があります。実施の有無については、令和８年10月頃本学ウェブサイト上で公表します。
富山大学大学院理工学研究科ウェブサイト　https://www.gsse.u-toyama.ac.jp

（注）入学志願者は、出願前に志望する指導教員と教育・研究に関する方向性等について、必ず相談してください。志望する指導教員が未定の場合は出願できません。指導教員の連絡先は102ページに記載のウェブサイトで確認してください。
相談の主な目的は、以下のとおりです。
・入学後の研究分野の確認
・教育・研究等に関する方向性の確認
なお、相談の内容が入試の合否に直接影響することはありません。

募集人員

令和９年４月入学

プログラム名	推薦入試	一般入試	社会人特別入試 外国人留学生特別入試
数理情報学プログラム	31 人（注）	30 人	若干名
物理学・応用物理学プログラム	8 人	7 人	若干名
生命・物質化学プログラム	21 人	21 人	若干名
地球生命環境科学プログラム	18 人	18 人	若干名
メカトロニクスプログラム	58 人	57 人	若干名
マテリアル科学工学プログラム	19 人	18 人	若干名
都市・交通デザイン学プログラム	6 人	6 人	若干名
先端クリーンエネルギープログラム	2 人	2 人	若干名
合　計	322 人		

（注）「富山大学と富山高等専門学校との大学院推薦入学に関する協定書に基づく富山大学大学院理工学研究科理工学専攻（博士前期課程）推薦入試における富山高等専門学校専攻科特別枠に関する覚書」に定める特別枠数（3 人程度）を含みます。

令和８年10月入学

プログラム名	一般入試	社会人特別入試 外国人留学生特別入試
数理情報学プログラム	若干名	若干名
物理学・応用物理学プログラム	若干名	若干名
生命・物質化学プログラム	若干名	若干名
地球生命環境科学プログラム	若干名	若干名
メカトロニクスプログラム	若干名	若干名
マテリアル科学工学プログラム	若干名	若干名
都市・交通デザイン学プログラム	若干名	若干名
先端クリーンエネルギープログラム	若干名	若干名

入学者選抜方法

＜推薦入試＞

入学者の選抜方法は、面接（学力試験（口述）含む。）、出身大学等の学業成績及び外部英語試験の結果等を総合して行います。

概要	
数理情報学プログラム	面接（学力試験（口述）含む。）は、志願理由や将来の目標、意欲及び卒業研究に関連した学術的な内容等を問います。
物理学・応用物理学プログラム	面接（学力試験（口述）含む。）は、志望動機や将来の目標、意欲、熱意、さらに卒業研究にいたるまでに必要な物理学もしくは応用物理学の基礎的な力を問います。

生命・物質化学プログラム	面接（学力試験（口述）含む。）は、志願理由や将来の目標、意欲及び卒業研究に関連した学術的な内容等を問います。
地球生命環境科学プログラム	面接は、希望する指導教員によって、地学系、生物系、環境系に分かれて実施します。 面接（学力試験（口述）含む。）は、志願理由や将来の目標、意欲だけ でなく、卒業研究に関連した学術的な内容等も広範に問います。
メカトロニクスプログラム	志望動機、専門知識、関連の基礎知識、及び研究に対する意識などについて質問します。
マテリアル科学工学プログラム	志望理由、これまでの研究内容（背景、目的ならびに進捗状況)、進学後の研究構想、将来（10 年後）の目標などを問います。
都市・交通デザイン学プログラム	面接では以下の内容について総合的に問います。 ・志望理由 ・将来の目標や意欲 ・卒業研究に関連する学術的な内容 ・大学院で行う研究構想 など なお、PC などを用いたプレゼンテーションは行わず、口頭だけとします。
先端クリーンエネルギープログラム	面接（学力試験（口述）含む。）は、志願理由や将来の目標、意欲及び卒業研究に関連した学術的な内容等を問います。

＜一般入試＞

入学者の選抜方法は、面接（学力試験（口述）含む。）、出身大学等の学業成績及び外部英語試験の結果等を総合して行います。

備　　考	
数理情報学プログラム	面接（学力試験（口述）含む。）は、卒業研究の内容及び各プログラムを専攻するための基礎学力等を問います。
物理学・応用物理学プログラム	面接（学力試験（口述）含む。）は、志望動機や将来の目標、意欲、熱意、さらに卒業研究にいたるまでに必要な物理学もしくは応用物理学の基礎的な力を問います。
生命・物質化学プログラム	面接（学力試験（口述）含む。）は、卒業研究の内容及び各プログラムを専攻するための基礎学力等を問います。
地球生命環境科学プログラム	面接は、希望する指導教員によって、地学系、生物系、環境系に分かれて実施します。面接（学力試験（口述）含む。）は、卒業研究の内容及び、地球生命環 境プログラムを専攻するための基礎学力を広範に問います。
メカトロニクスプログラム	1) 受験者発表 受験者は、以下の項目をパワーポイント、PDF などのプレゼンテーション ソフトにまとめて 10 分間で発表を行います。スライド枚数は任意とします。 ① 卒業研究の背景 ② 卒業研究の目的 ③ これまでの結果 ④ 今後の目標及び課題 ただし、卒業研究を行っていない場合は、上記の項目に変えて、興味ある研究について「① 研究背景」「② 研究目的」「③ 今後の課題」について発表を行います。

	2)質疑応答 志望動機、専門知識、関連の基礎知識、及び研究に対する意識などについて質問します。 3)評価内容 以下の 3 項目について評価します。① これまでの研究における目的、背景、意義、実験原理、課題等 の理解度 ② プレゼンテーションにおける説明能力（専門外の人に対してのわかりやすさ） ③ 質問対応 4) その他 発表に使用するパソコンは、大学で準備する Windows パソコンを使用します。発表ファイルは USB メモリに入れて試験会場まで持参してください。自身のパソコンを使用する際は、HDMI のみ接続可能ですが、接続保証はできません。 （試験会場のノートパソコンについて） ・OS: Windows 11 Pro ・インストール済みソフト: Microsoft PowerPoint 2019、 Adobe Acrobat Reader ※発表用ファイルには Windows11 標準のフォントを使用してください。PDF の場合は、フォントを埋め込んで保存してください。
マテリアル科学工学プログラム	志望理由、これまでの研究内容（背景、目的ならびに進捗状況)、進学後の研究構想、将来（10 年後）の目標などを問います。
都市・交通デザイン学プログラム	面接では以下の内容について総合的に問います。 ・志望理由 ・将来の目標や意欲 ・卒業研究に関連する学術的な内容 ・大学院で行う研究構想 など なお、PC などを用いたプレゼンテーションは行わず、口頭だけとします。
先端クリーンエネルギープログラム	面接（学力試験（口述）含む。）は、卒業研究の内容及び各プログラムを専攻するための基礎学力等を問います。

＜社会人特別入試、外国人留学生特別入試＞

入学者の選抜は、面接（学力試験（口述）含む。）及び出身大学等の学業成績等を総合して行います。

試験日程及び試験場

【推薦入試】試験日：令和 8 年 6 月24 日（水）

試験科目等	全プログラム
面接（学力試験（口述）含む。）	9：30 ～　又は　13：30 ～
試験場	富山大学五福キャンパス

※海外在住の方に限り、やむを得ない事情により来学が難しい場合は、オンラインでの受験が可能です。

※試験当日は、印刷した受験票を持参してください。また、事前に受験上の注意事項を必ず確認してください。（99ページ参照）

【一般入試・社会人特別入試・外国人留学生特別入試】

＜令和９年４月入学（第１次）・令和８年10月入学＞　試験日：令和８年８月19日（水）

＜令和９年４月入学（第２次）＞　試験日：令和９年２月19日（金）

試験科目等	全プログラム
面接（学力試験（口述）含む。）	9：30 ～　又は　13：30 ～
試験場	富山大学五福キャンパス

※第２次募集は、第１次募集の定員充足状況により実施しない場合があります。実施の有無については、令和８年 10 月頃本学ウェブサイト上で公表します。

※海外在住の方に限り、やむを得ない事情により来学が難しい場合は、オンラインでの受験が可能です。

※試験当日は、印刷した受験票を持参してください。また、事前に受験上の注意事項を必ず確認してください。（99ページ参照）

外部英語試験の利用について

理工学研究科においては、提出された外部英語試験のスコアを 100 点満点に換算し、その得点をプログラム毎に定めた配点に換算します。

外部英語試験の種類は、TOEIC Listening & Reading 公開テスト、TOEIC-IPテスト、TOEFL-iBT、TOEFL-ITP とします。

なお、利用するスコアは令和５（2023）年4月1日以降の試験を受験したものに限ります。

スコアの換算方法

・TOEIC Listening & Reading 公開テスト、TOEIC-IPテスト

730 点以上＝ 100 点

730 点未満の場合　換算点＝ 100 ×（TOEIC のスコア）/ 730

・TOEFL-iBT

70 点以上＝ 100 点

70 点未満の場合　換算点＝ 100 ×（TOEFL-iBT のスコア）/ 70

・TOEFL-ITP

525 点以上＝ 100 点

525 点未満、310 点以上の場合　換算点＝ 100 ×[(TOEFL-ITP のスコア)－310] / 215

310 点未満＝0 点

合否判定基準

※配点・評語は次ページ参照

①推薦入試

面接（学力試験（口述）含む。）、出身大学等の学業成績及び外部英語試験の結果等を高点順に判定します。

②一般入試

面接（学力試験（口述）含む。）、出身大学等の学業成績及び外部英語試験の結果等を高点順に判定します。

③社会人特別入試

面接（学力試験（口述）含む。）及び出身大学等の学業成績等を高点順に判定します。

④外国人留学生特別入試

面接（学力試験（口述）含む。）及び出身大学等の学業成績等を高点順に判定します。

富山大学大学院理工学研究科博士前期課程入試区分別配点等

推薦入試

プログラム	面接 (学力試験(口述)含む)	外部英語試験 TOEFL/TOEIC (換算点)	書類審査 (学業成績等)	志望理由書	合計
数理情報プログラム	200	100	評語		300
物理学・応用物理学プログラム	300	100	400	200	1,000
生命・物質化学プログラム	評語	100	評語		—
地球生命環境科学プログラム	200	50	250		500
メカトロニクスプログラム	400	100	評語		500
マテリアル科学工学プログラム	200	100	評語		300
都市・交通デザイン学プログラム	200	100	評語		300
先端クリーンエネルギープログラム	100	100	評語		200

※評語は，A・B・C で表す。

一般入試

プログラム	面接 (学力試験(口述)含む)	外部英語試験 TOEFL/TOEIC (換算点)	書類審査 (学業成績等)	合計
数理情報学プログラム	200	100	評語	300
物理学・応用物理学プログラム	700	100	200	1,000
生命・物質化学プログラム	600	200	評語	800
地球生命環境科学プログラム	350	50	100	500
メカトロニクスプログラム	400	100	評語	500
マテリアル科学工学プログラム	200	100	評語	300
都市・交通デザイン学プログラム	200	100	評語	300
先端クリーンエネルギープログラム	100	100	評語	200

※評語は，A・B・C で表す。

社会人特別入試

プログラム	面接 (学力試験(口述)含む)	書類審査 (学業成績等)	合計
数理情報学プログラム	200	評語	200
物理学・応用物理学プログラム	100	評語	100
生命・物質化学プログラム	評語	評語	—
地球生命環境科学プログラム	200	評語	200
メカトロニクスプログラム	400	評語	400
マテリアル科学工学プログラム	100	評語	100
都市・交通デザイン学プログラム	200	評語	200
先端クリーンエネルギープログラム	100	評語	100

※評語は，A・B・C で表す。

外国人留学生特別入試

プログラム	面接 (学力試験(口述)含む)	書類審査 (学業成績等)	合計
数理情報学プログラム	200	評語	200
物理学・応用物理学プログラム	100	評語	100
生命・物質化学プログラム	評語	評語	—
地球生命環境科学プログラム	200	評語	200
メカトロニクスプログラム	400	評語	400
マテリアル科学工学プログラム	100	評語	100
都市・交通デザイン学プログラム	200	評語	200
先端クリーンエネルギープログラム	100	評語	100

※評語は，A・B・C で表す。

入試情報開示

出題意図等は令和９年５月頃に、理工学研究科ウェブサイトにより公表します。

なお、入学試験の成績開示は行いません。

合格者発表

合格者の受験番号を富山大学ウェブサイトに掲載するとともに、本人に合格通知書を郵送します。

なお、電話、E-mail等による合否の問合せには、一切応じません。発表日時は45ページを参照してください。

入学確約書（推薦入試合格者対象）

推薦入試合格者には、本研究科所定の入学確約書用紙を送付するので、記入のうえ令和８年７月31日（金）までに本学理工系学務課工学部・都市デザイン学部事務室（入試担当）へ提出してください。

入学確約書を提出しない者は、本学に入学の意思がないものとして取り扱います。

（4）持続可能社会創成学環（修士課程）

入学試験関係日程

<table>
<tr><td rowspan="3">事項</td><td>社会データサイエンスプログラム</td><td>グローバル SDGs プログラム</td><td>社会データサイエンスプログラム</td><td>グローバル SDGs プログラム</td><td>社会データサイエンスプログラム</td></tr>
<tr><td>推薦入試</td><td>推薦入試・一般入試・社会人特別入試</td><td>総合型入試</td><td>推薦入試・一般入試・社会人特別入試</td><td>総合型入試</td></tr>
<tr><td>令和９年４月入学</td><td>【A 日程】
令和８年10月入学
令和９年４月入学</td><td>【第１次】
令和８年10月入学
令和９年４月入学</td><td>【B 日程】
令和９年４月入学
令和９年10月入学</td><td>【第２次】（予定）
令和９年４月入学</td></tr>
<tr><td>障害等のある入学志願者の事前相談</td><td colspan="2">令和８年
５月１日（金）16 時必着</td><td>令和８年６月12日（金）16 時必着</td><td>令和８年
11月13日（金）
16時必着</td><td>令和８年
11月13日（金）
16時必着</td></tr>
<tr><td>出願資格審査照会期限（該当者のみ）</td><td colspan="2">令和８年
５月１日（金）16 時必着</td><td>令和８年
６月19日（金）
16 時必着</td><td>令和８年
11月20日（金）
16 時必着</td><td>令和８年
11月20日（金）
16 時必着</td></tr>
<tr><td>出願資格審査結果通知（該当者のみ）</td><td colspan="2">出願期間開始日の前日までに本人宛に通知</td><td>出願期間開始日の前日までに本人宛に通知</td><td>出願期間開始日の前日までに本人宛に通知</td><td>出願期間開始日の前日までに本人宛に通知</td></tr>
<tr><td>出願期間</td><td colspan="2">令和８年
５月25 日（月）～ ６月１日（月）17時必着</td><td>令和８年
７月10日（金）
～７月17日
（金）17時必着</td><td>令和８年12月14日（月）
～12月21日（月）
17時必着</td><td>令和８年12月14日（月）
～12月21日（月）
17 時必着</td></tr>
<tr><td>受験票等発行日（予定）
※インターネット出願サイト上で印刷</td><td colspan="2">令和８年
６月２４日（水）15 時</td><td>令和８年
８月７日（金）
15 時</td><td>令和９年
１月13日（水）
15 時</td><td>令和９年
１月13日（水）
15 時</td></tr>
<tr><td>試験日</td><td colspan="2">令和８年７月１日（水）</td><td>令和８年
８月21日（金）</td><td>令和９年
１月20日（水）</td><td>令和９年
１月20日（水）</td></tr>
<tr><td>合格者発表</td><td colspan="2">令和８年７月17日（金）15 時</td><td>令和８年
９月１日（火）
15 時</td><td>令和９年２月２日（火）15時</td><td>令和９年２月２日（火）15時</td></tr>
<tr><td>入学手続締切日
（予定）</td><td colspan="5">社会データサイエンスプログラム
＜令和８年10月入学【総合型】＞ 令和８年９月11日（金）16時必着
＜令和９年４月入学【推薦】【総合型（第１次）】＞ 令和９年１月20日（水）16時必着
＜令和９年４月入学【総合型（第２次）】＞ 令和９年２月12日（金）16時必着
グローバル SDGs プログラム
＜令和８年10月入学【A 日程】＞ 令和８年８月26日（水）16時必着
＜令和９年４月入学【A 日程】＞ 令和９年１月20日（水）16時必着</td></tr>
</table>

	＜令和９年４月入学【B日程】＞ 令和９年２月12日（金）16時必着 ＜令和９年10月入学【B 日程】＞ 令和９年７月予定

総合型入試については、募集人員の充足状況により２次募集を行う場合があります。
詳細については令和８年 11 月頃公表します。

（注） 入学志願者は、出願前に志望する指導教員と教育・研究に関する方向性等について、必ず相談してください。志望する指導教員が未定の場合は出願できません。指導教員の連絡先は102ページに記載のウェブサイトで確認してください。

相談の主な目的は、以下のとおりです。
・入学後の研究分野の確認
・教育・研究等に関する方向性の確認
なお、相談の内容が入試の合否に直接影響することはありません。

募集人員

令和９年４月入学

プログラム名	推薦入試	一般入試	社会人特別入試	総合型入試
社会データサイエンスプログラム	若干名	―	―	８人
グローバル SDGs プログラム	若干名	A 日程：10 人 B 日程：2 人	若干名	―

令和８年10月入学

プログラム名	推薦入試	一般入試	社会人特別入試	総合型入試
社会データサイエンスプログラム	―	―	―	若干名
グローバル SDGs プログラム	若干名	若干名	若干名	―

令和９年10月入学

プログラム名	推薦入試	一般入試	社会人特別入試	総合型入試
グローバル SDGs プログラム	若干名	若干名	若干名	―

入学者選抜方法

＜推薦入試＞

【社会データサイエンスプログラム】

入学者の選抜は、出身学校の学業成績証明書及び面接（学力に関する口頭試問を含む）の結果を総合して行います。学力に関する口頭試問は、主に専門知識について問います。

【グローバル SDGs プログラム】

入学者の選抜は、出身学校の学業成績証明書及び口述試験（プレゼンテーションを含む）の結果を総合して行います。

＜一般入試＞

【グローバル SDGs プログラム】

入学者の選抜は、出身学校の学業成績証明書、外部英語試験の結果及び口述試験（プレゼンテーションを含む）の結果を総合して行います。

＜社会人特別入試＞

【グローバル SDGs プログラム】

入学者の選抜は、出身学校の学業成績証明書及び口述試験（プレゼンテーションを含む）の結果を総合して行います。

＜総合型入試＞

【社会データサイエンスプログラム】

入学者の選抜は、面接（学力に関する口頭試問を含む）及び出願書類（学業成績証明書など）により、学士課程までに習得した知識、大学院修士課程における研究課題及びその解決に必要な知識・スキルを設定する能力、コミュニケーション力、論理的思考力を総合的に評価して行います。なお、学力に関する口頭試問は、主に専門知識について問います。

試験日程及び試験場

【推薦入試・一般入試・社会人特別入試】令和９年４月入学・令和８年10月入学

試験日：令和８年７月１日(水)

試験科目等	社会データサイエンスプログラム	グローバル SDGs プログラム
９：30 ～	面接 （学力に関する口頭試問を含む）	口述試験 （プレゼンテーションを含む）
試験場所	富山大学五福キャンパス	富山大学五福キャンパス

※海外在住の方に限り、やむを得ない事情により来学が難しい場合は、オンラインでの受験が可能です。

※試験当日は、印刷した受験票を持参してください。また、事前に受験上の注意事項を必ず確認してください。（99ページ参照）

【総合型入試】令和９年４月入学・令和８年10月入学　試験日：令和８年８月21日(金)

試験科目等	社会データサイエンスプログラム
９：30 ～	面接（学力に関する口頭試問を含む）
試験場所	富山大学五福キャンパス

※海外在住の方に限り、やむを得ない事情により来学が難しい場合は、オンラインでの受験が可能です。

※試験当日は、印刷した受験票を持参してください。また、事前に受験上の注意事項を必ず確認してください。（99ページ参照）

【総合型入試（第２次募集）】令和９年４月入学（社会データサイエンスプログラム）

【一般入試(Ｂ日程）】令和９年４月入学、令和９年10月入学（グローバル SDGs プログラム）

【社会人特別入試(Ｂ日程)】令和９年４月入学、令和９年10月入学（グローバル SDGs プログラム）

【推薦入試(Ｂ日程)】令和９年４月入学、令和９年10月入学（グローバル SDGs プログラム）

試験日：令和９年１月20日（水）

試験科目等	社会データサイエンスプログラム	グローバル SDGs プログラム
９：30 ～	面接 （学力に関する口頭試問を含む）	口述試験 （プレゼンテーションを含む）
試験場所	富山大学五福キャンパス	富山大学五福キャンパス

※海外在住の方に限り、やむを得ない事情により来学が難しい場合は、オンラインでの受験が可能です。

※試験当日は、印刷した受験票を持参してください。また、事前に受験上の注意事項を必ず確認してください。（99ページ参照）

外部英語試験の利用について

持続可能社会創成においては、次のとおり換算した点を２倍して 200 点満点とする。

以下の換算式により、100 点を満点とする「換算点」で表す。

外部英語試験の種類は、TOEIC Listening & Reading 公開テスト、TOEIC-IPテスト、TOEFL-iBT、TOEFL-ITP とします。

なお、利用するスコアは令和５（2023）年４月１日以降の試験を受験したものに限ります。

「換算点」の計算は、小数点以下１桁目を四捨五入して算定する。

・TOEIC Listening & Reading 公開テスト、TOEIC-IPテスト

730 点以上＝ 100 点

730 点未満の場合　換算点＝ 100 ×（TOEIC のスコア）/ 730

・TOEFL-iBT

70 点以上＝ 100 点

70 点未満の場合　換算点＝ 100 ×（TOEFL-iBT のスコア）/ 70

・TOEFL-ITP

525 点以上＝ 100 点

525 点未満の場合　換算点＝ 100 ×[(TOEFL のスコア)－310] / 215

310 点以下＝0 点

ただし外国籍を有する者で，TOEIC/TOEFL を受験していない場合は、以下のとおりとします。

・IELTS

6.0 以上＝100 点

6.0 未満の場合　換算点＝100×｛（IELTS のスコア）-1｝ /5

・英語能力を示す他の検定等の結果（成績がわかるもの）

プログラムが定める点数で表す。

合否判定基準

【社会データサイエンスプログラム】

①総合型入試

出願書類（学業成績証明書）100 点、面接（学力に関する口頭試問を含む）200 点、合計 300 点満点とし、その高得点順に判定します。

②推薦入試

出願書類（学業成績証明書）100 点、面接（学力に関する口頭試問を含む）100 点、合計 200 点満点とし、その高得点順に判定します。

【グローバル SDGs プログラム】

①一般入試

出願書類（学業成績証明書 100 点、外部英語試験 200 点）300 点、口述試験（プレゼンテーショ

ンを含む）700 点、合計 1000 点満点とし、その高得点順に判定する。

②推薦入試

出願書類（学業成績証明書）300 点、口述試験（プレゼンテーションを含む）700 点、合計 1000 点満点とし、その高得点順に判定する。

③社会人特別入試

出願書類（学業成績証明書）300 点、口述試験（プレゼンテーションを含む）700 点、合計 1000 点満点とし、その高得点順に判定する。

入試情報開示

出題意図は、令和９年４月頃に、持続可能社会創成学環ウェブサイトに公表します。

なお、入学試験の成績開示は行いません。

合格者発表

合格者の受験番号を富山大学ウェブサイトに掲載するとともに、本人に合格通知書を郵送します。

なお、電話、E-mail等による合否の問合せには、一切応じません。発表日時は52ページを参照してください。

（5）医薬理工学環（博士前期課程）

<table>
<tr><td rowspan="2">事項</td><td colspan="2">一般入試・社会人特別入試・外国人留学生特別入試</td></tr>
<tr><td>令和８年10月入学
令和９年４月入学【第１次】</td><td>令和９年４月入学【第２次】</td></tr>
<tr><td>障害等のある入学志願者の事前相談</td><td>令和８年
６月25日（木）16時必着</td><td>令和８年
11月27日（金）16時必着</td></tr>
<tr><td>出願資格審査照会期限
（該当者のみ）</td><td>令和８年
７月２日（木）16時必着</td><td>令和８年
12月４日（金）16時必着</td></tr>
<tr><td>出願資格審査結果通知
（該当者のみ）</td><td>出願期間開始日の前日
までに本人宛に通知</td><td>出願期間開始日の前日
までに本人宛に通知</td></tr>
<tr><td>出願期間</td><td>令和８年７月10日（金）
～　７月17日（金）17時必着</td><td>令和８年12月14日（月）
～　12月21日（月）17時必着</td></tr>
<tr><td>受験票等発行日
（予定）
※インターネット出願サイト上で印刷</td><td>令和８年８月５日（水）15時</td><td>令和９年２月 ５日（金）15時</td></tr>
<tr><td rowspan="4">試験日</td><td colspan="2">創薬・製剤工学プログラム、応用和漢医薬学プログラム、
認知・情動脳科学プログラム</td></tr>
<tr><td>令和８年８月18日（火）</td><td>令和９年２月18日（木）</td></tr>
<tr><td colspan="2">メディカルデザインプログラム</td></tr>
<tr><td>令和８年８月19日（水）</td><td>令和９年２月19日（金）</td></tr>
<tr><td>合格者発表</td><td>令和８年９月１日（火）15時</td><td>令和９年３月５日（金）15時</td></tr>
<tr><td>入学手続締切日
（予定）</td><td>＜令和８年10月入学＞
令和８年９月11日（金）16時必着
＜令和９年４月入学）＞
令和９年１月20日（水）16時必着</td><td>令和９年３月12日（金）16時必着</td></tr>
</table>

※第２次の学生募集は、第１次の学生募集の定員充足状況により実施しない場合があります。
実施の有無については、令和８年11月頃に本学ウェブサイトで公表します。

（注） 入学志願者は、出願前に志望する指導教員と教育・研究に関する方向性等について、必ず相談してください。志望する指導教員が未定の場合は出願できません。指導教員の連絡先は102ページに記載のウェブサイトで確認してください。

相談の主な目的は、以下のとおりです。

・入学後の研究分野の確認

・教育・研究等に関する方向性の確認

なお、相談の内容が入試の合否に直接影響することはありません。

募集人員

令和９年４月入学

プログラム名	一般入試	社会人特別入試	外国人留学生特別入試
創薬・製剤工学プログラム	１５人	若干名	若干名
応用和漢医薬学プログラム	８人	若干名	若干名
認知・情動脳科学プログラム	９人	若干名	若干名
メディカルデザインプログラム	１５人	若干名	若干名
計	４７人		

令和８年１０月入学

プログラム名	一般入試	社会人特別入試	外国人留学生特別入試
創薬・製剤工学プログラム	若干名	若干名	若干名
応用和漢医薬学プログラム	若干名	若干名	若干名
認知・情動脳科学プログラム	若干名	若干名	若干名
メディカルデザインプログラム	若干名	若干名	若干名

入学者選抜方法

＜一般入試＞

【創薬・製剤工学プログラム、応用和漢医薬学プログラム】

入学者の選抜は、小論文・適性検査、外国語(英語)試験（60ページ「外部英語試験の利用について」を参照）、口述試験及び成績証明書の成績により、４年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価します。

①小論文・適性検査

・志望動機、志望分野に関する基礎知識及び興味、研究計画などについて問います。

②口述試験

・大学院入学への志望動機、研究意欲等を問います。

【認知・情動脳科学プログラム 】

入学者の選抜は、小論文・適性検査、外国語(英語)試験（60ページ「外部英語試験の利用について」を参照）、口述試験及び成績証明書の成績により、４年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価します。

①小論文・適性検査

・志望動機、志望分野に関する基礎知識及び興味、研究計画などについて問います。

②口述試験

・小論文・適性検査での解答を踏まえ、志望動機、これまでに学修してきた内容を認知・情動脳科学研究でどのように活かすのか、研究計画、修了後の希望や目指している研究者像、等について面接形式で問います。

【メディカルデザインプログラム 】

入学者の選抜は、小論文・適性検査、外国語(英語)試験（60ページ「外部英語試験の利用について」を参照。）、口述試験及び成績証明書の成績により、４年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価します。

①小論文・適性検査

・志望動機、修了後にどのように社会に貢献したいか、等を問います。

②口述試験

・これまでに学修してきたこと、研究計画、等を問います。

＜社会人特別入試＞

【創薬・製剤工学プログラム、応用和漢医薬学プログラム】

入学者の選抜は、外国語(英語)試験（60ページ「外部英語試験の利用について」を参照）、口述試験及び成績証明書の成績により、４年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価します。

①口述試験

・大学院入学への志望動機、研究意欲等を問います。

【認知・情動脳科学プログラム 】

入学者の選抜は、外国語(英語)試験（60ページ「外部英語試験の利用について」を参照）、口述試験及び成績証明書の成績により、４年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価します。

①口述試験

・業績調書を踏まえ、志望動機、これまでに学修してきた内容を認知・情動脳科学研究でどのように活かすのか、研究計画、修了後の希望や目指している研究者像、等について面接形式で問います。

【メディカルデザインプログラム 】

入学者の選抜は、外国語(英語)試験（60ページ「外部英語試験の利用について」を参照。）、口述試験及び成績証明書の成績により、４年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価します。

①口述試験

・これまでに学修してきたこと、研究計画、等を問います。

＜外国人留学生特別入試＞

【創薬・製剤工学プログラム、応用和漢医薬学プログラム】

入学者の選抜は、小論文・適性検査、外国語（英語）試験（60ページ「外部英語試験の利用について」を参照）、口述試験及び成績証明書の成績により、４年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価します。

①小論文・適性検査

・ 志望動機、志望分野に関する基礎知識及び興味、研究計画などについて問います。

②外国語(英語)

・４年制学部教育卒業レベルの語学力を問います。

・外部英語試験のスコアを利用する場合、外国語(英語)の筆記試験は課しません。

③口述試験

・大学院入学の志望動機、研究意欲等を問います。

【認知・情動脳科学プログラム 】

入学者の選抜は、小論文・適性検査、外国語（英語）試験（60ページ「外部英語試験の利用について」を参照。）、口述試験及び成績証明書の成績により、４年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価します。

①小論文・適性検査

・志望動機、志望分野に関する基礎知識及び興味、研究計画などについて問います。

②口述試験

・小論文・適性検査での解答を踏まえ、志望動機、これまでに学修してきた内容を認知・情動脳科学研究でどのように活かすのか、研究計画、修了後の希望や目指している研究者像、等について面接形式で問います。

【メディカルデザインプログラム】

入学者の選抜は、小論文・適性検査、外国語(英語)試験（60ページ「外部英語試験の利用について」を参照。）、口述試験及び成績証明書の成績により、４年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価します。

①小論文・適性検査

・志望動機、修了後にどのように社会に貢献したいか、等を問います。

②口述試験

・これまでに学修してきたこと、研究計画、等を問います。

試験日程及び試験場

創薬・製剤工学プログラム、応用和漢医薬学プログラム、認知・情動脳科学プログラム

【令和９年４月入学（第１次）・令和８年10月入学】試験日：令和８年８月18日(火)

【令和９年４月入学（第２次）】試験日：令和９年２月18日(木)

試験科目等	創薬・製剤工学プログラム 応用和漢医薬学プログラム 認知・情動脳科学プログラム	
	一般入試・外国人留学生特別入試	社会人特別入試
11：00 ～ 12：00	小論文・適性検査	
13：30 ～	口述試験※	口述試験※
試験場	富山大学 杉谷（医薬系）キャンパス	

※口述試験の開始時間については、志願者数によって変更することがあります。変更する場合は、受験票を発行する際にお知らせします。

※試験当日は、印刷した受験票を持参してください。また、事前に受験上の注意事項を必ず確認してください。（99ページ参照）

メディカルデザインプログラム

【令和９年４月入学（第１次）・令和８年10月入学】試験日：令和８年８月19日(水)

【令和９年４月入学（第２次）】試験日：令和９年２月19日(金)

試験科目等	メディカルデザインプログラム	
	一般入試・外国人留学生特別入試	社会人特別入試
11：00 ～ 12：00	小論文・適性検査	―
13：30 ～	口述試験※	口述試験※
試験場	富山大学五福キャンパス	

※口述試験の開始時間については、志願者数によって変更することがあります。変更する場合は、受験票を発行する際にお知らせします。

※試験当日は、印刷した受験票を持参してください。また、事前に受験上の注意事項を必ず確認してください。（99ページ参照）

外部英語試験の利用について

医薬理工学環においては外国語（英語）の筆記試験を行わず、提出された外部英語試験のスコアを100 点満点に換算した点数を成績とします。

複数の試験を受験している場合は、換算点の高いものを提出してください。

外部英語試験の種類は、TOEFL-iBT、TOEFL-ITP、TOEIC L&R、TOEIC L&R-IP及びIELTSとします。

なお、利用するスコアは受験する入学試験日から過去２年以内に受験したものに限ります。

※社会人特別入試志願者については、受験日の制限はありません。

スコアの換算方法

・TOEFL-iBT

70以上＝100点

70未満の場合 換算点＝100×（TOEFL-iBTのスコア）／ 70

・TOEFL-ITP

525以上＝100点

525未満の場合 換算点＝100×｛（TOEFL-ITPのスコア）－ 310｝／215

310以下＝0点

・TOEIC L&R、TOEIC L&R-IP

730以上＝100点

730未満の場合 換算点＝100×（TOEICのスコア）／ 730

・IELTS

6.0以上＝100点

6.0未満の場合 換算点＝100×｛（IELTSのスコア）-1｝／5

合否判定基準

全プログラム

① 一般入試、外国人留学生特別入試

小論文・適性検査150点、外国語（英語）試験100点、口述試験等50点とし、合計300点満点中150点以上を合格とする。

なお、外国語（英語）試験の得点が50点未満の場合又は口述試験の得点が30点未満の場合は、不合格とする。

② 社会人特別入試

外国語（英語）試験100点、口述試験等100点とし、合計200点満点中100点以上を合格とする。

なお、外国語（英語）試験の得点が50点未満の場合又は口述試験の得点が60点未満の場合は、不合格とする。

入試情報開示

出題意図及び筆記試験にかかる試験問題、解答又は解答例等は、令和９年５月に、医薬理工学環ウェブサイトに公表します。

なお、入学試験の成績開示は行いません。

合格者発表

合格者の受験番号を富山大学ウェブサイトに掲載するとともに、本人に合格通知書を郵送します。

なお、電話、E-mail等による合否の問合せには、一切応じません。発表日時は57ページを参照してください。

博士課程・博士後期課程

1 募集人員

研究科等（修業年限）		専攻等・プログラム		入学定員	一般入試	社会人特別入試	社会人早期修了入試	外国人留学生特別入試
総合医薬学研究科	博士課程（4年） 博士後期課程（3年）	総合医薬学専攻	生命・臨床医学プログラム	50（43）	30			
			臨床薬学プログラム		4			若干名
			看護科学プログラム		3			若干名
			先端薬科学プログラム		6			若干名
			計		43			
理工学研究科	博士後期課程（3年）	理工学専攻	数理情報学・データサイエンスプログラム	31（26）	11	若干名	2	若干名
			生命・物質・エネルギー科学プログラム		5	若干名		若干名
			サステイナブル地球環境学プログラム		5	若干名		若干名
			先進工学プログラム		3	若干名		若干名
			計		24		2	
医薬理工学環	博士後期課程（3年）		創薬・製剤工学プログラム	12	3			若干名
			応用和漢医薬学プログラム		3			若干名
			認知・情動脳科学プログラム		4			若干名
			メディカルデザインプログラム		2			若干名
	小計				12			
合　　計				81	79	若干名	2	若干名

備考

１．募集人員は、第１次及び第２次を合わせた人数となります。第１次の学生募集の定員充足状況により実施しない場合があります。実施の有無については、令和８年10月～11月頃に本学ウェブサイトで公表します。
　なお、志願状況により第３次を実施する場合があります。

２．各プログラムの募集人員は、概ねの人数です。

３．医薬理工学環に各研究科から活用する入学定員は次のとおり。
　　総合医薬学研究科　７人　理工学研究科　５人

４．入学定員の（　）の数は、３に示す学環へ活用する各定員を除いた数を示す。

５．入学定員の合計欄の数は、医薬理工学環の入学定員を除いた合計を示す。

２　入学者選抜日程の概要

令和８年10月入学

研究科等	プログラム	入試区分	出願期間		試験日	合格発表日	入学手続日
			開始日	終了日			
総合医薬学研究科	生命・臨床医学プログラム	一般入試	令和8年7月10日（金）	令和8年7月17日（金）	令和8年8月21日（金）	令和8年9月1日（火）	令和8年9月11日（金）
	臨床薬学プログラム、看護科学プログラム、先端薬科学プログラム	一般入試 外国人留学生特別入試					
理工学研究科	全プログラム	一般入試 社会人特別入試 社会人早期修了入試 外国人留学生特別入試			令和8年8月20日（木）		
医薬理工学環	創薬・製剤工学プログラム、応用和漢医薬学プログラム、認知・情動脳科学プログラム	一般入試 外国人留学生特別入試			令和8年8月21日（金）		
	メディカルデザインプログラム	一般入試 外国人留学生特別入試			令和8年8月20日（木）		

令和９年４月入学

研究科等	プログラム	入試区分	出願期間		試験日	合格発表日	入学手続日
			開始日	終了日			
総合医薬学研究科	生命・臨床医学プログラム	【第１次】 一般入試	令和8年7月10日（金）	令和8年7月17日（金）	令和8年8月21日（金）	令和8年9月1日（火）	令和9年1月20日（水）
	臨床薬学プログラム、看護科学プログラム、先端薬科学プログラム	【第１次】 一般入試 外国人留学生特別入試					
理工学研究科	全プログラム	【第１次】 一般入試 社会人特別入試 社会人早期修了入試 外国人留学生特別入試			令和8年8月20日（木）		
医薬理工学環	創薬・製剤工学プログラム、応用和漢医薬学プログラム、認知・情動脳科学プログラム	【第１次】 一般入試 外国人留学生特別入試			令和8年8月21日（金）		
	メディカルデザインプログラム	【第１次】 一般入試 外国人留学生特別入試			令和8年8月20日（木）		
総合医薬学研究科	生命・臨床医学プログラム	【第２次】 一般入試	令和8年12月14日（月）	令和8年12月21日（月）	令和9年2月18日（木）	令和9年3月5日（金）	令和9年3月12日（金）
	臨床薬学プログラム、看護科学プログラム、先端薬科学プログラム	【第２次】 一般入試 外国人留学生特別入試					
理工学研究科	全プログラム	【第２次】 一般入試 社会人特別入試 社会人早期修了入試 外国人留学生特別入試			令和9年2月19日（金）		
医薬理工学環	創薬・製剤工学プログラム、応用和漢医薬学プログラム、認知・情動脳科学プログラム	【第２次】 一般入試 外国人留学生特別入試			令和9年2月18日（木）		
	メディカルデザインプログラム	【第２次】 一般入試 外国人留学生特別入試			令和9年2月19日（金）		

第２次の学生募集は、第１次の学生募集の定員充足状況により実施しない場合があります。

3　出願資格等

各出願資格において見込みで出願する者は、入学手続の時までに必要な条件が得られないことが確定した場合、入学を許可しません。

博士後期課程

＜一般入試＞

【総合医薬学研究科（看護科学プログラム、先端薬科学プログラム）】

【医薬理工学環（全プログラム）】

【理工学研究科（全プログラム）】

出願できる者は、次の各号のいずれかに該当するものとします。

(1) 修士の学位又は専門職学位（学校教育法第104条第１項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者及び入学を希望する月の前月末日までに授与される見込みの者

(2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学を希望する月の前月末日までに授与される見込みの者

(3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学を希望する月の前月末日までに授与される見込みの者

(4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学を希望する月の前月末日までに授与される見込みの者

(5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第１条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び入学を希望する月の前月末日までに取得見込みの者

(6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

(7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示 118 号）

ア　大学を卒業した後、大学、研究所等において、２年以上研究に従事した者で、当該研究科等において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

イ　外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、２年以上研究に従事した者で、当該研究科等において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

(8) 当該研究科等において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に 24 歳に達している者

（注1）出願資格(6)により出願する者は、あらかじめ出願する研究科・学環の問合せ先（102ページ）へ照会し、本学が指定する書類を出願書類等と併せて提出してください。

（注2）出願資格(7)及び(8)で出願しようとする者は、事前に出願資格審査を行うので、97ページ「７出願資格の事前審査」を参照し、所定の手続きを行ってください。

＜社会人特別入試＞

【理工学研究科（全プログラム）】

出願できる者は、各種の研究機関、教育機関、企業等に勤務している研究者又は技術者で、所属長から推薦を受け、一般入試の出願資格（1）～(8)のいずれかに該当する者とします。

（注1）出願資格(6)により出願する者は、あらかじめ本学理工系学務課（工学部入試担当）（102ページ）へ照会し、本学が指定する書類を出願書類等と併せて提出してください。

（注2）出願資格(7)及び(8)で出願しようとする者は、事前に出願資格審査を行うので、97ページ「7 出願資格の事前審査」を参照し、所定の手続きを行ってください。

＜社会人早期修了入試＞

【理工学研究科（数理情報学・データサイエンスプログラム）】

出願できる者は、各種の研究機関、教育機関、企業等に勤務している研究者又は技術者で、所属長から推薦を受け、一般入試の出願資格（1）～(8)のいずれかに該当する者とします。

また、査読付き学術論文（富山大学における学術論文の定義（富山大学役員会決定）※に該当するもの）が１篇以上（主たる著者であること。査読付き国際会議論文でも認められる場合がある。）又は登録特許（発明者として主たる貢献をしているもの）が１件以上ある者

※ https://www.u-toyama.ac.jp/collaboration/treatise-definition/

（注1）出願資格(6)により出願する者は、あらかじめ本学理工系学務課（工学部入試担当）（102ページ）へ照会し、本学が指定する書類を出願書類等と併せて提出してください。

（注2）出願資格(7)及び(8)で出願しようとする者は、事前に出願資格審査を行うので、97ページ「7 出願資格の事前審査」を参照し、所定の手続きを行ってください。

＜外国人留学生特別入試＞

【総合医薬学研究科（看護科学プログラム、先端薬科学プログラム）】

【医薬理工学環（全プログラム）】

【理工学研究科（全プログラム）】

出願できる者は、一般入試の出願資格（1）～(8)のいずれかに該当する者で、かつ、次のａ、ｂを満たすものとします。 また、総合医薬学研究科看護科学プログラム志願者は、ａ、ｂに加えて、cを満たすものとします。

ａ 日本国籍を有しない者

ｂ 「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を有する者又は入学後に在留資格を「留学」に変更できる見込みの者

ｃ 日本語で日常会話ができる者

（注1）出願資格(6)により出願する者は、あらかじめ出願する研究科・学環の問合せ先（102ページ）へ照会し、本学が指定する書類を出願書類等と併せて提出してください。

（注2）出願資格(7)及び(8)で出願しようとする者は、事前に出願資格審査を行うので、97ページ「7 出願資格の事前審査」を参照し、所定の手続きを行ってください。

博士課程

＜一般入試＞

【総合医薬学研究科（生命・臨床医学プログラム、臨床薬学プログラム）】

出願することのできる者は、次の各号のいずれかに該当するものとします。

(1) 大学（医学、歯学、修業年限６年の薬学又は獣医学を履修する課程に限る。）を卒業した者及び入学を希望する月の前月末日までに卒業見込みの者

(2) 学校教育法第104条第７項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修した者に限る。）及び入学を希望する月の前月末日までに授与される見込みの者

(3) 外国において、学校教育における18年の課程（医学、歯学、修業年限６年の薬学又は獣医学を履修する課程に限る。）を修了した者及び入学を希望する月の前月末日までに修了見込みの者

(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程（医学、歯学、修業年限６年の薬学又は獣医学を履修する課程に限る。）を修了した者及び入学を希望する月の前月末日までに修了見込みの者

(5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程(医学、歯学、修業年限６年の薬学又は獣医学を履修する課程に限る。）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び入学を希望する月の前月末日までに修了見込みの者

(6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が５年以上である課程(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程に限る。)を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び入学を希望する月の前月末日までに授与される見込みの者

(7) 文部科学大臣の指定した者（昭和30年文部省告示第39号）

① 旧大学令（大正７年勅令第388号）による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した者

② 防衛庁設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校を卒業した者

③ 次の各号の一に該当する者で、大学の医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

ア 修士課程（理・工学等）を修了した者及び修士の学位の授与（理・工学等）を受けることのできる者

イ 前期２年及び後期３年の課程の区分を設けない博士課程に２年以上在学し、30単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者〔学位規則の一部を改正する省令（昭和49年文部省令第29号）による改正前の学位規則（昭和28年文部省令第９号）第６条第１号に該当する者を含む。〕

ウ 大学（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を除く。）を卒業し、又は外国において学校教育法における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において２年以上研究に従事した者で、大学院又は専攻科において、当該研究の成果等により、当該研究科において認めたもの

(8) 学校教育法第102条第２項の規定により他の大学院博士課程（修業年限が４年のものに限る。）に入学した者であって、その後に入学させる本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると当該研究科において認めたもの

(9) 当該研究科等において、個別の入学資格審査により、大学（医学、歯学、修業年限６年の薬学又は獣医

学を履修する課程に限る。）を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に24歳に達しているもの

(10) 大学（医学、歯学、修業年限６年の薬学又は獣医学を履修する課程に限る。）に４年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）で、その在学期間中に所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者

（注）

・出願資格(1)に該当する者で医学部、歯学部又は薬学部を卒業した者は、医師、歯科医師又は薬剤師の免許を取得することが望ましい。

・出願資格(6)で出願しようとする者は、事前に本学杉谷地区事務部学務課（入試担当）に問い合わせてください。

・出願資格(7)の「文部科学大臣の指定した者」には、修士課程を修了した者等で大学院において認めた者等があります。詳細については本学杉谷地区事務部学務課（入試担当）（102ページ）に問い合わせてください。

・出願資格(10)の「文部科学大臣が定める者」には、外国における相当課程を修了した者等があります。詳細については本学杉谷地区事務部学務課（入試担当）に問い合わせてください。

・出願資格(7)～(10)で出願しようとする者は、事前に出願資格審査を行うので、97ページ「７　出願資格の事前審査」を参照し、所定の手続きを行ってください。

外国人留学生特別入試

【総合医薬学研究科（臨床薬学プログラム）】

出願できる者は、一般入試の出願資格（1）～(10)のいずれかに該当する者で、かつ、次のａ、ｂを満たすものとします。

ａ 日本国籍を有しない者

ｂ 「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を有する者又は入学後に在留資格を「留学」に変更できる見込みの者

（注）

・出願資格(1)に該当する者で医学部、歯学部又は薬学部を卒業した者は、医師、歯科医師又は薬剤師の免許を取得することが望ましい。

・出願資格(6)で出願しようとする者は、事前に本学杉谷地区事務部学務課（入試担当）に問い合わせてください。

・出願資格(7)の「文部科学大臣の指定した者」には、修士課程を修了した者等で大学院において認めた者等があります。詳細については本学杉谷地区事務部学務課（入試担当）（102ページ）に問い合わせてください。

・出願資格(10)の「文部科学大臣が定める者」には、外国における相当課程を修了した者等があります。詳細については本学杉谷地区事務部学務課（入試担当）（102ページ）に問い合わせてください。

・出願資格(7)～(10)で出願しようとする者は、事前に出願資格審査を行うので、97ページ「７　出願資格の事前審査」を参照し、所定の手続きを行ってください。

4　入学者選抜方法

（1）総合医薬学研究科（博士課程・博士後期課程）

入学試験関係日程

事項	一般入試・外国人留学生特別入試	
	令和８年10月入学 令和９年４月入学【第１次】	令和９年４月入学【第２次】
障害等のある入学志願者の事前相談	令和８年 ６月25日（木）16時必着	令和８年 11月27日（金）16時必着
出願資格審査照会期限（該当者のみ）	令和８年 ７月２日（木）16時必着	令和８年 12月４日（金）16時必着
出願資格審査結果通知（該当者のみ）	出願期間開始日の前日 までに本人宛に通知	出願期間開始日の前日 までに本人宛に通知
出願期間	令和８年７月10日（金） ～　７月17日（金）17時必着	令和８年12月14日（月） ～　12月21日（月）17時必着
受験票等発行日（予定） ※インターネット出願サイト上で印刷	令和８年８月５日（水）15時	令和９年２月５日（金）15時
試験日	令和８年８月21日（金）	令和９年２月18日（木）
合格者発表	令和８年９月１日（火）15時	令和９年３月5日（金）15時
入学手続締切日（予定）	＜令和８年10月入学＞ 令和８年９月11日（金）16時必着 ＜令和９年４月入学）＞ 令和９年１月20日（水）16時必着	令和９年３月12日（金）16時必着

※第２次の学生募集は、第１次の学生募集の定員充足状況により実施しない場合があります。
実施の有無については、令和８年11月頃に本学ウェブサイトで公表します。

（注）入学志願者は、出願前に志望する指導教員と教育・研究に関する方向性等について、必ず相談してください。志望する指導教員が未定の場合は出願できません。指導教員の連絡先は102ページに記載のウェブサイトで確認してください。

相談の主な目的は、以下のとおりです。
・入学後の研究分野の確認
・教育・研究等に関する方向性の確認
なお、相談の内容が入試の合否に直接影響することはありません。

募集人員

令和９年４月入学

	プログラム名	一般入試	外国人留学生特別入試
博士後期課程	看護科学プログラム	３人	若干名
	先端薬科学プログラム	６人	若干名
博士課程	生命・臨床医学プログラム	３０人	―
	臨床薬学プログラム	４人	若干名
計	４３人		

令和８年10月入学

	プログラム名	一般入試	外国人留学生特別入試
博士後期課程	看護科学プログラム	若干名	若干名
	先端薬科学プログラム	若干名	若干名
博士課程	生命・臨床医学プログラム	若干名	―
	臨床薬学プログラム	若干名	若干名

注 各プログラムの募集人員は、概ねの人数です。

入学者選抜方法

看護科学プログラム＜一般入試及び外国人留学生特別入試＞

入学者の選抜は、小論文・適性検査、外国語（英語）試験（71ページ「外部英語試験の利用について」を参照。）、口述試験及び成績証明書の成績等により、大学院修士課程修了相当の学力、意欲、能力等、看護研究遂行能力を評価します。入学を希望する月の前月に本学大学院総合医薬学研究科博士前期（修士）課程看護科学プログラムを修了見込みの者については、小論文・適性検査を課しません。

①小論文・適性検査

・志望動機、研究計画、看護科学研究に関する興味や関心、倫理観などについて問います。

②口述試験

・修士論文またはこれに相当する論文に関するプレゼンテーションの後、修士論文、専門分野における教育・実践活動の実績、研究能力等に関し個別面接を行います。

先端薬科学プログラム＜一般入試及び外国人留学生特別入試＞

入学者の選抜は、小論文・適性検査、外国語（英語）試験（71ページ「外部英語試験の利用について」を参照。）、口述試験及び成績証明書の成績により、大学院修士課程修了相当の学力、意欲、能力等について評価します。

入学を希望する月の前月に本学大学院総合医薬学研究科博士前期課程先端薬科学プログラムを修了見込みの者については、外国語（英語）及び小論文・適性検査を課しません。

①外国語（英語）

・外部英語試験を利用する場合、外国語(英語)の筆記試験は課しません。

②小論文・適性検査

・適性検査として薬科学研究に関する知識を問います。

③口述試験

・修士論文及びこれに関連する研究論文又は業務経験について行います。

生命・臨床医学プログラム＜一般入試＞

入学者の選抜は、外国語（英語）試験（71ページ「外部英語試験の利用について」を参照。）、口述試験及び成績証明書の成績により、６年制医学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価します。

①口述試験

・志望する専攻・教育分野について行います。

臨床薬学プログラム＜一般入試及び外国人留学生特別入試＞

入学者の選抜は、小論文・適性検査、外国語（英語）試験（71ページ「外部英語試験の利用について」を参照。）、口述試験及び成績証明書の成績により、６年制薬学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価します。

①外国語（英語）

外部英語試験を利用する場合、外国語(英語)の筆記試験は課しません。

②小論文・適性検査

・適性検査として薬学研究に関する知識を問います。

③口述試験

・卒業論文及びこれに関連する研究論文その他を問います。

試験日程及び試験場

【令和９年４月入学（第１次）・令和８年10月入学】試験日：令和８年８月21日(金)

【令和９年４月入学（第２次）】試験日：令和９年２月18日(木)

試験科目等	看護科学プログラム	生命・臨床医学プログラム	先端薬科学プログラム 臨床薬学プログラム
	一般入試・外国人留学生特別入試	一般入試	一般入試・外国人留学生特別入試
外国語(英語)	―	―	９：30 ～ 10：30
小論文・適性検査	11：00 ～12：00	―	11：00 ～12：00
口述試験	13：30 ～※	13：00 ～※	13：30 ～※
試験場	富山大学　杉谷（医薬系）キャンパス		

※口述試験の開始時間については、志願者数によって変更することがあります。変更する場合は、受験票を発行する際にお知らせします。

※試験当日は、印刷した受験票を持参してください。また、事前に受験上の注意事項を必ず確認してください。（99ページ参照）

外部英語試験の利用について

博士後期課程看護科学プログラム及び博士課程生命・臨床医学プログラムにおいては外国語（英語）の筆記試験を行わず、提出された外部英語試験のスコアを100 点満点に換算した点数を成績とします。

また、博士後期課程先端薬科学プログラム及び博士課程臨床薬学プログラムにおいては、外部英語試験のスコアを提出した者には外国語（英語）の筆記試験を行わず、提出されたスコアを100点満点に換算した点数を成績とし、外部英語試験のスコアを提出できない者には外国語（英語）の筆記試験を実施します。

複数の試験を受験している場合は、換算点の高いものを提出してください。

外部英語試験の種類は、TOEFL-iBT、TOEFL-ITP、TOEIC L&R、TOEIC L&R-IPテスト及びIELTSとします。

なお、利用するスコアは受験する入学試験日から過去４年以内に受験したものに限ります。

※看護科学プログラム及び生命・臨床医学プログラムについては、受験日の制限はありません。

※入学を希望する月の前月に本学大学院総合医薬学研究科博士前期（修士）課程を修了見込みの者は提出不要です。

スコアの換算方法
・TOEFL-iBT
70以上＝100点
70未満の場合
換算点＝100×（TOEFL-iBTのスコア）／70
・TOEFL-ITP
525以上＝100点
525未満の場合
換算点＝100×｛（TOEFL-ITPのスコア）－310｝／215
310以下＝0点
・TOEIC L&R、TOEIC L&R-IPテスト
730以上＝100点
730未満の場合
換算点＝100×（TOEICのスコア）／730
・IELTS
6.0以上＝100点
6.0未満の場合
換算点＝100×｛（IELTSのスコア）－1｝／5

合否判定基準

看護科学プログラム＜一般入試及び外国人留学生特別入試＞

小論文・適性検査100点、外国語（英語）試験100点、口述試験等100点とし、合計300点満点で６割以上を合格ラインの目途とします。

なお、外国語（英語）試験の得点が50点未満又は口述試験の得点が60点未満の場合は、不合格とします。

先端薬科学プログラム＜一般入試及び外国人留学生特別入試＞

小論文・適性検査100点、外国語（英語）試験100点、口述試験等100点とし、合計300点満点中150点以上を合格とします。

なお、いずれの入試区分においても外国語（英語）試験の得点が50点未満の場合は、不合格とします。

生命・臨床医学プログラム＜一般入試＞

外国語（英語）試験と口述試験等の評価に基づき判定します。

なお、外国語（英語）試験100点満点のうち、得点が60点未満の場合は、不合格とします。

臨床薬学プログラム＜一般入試及び外国人留学生特別入試＞

小論文・適性検査100点、外国語（英語）試験100点、口述試験等100点とし、合計300点満点中150点以上を合格とします。

なお、外国語（英語）試験の得点が50点未満の場合は、不合格とします。

入試情報開示

出題意図及び筆記試験にかかる試験問題、解答又は解答例等は、令和９年５月に、総合医薬学研究科ウェブサイトに公表します。

なお、入学試験の成績開示は行いません。

合格者発表

合格者の受験番号を富山大学ウェブサイトに掲載するとともに、本人に合格通知書を郵送します。

なお、電話、E-mail等による合否の問合せには、一切応じません。発表日時は69ページを参照してください。

（2）理工学研究科（博士後期課程）

入学試験関係日程

事項	一般入試・社会人特別入試・ 社会人早期修了入試・外国人留学生特別入試	
	令和８年10月入学 令和９年４月入学 【第１次】	令和９年４月入学 【第２次】
障害等のある入学志願者の事前相談	令和８年 ６月25日（木）16時必着	令和８年 11月27日（金）16時必着
出願資格審査照会期限（該当者のみ）	令和８年 ７月２日（木）16時必着	令和８年 12月４日（金）16時必着
出願資格審査結果通知（該当者のみ）	出願期間開始日の前日 までに本人宛に通知	出願期間開始日の前日 までに本人宛に通知
出願期間	令和８年７月10日（金） ～７月17日（金）17時必着	令和８年12月14日（月） ～12月21日（月）17時必着
受験票等発行日（予定） ※インターネット出願サイト上で印刷	令和８年８月５日（水）15時	令和９年２月５日（金）15時
試験日	令和８年８月20日（木）	令和９年２月19日（金）
合格者発表	令和８年９月１日（火）15時	令和９年３月５日（金）15時
入学手続締切日（予定）	＜令和８年10月入学＞ 令和８年９月11日（金）16時必着 ＜令和９年４月入学）＞ 令和９年１月20日（水）16時必着	令和９年３月12日（金）16時必着

※第２次募集は、第１次募集の定員充足状況により実施しない場合があります。実施の有無については、令和８年10月頃本学ウェブサイト上で公表します。

富山大学大学院理工学研究科ウェブサイト　https://www.gsse.u-toyama.ac.jp

（注）入学志願者は、出願前に志望する指導教員と教育・研究に関する方向性等について、必ず相談してください。志望する指導教員が未定の場合は出願できません。指導教員の連絡先は102ページに記載のウェブサイトで確認してください。

相談の主な目的は、以下のとおりです。

・入学後の研究分野の確認

・教育・研究等に関する方向性の確認

なお、相談の内容が入試の合否に直接影響することはありません。

募集人員

令和９年４月入学

プログラム名	一般入試	社会人特別入試	社会人早期修了入試	外国人留学生特別入試
数理情報学・データサイエンスプログラム	111 人	若干名	２人	若干名
生命・物質・エネルギー科学プログラム	５人	若干名	―	若干名
サステイナブル地球環境学プログラム	５人	若干名	―	若干名
先進工学プログラム	３人	若干名	―	若干名
合　計	26 人			

令和８年10月入学

プログラム名	一般入試	社会人特別入試	社会人早期修了入試	外国人留学生特別入試
数理情報学・データサイエンスプログラム	若干名	若干名	若干名	若干名
生命・物質・エネルギー科学プログラム	若干名	若干名	―	若干名
サステイナブル地球環境学プログラム	若干名	若干名	―	若干名
先進工学プログラム	若干名	若干名	―	若干名

入学者選抜方法

＜一般入試＞

入学者の選抜は、口述試験、面接及び書類審査の結果を総合して行います。口述試験は、志望する教育分野に関連する科目、修士論文及び入学後の研究計画等について行います。

＜社会人特別入試＞

入学者の選抜は、口述試験、面接及び書類審査の結果を総合して行います。口述試験は、志望する教育分野に関連する科目、学術論文、業績報告書、特許等の研究業績及び入学後の研究計画等について行います。

＜社会人早期修了入試＞

入学者の選抜は、口述試験、面接及び書類審査の結果を総合して行います。口述試験は、志望する教育分野に関連する科目、学術論文、業績報告書、特許等の研究業績及び入学後の博士学位論文作成計画書について行います。

＜外国人留学生特別入試＞

入学者の選抜は、口述試験、面接及び書類審査の結果を総合して行います。口述試験は、志望する教育分野に関連する科目、修士論文及び入学後の研究計画等について行います。

試験日程及び試験場

【一般入試・社会人特別入試・外国人留学生特別入試】

＜令和９年４月入学（第１次）・令和８年10月入学＞　試験日：令和 ８年８月20日（木）

＜令和９年４月入学（第２次）＞　試験日：令和９年２月19日（金）

試験科目等	全プログラム
受験者集合	13：00
口述試験・面接	13：30 ～
試験場	富山大学五福キャンパス

※第２次募集は、第１次募集の定員充足状況により実施しない場合があります。実施の有無については、令和 8 年 10 月頃本学ウェブサイト上で公表します。

※試験場の詳細については受験票を発行する際にお知らせします。なお、海外在住の方に限り、やむを得ない事情により来学が難しい場合は、オンラインでの受験が可能です。

※試験当日は、印刷した受験票を持参してください。また、事前に受験上の注意事項を必ず確認してください。（99ページ参照）

合否判定基準

一般入試・社会人特別入試・社会人早期修了入試・外国人留学生特別入試

口述試験、面接及び出願書類について評語（A・B・C）により評価し、判定します。

入試情報開示

口述試験及び面接の出題意図を令和９年５月頃に、理工学研究科ウェブサイトにより公表します。なお、入学試験の成績開示は行いません。

合格者発表

合格者の受験番号を富山大学ウェブサイトに掲載するとともに、本人に合格通知書を郵送します。

なお、電話、E-mail等による合否の問合せには、一切応じません。発表日時は73ページを参照してください。

（3）医薬理工学環（博士後期課程）

入学試験関係日程

<table>
<tr><td rowspan="2">事項</td><td colspan="2">一般入試・外国人留学生特別入試</td></tr>
<tr><td>令和８年10月入学
令和９年４月入学【第１次】</td><td>令和９年４月入学【第２次】</td></tr>
<tr><td>障害等のある入学志願者の事前相談</td><td>令和８年
６月25日（木）16時必着</td><td>令和８年
11月27日（金）16時必着</td></tr>
<tr><td>出願資格審査照会期限
（該当者のみ）</td><td>令和８年
７月２日（木）16時必着</td><td>令和８年
12月４日（金）16時必着</td></tr>
<tr><td>出願資格審査結果通知
（該当者のみ）</td><td>出願期間開始日の前日
までに本人宛に通知</td><td>出願期間開始日の前日
までに本人宛に通知</td></tr>
<tr><td>出願期間</td><td>令和８年７月10日（金）
～　７月17日（金）17時必着</td><td>令和８年12月14日（月）
～　12月21日（月）17時必着</td></tr>
<tr><td>受験票等発行日
（予定）
※インターネット出願サイト上で印刷</td><td>令和８年８月５日（水）15時</td><td>令和９年２月５日（金）15時</td></tr>
<tr><td rowspan="4">試験日</td><td colspan="2">創薬・製剤工学プログラム、応用和漢医薬学プログラム、
認知・情動脳科学プログラム</td></tr>
<tr><td>令和８年８月21日（金）</td><td>令和９年２月18日（木）</td></tr>
<tr><td colspan="2">メディカルデザインプログラム</td></tr>
<tr><td>令和８年８月20日（木）</td><td>令和９年２月19日（金）</td></tr>
<tr><td>合格者発表</td><td>令和８年９月１日（火）15時</td><td>令和９年３月５日（金）15時</td></tr>
<tr><td>入学手続締切日
（予定）</td><td>＜令和８年10月入学＞
令和８年９月11日（金）16時必着
＜令和９年４月入学）＞
令和９年１月20日（水）16時必着</td><td>令和９年３月12日（金）16時必着</td></tr>
</table>

※第２次の学生募集は、第１次の学生募集の定員充足状況により実施しない場合があります。
実施の有無については、令和８年11月頃に本学ウェブサイトで公表します。

（注）入学志願者は、出願前に志望する指導教員と教育・研究に関する方向性等について、必ず相談してください。志望する指導教員が未定の場合は出願できません。指導教員の連絡先は102ページに記載のウェブサイトで確認してください。

相談の主な目的は、以下のとおりです。

・入学後の研究分野の確認

・教育・研究等に関する方向性の確認

なお、相談の内容が入試の合否に直接影響することはありません。

募集人員

令和９年４月入学

プログラム名	一般入試	外国人留学生特別入試
創薬・製剤工学プログラム	３人	若干名
応用和漢医薬学プログラム	３人	若干名
認知・情動脳科学プログラム	４人	若干名
メディカルデザインプログラム	２人	若干名
計	１２人	

令和８年10月入学

プログラム名	一般入試	外国人留学生特別入試
創薬・製剤工学プログラム	若干名	若干名
応用和漢医薬学プログラム	若干名	若干名
認知・情動脳科学プログラム	若干名	若干名
メディカルデザインプログラム	若干名	若干名

入学者選抜方法

創薬・製剤工学プログラム及び応用和漢医薬学プログラム

＜一般入試及び外国人留学生特別入試＞

入学者の選抜は、外国語(英語)試験（78ページ「外部英語試験の利用について」を参照）、口述試験及び成績証明書の成績により、大学院博士前期(修士)課程修了相当の学力、意欲、能力等について評価します。

入学を希望する月の前月に本学大学院医薬理工学環博士前期（修士）課程、大学院総合医薬学研究科博士前期（修士）課程又は大学院理工学研究科博士前期（修士）課程を修了見込みの者については、外国語(英語)試験を課しません。

①口述試験

・修士論文及びこれに関連する研究論文又は業務経験について行います。

認知・情動脳科学プログラム ＜一般入試及び外国人留学生特別入試＞

入学者の選抜は、外国語(英語)試験（78ページ「外部英語試験の利用について」を参照）、口述試験及び成績証明書の成績により、大学院博士前期(修士)課程修了相当の学力、意欲、能力等について評価します。

入学を希望する月の前月に本学大学院医薬理工学環博士前期（修士）課程、大学院総合医薬学研究科博士前期（修士）課程、大学院理工学研究科博士前期（修士）課程又は大学院人文社会芸術総合研究科人文社会芸術総合専攻心理学プログラムを修了見込みの者については、外国語(英語)試験を課しません。

①口述試験

・修士論文及びこれに関連する研究論文又は業務経験について行います。

メディカルデザインプログラム ＜一般入試及び外国人留学生特別入試＞

入学者の選抜は、外国語(英語)試験（78ページ「外部英語試験の利用について」を参照。）、口

述試験及び成績証明書の成績により、大学院博士前期(修士)課程修了相当の学力、意欲、能力等について評価します。

入学を希望する月の前月に本学大学院医薬理工学環博士前期（修士）課程、大学院総合医薬学研究科博士前期（修士）課程又は大学院理工学研究科博士前期（修士）課程を修了見込みの者については、外国語(英語)試験を課しません。

①口述試験

・修士論文及びこれに関連する研究論文又は業務経験について行います。

試験日程及び試験場

創薬・製剤工学プログラム、応用和漢医薬学プログラム、認知・情動脳科学プログラム

【令和９年４月入学（第１次）・令和８年10月入学】試験日：令和８年８月21日(金)

【令和９年４月入学（第２次）】試験日：令和９年２月18日(木)

試験科目等	一般入試・外国人留学生特別入試
	創薬・製剤工学プログラム 応用和漢医薬学プログラム 認知・情動脳科学プログラム
13：30～	口述試験※
試験場	富山大学 杉谷（医薬系）キャンパス

※口述試験の開始時間については、志願者数によって変更することがあります。変更する場合は、受験票を発行する際にお知らせします。

※試験当日は、印刷した受験票を持参してください。また、事前に受験上の注意事項を必ず確認してください。（99ページ参照）

メディカルデザインプログラム

【令和９年４月入学（第１次）・令和８年10月入学】試験日：令和８年８月20日(木)

【令和９年４月入学（第２次）】試験日：令和９年２月19日(金)

試験科目等	一般入試・外国人留学生特別入試
	メディカルデザインプログラム
13：30～	口述試験※
試験場	富山大学五福キャンパス

※口述試験の開始時間については、志願者数によって変更することがあります。変更する場合は、受験票を発行する際にお知らせします。

※試験当日は、印刷した受験票を持参してください。また、事前に受験上の注意事項を必ず確認してください。（99ページ参照）

外部英語試験の利用について

医薬理工学環においては外国語（英語）の筆記試験を行わず、提出された外部英語試験のスコアを100 点満点に換算した点数を成績とします。

複数の試験を受験している場合は、換算点の高いものを提出してください。

外部英語試験の種類は、TOEFL-iBT、TOEFL-ITP、TOEIC L&R、TOEIC L&R-IPテスト及びIELTSとします。

なお、利用するスコアは受験する入学試験日から過去４年以内に受験したものに限ります。

※入学を希望する月の前月に本学大学院医薬理工学環博士前期（修士）課程、大学院総合医薬学研究

科博士前期（修士）課程、大学院理工学研究科博士前期（修士）課程又は大学院人文社会芸術総合研究科人文社会芸術総合専攻心理学プログラム（ただし、認知・情動脳科学プログラム出願の場合に限る。）を修了見込みの者は提出不要です。

スコアの換算方法

・TOEFL-iBT

70以上＝100点

70未満の場合 換算点＝100×（TOEFL-iBTのスコア）／ 70

・TOEFL-ITP

525以上＝100点

525未満の場合 換算点＝100×｛（TOEFL-ITPのスコア）－ 310｝／ 215

310以下＝0点

・TOEIC L&R、TOEIC L&R-IPテスト

730以上＝100点

730未満の場合 換算点＝100×（TOEICのスコア）／ 730

・IELTS

6.0以上＝100点

6.0未満の場合 換算点＝100×｛（IELTSのスコア）-1｝／ 5

合否判定基準

全プログラム

①一般入試、外国人留学生特別入試

外国語（英語）試験100点、口述試験等100点とし、合計200点満点中120点以上を合格とします。なお、いずれの入試区分においても外国語（英語）試験の得点が50点未満の場合又は口述試験の得点が60点未満の場合は、不合格とします。

入試情報開示

出題意図及び筆記試験にかかる試験問題、解答又は解答例等は、令和９年５月に、医薬理工学環ウェブサイトに公表します。

なお、入学試験の成績開示は行いません。

合格者発表

合格者の受験番号を富山大学ウェブサイトに掲載するとともに、本人に合格通知書を郵送します。

なお、電話、E-mail等による合否の問合せには、一切応じません。発表日時は76ページを参照してください。

共通事項

1　出願期間

出願期間は、入学者選抜日程の概要（26～27ページ、64ページ）又は以下のページを確認してください。

修士課程・博士前期課程

人文社会芸術総合研究科（修士課程）　33 ページ
総合医薬学研究科（修士課程・博士前期課程）　39 ページ
理工学研究科（博士前期課程）　45 ページ
持続可能社会創成学環（修士課程）　52 ページ
医薬理工学環（博士前期課程）　57 ページ

博士課程・博士後期課程

総合医薬学研究科（博士課程・博士後期課程）　69 ページ
理工学研究科（博士後期課程）　73 ページ
医薬理工学環（博士後期課程）　76 ページ

インターネット出願の登録と検定料の納入は、それぞれの出願期間初日の９時から可能です。

出願に必要な書類は出願締切日17時必着とします。出願期間内に必着するように**書留速達郵便（国外から郵送する場合はEMS等追跡可能な手段）で送付**してください。出願期間後に到着したものは受理しません。郵便事情を考慮して余裕をもって郵送してください。ただし、日本国内から郵送する書留速達郵便に限り、出願締切日の前日以前の消印（日本国内の郵便の消印に限る。）のある**書留速達郵便**に限り、出願期間以降に到着した場合でも受理します。

なお、持参する場合は、出願期間中の平日の９時から17時までの間、受け付けます。**人文社会芸術総合研究科及び理工学研究科においては、持参による出願は認めません**ので注意してください。

また、書留速達郵便で送付した書類について、本学への到着（配達）の有無の問い合わせには応じません。日本郵便ウェブサイトの「郵便追跡サービス」により、志願者本人が確認してください。

2　出願の流れ

出願はインターネット出願のみとします。出願手続は、インターネット出願サイトでの出願登録及び検定料の支払いを行った後、出願期間内に必要な書類等を提出することにより完了します。次ページの「インターネット出願の流れ」をよく読み、手続きを行ってください。

インターネット出願の流れ

STEP 1 マイページの登録
STEP 2 出願内容の登録
STEP 3 検定料のお支払い
STEP 4 必要書類の印刷
STEP 5 出願書類の郵送
STEP 6 受験票の印刷

事前準備 → 出願サイトにアクセス → マイページの登録 → 出願内容の登録 → 検定料のお支払い → 必要書類の印刷 → 出願書類の郵送 → 出願完了 → 受験票の印刷

事前準備

86ページを参照してください。

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
スマートフォン、タブレットをご利用の場合各OSの標準ブラウザが推奨環境となります。
（iOS 12 以上、Android OS 8 以上、iPadOS 13 以上）
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。
※必要書類…各種証明書、写真など



インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト ▶ https://e-apply.jp/ds/toyama-gs/
または、
大学ウェブサイト ▶ https://www.u-toyama.ac.jp/
からアクセス



出願はインターネット出願サイトでの登録完了後（STEP2）、検定料を支払い（STEP3）、必要書類を印刷・郵送（STEP4、STEP5）して完了となります。登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。
インターネット出願は24時間可能です。ただし、出願書類は出願期間最終日17時必着です。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP 1

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP2に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



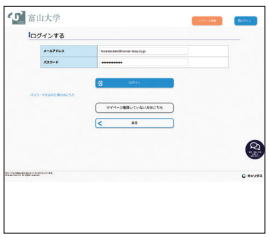
②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 > を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ を
クリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、出願手続きを行う ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので ログアウト ボタンをクリックしてください。

STEP 2

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②入試選択と留意事項の確認



③志望学部等の選択



④顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤個人情報（氏名・住所等）の
入力



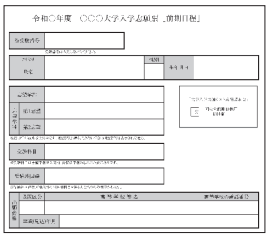
⑥出願内容の確認
志願票（サンプル） ボタンを
クリックすると志願票が確認できます。



⑦申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF
（イメージ）
※検定料納入後に出力可能となります。

出願受付番号 メモ（12桁）												

検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号 メモ（13桁）													

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済 番号メモ（11桁）										

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号 メモ（11桁）											
確認番号 メモ（6桁）											
収納機関番号 （5桁）	5	8	0	2	1						

※収納機関番号は、ペイジーでお支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元（@e-apply.jp）からのメール受信を許可してください。　※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、修正が可能です。
※「検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP 3

検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】
VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード

VISA JCB AMERICAN EXPRESS MUFG CARD DC UFJ Card NICOS

出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願登録内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

ウェブで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願登録内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

セブン-イレブン
デイリーヤマザキ
Seicomart

●店頭端末を利用して支払い可能

Loppi
LAWSON
MINISTOP
マルチコピー機
あなたと、コンビに、FamilyMart

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願登録内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

Pay-easy ペイジー

※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

セブン-イレブン

店頭レジ
レジで「インターネット代金支払い」と伝える
「払込票番号（13桁）」を伝える
レジで検定料を現金で支払う
領収書（レシート形式）を必ず受け取る

デイリーヤマザキ ヤマザキデイリーストアー

店頭レジ
レジで「オンライン決済」と伝える
「オンライン決済番号（11桁）」を伝える

ローソン ミニストップ

Loppi
「各種番号をお持ちの方」を選択
「お客様番号（11桁）」入力
「マルチペイメントサービス」を選択
「確認番号（6桁）」入力
支払い内容確認
発券された申込券（受付票）をレジへ持参し、検定料を現金で支払う
申込券（受付票）発行後は30分以内にレジにて支払ってください。
払込受領証または受領書（レシート形式）を必ず受け取る

ファミリーマート

マルチコピー機
「代金支払い/チャージ（コンビニでお支払い Payment/Charge）」を選択
「お客様番号（11桁）」入力
「確認番号（6桁）」入力
支払い内容確認

セイコーマート

店頭レジ
レジで「インターネット代金支払い」と伝える
「オンライン決済番号（11桁）」を伝える
レジで検定料を現金で支払う

4 銀行ATM

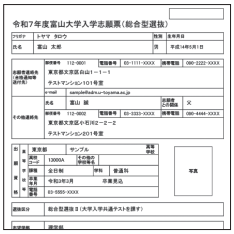
Pay-easy 利用ATM

ペイジー対応銀行ATM
「税金・料金払い込み」などを選択
収納機関番号「58021」を入力
「お客様番号（11桁）」入力
「確認番号（6桁）」入力
支払い内容確認
「現金」「キャッシュカード」を選択し支払う
ご利用明細書を必ず受け取る

STEP 4

必要書類の印刷

「出願内容の確認／志願票の印刷」ボタンからログインし、
志願票等必要書類を**A4用紙にカラー印刷**
してください。



志願票PDF(イメージ)



STEP 5

出願書類の郵送

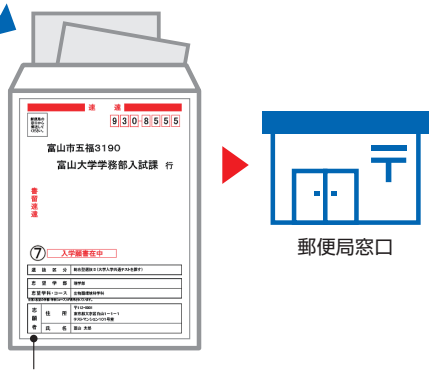
登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願に必要な書類を出願期間内に郵便局窓口から「書留速達郵便」で郵送してください。

■出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。

出願に必要な書類は、本学生募集要項の 88～97 ページを参照して準備してください。



宛名シート

郵便局窓口

出願書類の郵送先は宛名シートに自動で印字されます。

宛名シートを市販の角形2号封筒(240㎜×332㎜)に貼り付けてください。

※一旦受理した検定料・出願書類は、募集要項で明記している理由によるものを除き一切返却しません。

〈出願完了〉

※受理についての電話等による問い合わせには一切応じません。

STEP 6

受験票の印刷

99ページを参照してください。

受験票等発行日以降に、インターネット出願サイトから受験票が印刷できるようになります。「受験票の印刷」ボタンからログインし、印刷してください。
受験票は必ずA4用紙にカラー印刷して、試験当日に持参してください。



3　事前準備

書類等	摘　　要
パソコンの利用環境	PC利用時推奨ブラウザ ・Microsoft Edge 最新版 ・Google Chrome 最新版 ・Mozilla Firefox 最新版 ・Apple Safari 最新版 ※　ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行いますと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合がございます。複数タブでの同時申込操作はお控えください。 前画面へ戻る場合はブラウザの「戻る」ボタンは利用せず、画面内に表示されている「戻る」ボタンをご利用ください。 スマートフォン、タブレット利用時推奨ブラウザ・OS ・iOS 12 以上 ・Android OS 8 以上 ・iPadOS 13 以上 ※　各OSの標準ブラウザが推奨環境となります。 ※　お使いのブラウザで表示が崩れることがございましたら、他のブラウザにてご確認下さい。 ※　AndroidのスマートフォンからのChromeの操作でPC版からはPDFの表示ができない場合がありますので、モバイル版をご利用ください。
ＰＤＦ表示・印刷ソフトウェア	入学志願票(PDF)の表示・印刷にはアドビシステムズ社が配布しているAdobe Acrobat Reader （無償）が必要です。
メールアドレス	出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。 なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。 @e-apply.jp スマートフォン・携帯電話の通信会社から発行されるメールアドレスを登録される方は、各通信会社の迷惑メールフィルターの解除方法に従って、@e-apply.jpからのメールが届くように設定してください。
本人写真	出願にあたって顔写真データ（ファイル形式（jpeg、jpg、png、bmp)、最大10 MBまで）を用意してください。 写真の大きさは縦４：横３の比率を推奨します。 写真は本人確認に使用します。 出願前３ヶ月以内に撮影した正面、上半身、無帽、背景なしの写真データ（カラー）を用意してください。 【使用できない写真の例】 不鮮明（ぼやけている、影がある)、無背景でない（背景に風景が写っている、背景に模様がある)、化粧や前髪が目にかかるなど本人確認が困難、写真に加工を施している、現像された写真を再撮影しているなど
プリンター	入学志願票及び受験票（PDF）を出力するため、Ａ４普通紙に印刷することができるカラープリンターが必要です。 印刷用紙(普通紙・PPC用紙・OA共通用紙・コピー用紙等)とともに用意してください。
角２封筒	入学志願票等の出願書類を郵送するため、市販の角形２号封筒（240 mm×332 mm）を用意してください。入学志願票を印刷した際に出力される「宛名シート」を封筒に貼り付けて使用してください。

4　検定料

30,000円

検定料の支払いは、83ページのSTEP 2 の出願内容の登録完了後に行います。本学の「インターネット出願サイト（https://e-apply.jp/ds/toyama-gs/）」から出願し、志願者登録完了後、検定料決済を行ってください。検定料の支払方法は、84ページのSTEP 3 の検定料の支払いにより確認してください。検定料支払い後に、入学志願票を印刷することが可能になります。

なお、検定料の支払いには、別途手数料が必要です。手数料は支払人負担となります。

ただし、次の場合に該当する者は、検定料の支払いは必要ありません。

- **本学の各研究科・学環の修士課程又は博士前期課程に在学中の者で、引き続き本学の博士後期課程又は博士課程に進学しようとする場合**
- **国費外国人留学生**

※インターネット出願サイトに登録する際に、必ず「検定料免除」をチェックしてください。
　パスワードは102ページに記載の問い合わせ先へ問い合わせてください。

また、災害による被災者に対して検定料免除の制度があります。詳細は本学のウェブサイトを参照してください。

一旦、受理した検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

① 検定料の返還請求ができる場合及び返還額

ア　検定料を払い込んだが富山大学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合〔返還額〕30,000円

イ　検定料を二重に払い込んだ場合〔返還額〕30,000円

ウ　検定料を多く払い込んだ場合〔返還額〕多く払い込んだ額

ただし、返還時の振込手数料は、受取人負担とします。

② 返還請求の方法

110ページの「検定料返還請求書」に必要事項を記入し、本学へ郵送してください。

送付先：〒930－8555 富山市五福3190 富山大学財務施設部経理第一課　電話 076（445）6053

5　出願書類等

志願者は、必要書類を「宛名シート」を貼付した封筒に入れ提出してください。郵送の場合は書留速達郵便（国外から郵送する場合は、EMS等追跡可能な手段）としてください。必要書類の送付は、84ページのSTEP３の検定料の支払いが完了した後に行います。

（1）修士課程・博士前期課程

①　全員が提出する書類

「①全員が提出する書類」のほか、「②志願者別の提出書類」に研究科・学環ごとに必要な書類を記載しています。必ず確認してください。

書類等		摘　　要
1	入学志願票	インターネット出願サイトから**Ａ４サイズでカラー印刷**してください。検定料の支払い後に、印刷が可能となります。印字されている内容に誤りがないか必ず確認してください。見本105ページ
2	宛名シート	インターネット出願サイトから**Ａ４サイズでカラー印刷**してください。 市販の角形２号封筒（240mm × 332mm）に剥がれないように貼付してください。印字されている内容に誤りがないか必ず確認してください。 見本106ページ
3	安全保障管理に関する誓約書及び外国為替及び外国貿易法第２５条第１項及び第２項の遵守のための特定類型該当性に関する誓約書	インターネット出願サイトから**Ａ４サイズで印刷**してください。 本要項の「12安全保障輸出管理について」（101ページ）及び誓約書の内容を確認し、出願者本人が自署の上、必ず提出してください。
4	卒業(見込)証明書又は学位授与証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの。 本学学部卒業見込出身者は提出する必要はありません。 外国人留学生でやむを得ず提出できない場合は必ず卒業証書本紙を事前に受付窓口に呈示し、卒業証書の写しを提出してください。 **【出願資格（２）に該当する者のみ提出】** 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行するもの、もしくは短期大学長または高等専門学校長が発行する学位授与申請（予定）証明書。
5	成績証明書	出身大学（学部）長が作成し厳封したもの。 ただし、偽造・複写防止用紙使用の場合は厳封不要です。
6	住民票の写し等 （外国人のみ）	**【日本国内に居住している外国籍を有する者のみ提出】** 現に日本国に在住している外国人は、居住している市町村長又は特別区長の交付する住民票の写し又は在留カードの写し(両面)（在留資格が明示されているもの）を添付してください。

※入学検定料（30,000円）は、「共通事項　２．出願の流れ」（81ページ）に従って、インターネット出願サイトから支払手続を行ってください。

入学検定料の支払方法は、日本国内の場合は、コンビニエンスストア、クレジットカード、ネットバンキング、ペイジー対応郵便局・銀行ATMのいずれかとなります。日本国外の場合は、クレジットカードでお支払いください。入学検定料のほか、支払いにかかる手数料が別途必要です。

上記の書類のほか、研究科・学環ごとに必要な書類があります。
次ページ以降「②志願者別の提出書類」を必ず確認してください。

②志願者別の提出書類（該当者のみ準備する書類）

出願する研究科等の項目を確認してください。

志願者本人が作成する書類（志願理由書等）においては、ChatGPT 等の生成ＡＩを利用することは禁止します。

本学所定の様式は、各研究科・学環のウェブサイトに掲載しています。ダウンロードし、Ａ４サイズに印刷して提出してください。

【人文社会芸術総合研究科（修士課程）】

心理学プログラム

出願書類等		摘　　要
1	志願理由書及び研究計画書	本学所定の様式による。外国語で記載されたものは、日本語訳を添付してください。
2	履歴書	**【外国籍を有する者のみ】** 本学所定の様式による。外国語で記載されたものは、日本語訳を添付してください。
3	ＴＯＥＩＣのスコアシート（写し）	**【一般入試、社会人特別入試志願者のみ】** 下記の①もしくは②のスコアシート（A4サイズ）の写しを提出してください。 ①TOEIC Listening & ReadingのOfficial Score Certificate（公式認定証） ②TOEIC-IP のスコアレポート（個人成績表） ただし、マークシート方式で受験した場合の成績のみ有効とします。オンラインで受験した TOEIC-IPテストの成績は、出願書類として使用できません。 なお、スコアシートは、出願期間最終日から遡って２年以内に受験したものに限ります。 試験当日に原本確認を行うため、必ず持参してください。 また、以下の提出方法も認めます。この場合、試験当日に原本を持参する必要はありません。 ・TOEIC L&Rのデジタル公式認定証：PDF 版を印刷して提出してください。 原本を持参しなかった場合、選抜の対象とならないことがあります。
4	日本語能力試験N1の成績通知書	**【外国人留学生志願者のみ】** 公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験（JLPT）**N1**の成績通知書（写しでも可）を提出してください。

本学所定の様式は研究科のウェブサイトに掲載しています。ダウンロードし、Ａ４サイズに印刷して提出してください。

人文・芸術プログラム（人文科学系）

出願書類等		摘　　要
1	志願理由書及び研究計画書	本学所定の様式による。外国語で記載されたものは、日本語訳を添付してください。
2	履歴書	**【外国籍を有する者のみ】** 本学所定の様式による。外国語で記載されたものは、日本語訳を添付してください。
3	日本語能力試験N1の成績通知書	**【外国人留学生特別入試志願者のみ】** 公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験（JLPT）**N1**の成績通知書（写しでも可）を提出してください。

本学所定の様式は研究科のウェブサイトに掲載しています。ダウンロードし、Ａ４サイズに印刷して提出してください。

人文・芸術プログラム（芸術文化学系）

出願書類等		摘　　要
1	研究計画・志願理由書	本学所定の様式による。外国語で記載されたものは、日本語訳を添付してください。
2	履歴書	**【外国籍を有する者のみ】** 本学所定の様式による。外国語で記載されたものは、日本語訳を添付してください。
3	論文又はポートフォリオ **注**	論文（卒業論文やその草稿、著作など）又はポートフォリオ（作品・研究などをまとめたファイル）を１部提出してください。なお、論文については、その概要も提出してください。提出の際は「提出作品・論文・ポートフォリオ証明書–添付用」（本学所定の様式）を論文又はポートフォリオに貼り付け、あわせて「提出作品・論文・ポートフォリオ証明書–申告用」（本学所定の様式）を提出してください。なお、ポートフォリオはＡ３（見開きＡ２）以内とします。
4	日本語能力試験の成績通知書又は日本留学試験（日本語）の成績通知書等	**【外国人留学生特別入試志願者のみ】** 公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験の成績通知書等又は独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験（EJU）（日本語）の成績通知書等（写しでも可）を提出してください。

本学所定の様式は研究科のウェブサイトに掲載しています。ダウンロードし、A4サイズに印刷して提出してください。

注　ポートフォリオ提出者のうち、作品の提出を希望する者は、試験前日に高岡キャンパスへ持参し、人文・芸術プログラム芸術文化学系の入試担当窓口で受付を行ってください。受付時間は9時～16時までです。作品は、口述試験の際に試験室内へ持ち込むことが可能です。以下に従って提出してください。

①作品には、「提出作品・論文・ポートフォリオ証明書－添付用」（本学所定の様式）を貼っておいてください。貼っていない場合は受け付けることができません。

②「提出作品・論文・ポートフォリオ証明書－申告用」（本学所定の様式）を受付に提出してください。

③作品は、２点まで提出することができます。ただし、作品は受験者本人が自力で試験会場に持ち込んで展示できるものに限ります。

※作品の大きさ等の目安

・平面：150号以内

・立体：自力で持込み、展示が可能なもの（展示に特殊な作業が必要な作品は受付できません。）

出願の際に提出した論文又はポートフォリオについても、口述試験の際に試験室へ持ち込むことが可能です。なお、提出した論文、ポートフォリオ、作品については、試験当日に返却します。

共創経済プログラム

出願書類等		摘　　要
1	志願理由書及び研究計画書	本学所定の様式による。**志願理由書は、手書きで作成すること。**
2	プレゼンテーション資料（３部）	８分以内のプレゼンテーションで用いる資料をマイクロソフト社のパワーポイントを用いて作成し、スライド２枚１ページでカラー印刷したもの。 また、試験当日は投影資料として、パワーポイント形式及びPDF形式のファイルをUSBメモリに保管し持参すること。出願時に提出した資料からの変更は認めない。
3	業績報告書	**【業績を有する者のみ】** 卒業論文、研究調査報告書等の業績を有する者は、その概要をまとめて提出してください。
4	履歴書	**【外国籍を有する者のみ】** 本学所定の様式による。外国語で記載されたものは、日本語訳を添付してください。

5	日本語能力試験の成績通知書又は日本留学試験（日本語）の成績通知書	**【外国籍を有する者のみ】** 公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験（JLPT）**N1** の成績通知書等又は独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験（EJU）の成績通知書等（写しでも可）を提出してください。 ただし、これらの成績通知書を提出できない場合は、提出できない理由を出願前に申し出てください。 なお、日本語能力の確認のための参考資料として活用し、合否判定には影響しません。

本学所定の様式は研究科のウェブサイトに掲載しています。ダウンロードし、A４サイズに印刷して提出してください。

（注）提出書類のうち、外国語で記載されたものは、日本語訳を添付してください。

【総合医薬学研究科（修士課程・博士前期課程）】

出願書類等		摘　　要
1	志望理由書	**【先端医科学プログラム志願者のみ】** 本学所定の様式による。
2	受験承認書	他の大学院等に在学中の者又は官公庁、企業等に在職中の者は、当該大学院研究科長又は所属長の受験承認書を添付してください。（様式任意）
3	TOEFL / TOEIC/ IELTS / のスコアシート（写し） （該当者のみ）	下記の試験のいずれか１つのスコアシートの写しを提出してください。 また、出願時にスコアシートが提出できない場合は、下記の試験を受験したこと又は受験予定であることが確認できる書類（受験票の写し等）を提出した上で入学試験当日までにスコアシートの写しを提出してください。 ①TOEFL-iBT 受験者用控えスコアレポート ②TOEFL-ITP スコアレポート ③TOEIC L&R 公式認定証（Official Score Certificate） ④TOEIC L&R-IP スコアレポート ⑤IELTS 成績証明書（Test Report Form-TRF） なお、スコアシートは入学試験日から過去２年以内の試験を受験したものに限ります。スコアの換算点が50点未満の場合は不合格になりますのでご留意ください。（42～43ページを参照してください。） 試験当日に原本確認を行うため、必ず持参してください。 なお、以下の提出方法も認めます。この場合、試験当日に原本を持参する必要はありません。 ・TOEIC L&Rのデジタル公式認定証：PDF 版を印刷して提出してください。 ・TOEFL IBTのスコア直送：ETSアカウントからＤＩコード（G256）を選択し，出願書類到着期限までに本学に到着するように，スコアの直送を手配してください。併せて、TOEFL IBTのスコアを直送する旨入学志願書の余白に記入してください。 ※看護科学プログラムのみ受験日に制限はありません。
4	在職期間証明書	**【社会人特別入試志願者のみ】** (先端医科学プログラム及び看護科学プログラム志願者) ３年以上の実務経験を有することの所属長の証明書(様式任意) (先端薬科学プログラム志願者) １年以上の実務経験を有することの所属長の証明書(様式任意)
5	業績調書	**【社会人特別入試志願者のみ】** 次の事項を記載したものを提出してください。(様式任意) 〔ア　これまでの業務内容の概要〕400字程度にまとめてください。 〔イ　学会等発表〕すべての報告者名、演題名、学会名、場所、年度を明記し、各内容の要約を100字以内で記してください。 〔ウ　論文等〕すべての著者名、題名、掲載誌、巻、号、ページ、発刊年を明記し、各内容の要約を100字以内で記してください。 〔エ　著書〕すべての著者名、書名、出版社、発刊年を明記するほか、分担の場合は題名を付してください。

本学所定の様式は各研究科・学環のウェブサイトに掲載しています。ダウンロードし、A４サイズに印刷して提出してください。

(注) 英語以外の外国語で記載されたものについては、日本語訳又は英語訳を添付して ください。

【理工学研究科（博士前期課程）】

出願書類等		摘　　要
1	TOEFL / TOEICのスコアレポートのコピー	**【推薦入試、一般入試志願者のみ】** 下記の①から④のいずれかのスコアシートのコピー（A4 サイズ）を提出してください。ただし、複数のスコアシートを持っている場合は２部まで提出可とします。 ①TOEIC Listening & ReadingのOfficial Score Certificate（公式認定証） ②TOEIC-IP のスコアレポート（個人成績表） ③TOEFL iBT の Test Taker（Examinee）Score Report ④TOEFL-ITP のスコアレポート なお、スコアシートは 2023 年 4 月 1 日以降のテストに対し発行されたものに限ります。試験当日に原本確認を行うため、必ず持参してください。原本を持参しなかった場合、選抜の対象とはなりませんので注意してください。 また、以下の提出方法も認めます。この場合、試験当日に原本を持参する必要はありません。 ・TOEIC L&Rのデジタル公式認定証：PDF 版を印刷して提出してください。 ・TOEFL IBTのスコア直送：ETSアカウントからＤＩコード（G256）を選択し，出願書類到着期限までに本学に到着するように，スコアの直送を手配してください。併せて、TOEFL IBTのスコアを直送する旨入学志願書の余白に記入してください。
2	受験承認書 （様式任意）	**【他大学大学院に在籍中の者又は官公庁、会社等に在職中の者】** 当該大学院研究科長又は所属長が作成したもの。（様式任意）
3	推薦書	**【推薦入試志願者のみ】** 本学所定の様式による。出身大学の学長（学部長）、出身学校長又は指導教員が作成し、厳封したもの。官公庁、会社等に在職中の者は、所属長が作成し厳封したもの。
4	志願理由書	**【推薦入試志願者のみ】** 本学所定の様式による。志願者本人が記入したもの。 なお、所定の様式にパソコン等で記入したものも可とします。自筆の場合は黒色のボールペンを用い、文字は楷書でていねいに書いてください。
5	志望理由書	**【一般入試，社会人特別入試，外国人留学生特別入試志願者】** 本学所定の様式による。志願者本人が記入したもの。 なお、所定の様式にパソコン等で記入したものも可とします。自筆の場合は黒色のボールペンを用い、文字は楷書でていねいに書いてください。
6	大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例の適用申請書	**【社会人特別入試志願者のうち、希望者のみ】** 本学所定の様式による。志願者本人が記入したもの。 なお、所定の様式にパソコン等で記入したものも可とします。自筆の場合は黒色のボールペンを用い、文字は楷書でていねいに書いてください。

本学所定の様式は各研究科・学環のウェブサイトに掲載しています。ダウンロードし、Ａ４サイズに印刷して提出してください。

（注）英語以外の外国語で記載されたものについては、日本語訳又は英語訳を添付して ください。

【持続可能社会創成学環（修士課程）】

出願書類等		摘　　要
1	TOEFL / TOEICのスコアレポートのコピー	**【一般入試志願者のみ】** 下記の①から④のいずれかのスコアシートのコピー（A4 サイズ）を提出してください。ただし、複数のスコアシートを持っている場合は２部まで提出可とします。

		①TOEIC Listening & ReadingのOfficial Score Certificate（公式認定証） ②TOEIC-IP のスコアレポート（個人成績表） ③TOEFL iBT の Test Taker（Examinee）Score Report ④TOEFL-ITP のスコアレポート なお、スコアシートは 2023 年 4 月 1 日以降のテストに対し発行されたものに限ります。試験当日に原本確認を行うため、必ず持参してください。原本を持参しなかった場合、選抜の対象とはなりませんので注意してください。 また、以下の提出方法も認めます。この場合、試験当日に原本を持参する必要はありません。 ・TOEIC L&Rのデジタル公式認定証：PDF 版を印刷して提出してください。 ・TOEFL IBTのスコア直送：ETSアカウントからＤＩコード（G256）を選択し，出願書類到着期限までに本学に到着するように，スコアの直送を手配してください。併せて、TOEFL IBTのスコアを直送する旨入学志願書の余白に記入してください。 **※外国籍を有する者で、TOEIC/TOEFL を受験していない場合は、英語能力を示す他の検定等の結果（成績がわかるもの）を提出してください。**
2	推薦書	**【推薦入試・社会人特別入試志願者】** 本学所定の様式による。出身大学の学長（学部長）、出身学校長又は指導教員が作成し、厳封したもの。官公庁、会社等に在職中の者は、所属長が作成し厳封したもの。
3	志願理由書	本学所定の様式による。志願者本人が記入したもの。
4	研究計画書	本学所定の様式による。志願者本人が記入したもの。

本学所定の様式は各研究科・学環のウェブサイトに掲載しています。ダウンロードし、Ａ４サイズに印刷して提出してください。

（注）英語以外の外国語で記載されたものについては、日本語訳又は英語訳を添付して ください。

【医薬理工学環（博士前期課程）】

出願書類等		摘　　要
1	受験承認書	他の大学院等に在学中の者又は官公庁、企業等に在職中の者は、 当該大学院研究科長又は所属長の受験承認書を添付してください。 （様式任意）
2	TOEFL / TOEIC/ IELTS / のスコアシート（写し） （該当者のみ）	下記の試験のいずれか１つのスコアシートの写しを提出してください。 また、出願時にスコアシートが提出できない場合は、下記の試験を受験したこと又は受験予定であることが確認できる書類（受験票の写し等）を提出した上で入学試験当日までにスコアシートの写しを提出してください。 ①TOEFL-iBT 受験者用控えスコアレポート ②TOEFL-ITP スコアレポート ③TOEIC L&R 公式認定証（Official Score Certificate） ④TOEIC L&R-IP スコアレポート ⑤IELTS 成績証明書（Test Report Form-TRF） なお、スコアシートは入学試験日から過去２年以内の試験を受験したものに限ります。スコアの換算点が50点未満の場合は不合格となりますのでご留意ください。（60～61ページを参照してください。） 試験当日に原本確認を行うため、必ず持参してください。 また、以下の提出方法も認めます。この場合、試験当日に原本を持参する必要はありません。 ・TOEIC L&Rのデジタル公式認定証：PDF 版を印刷して提出してください。

		・TOEFL IBTのスコア直送：ETSアカウントからＤＩコード（G256）を選択し，出願書類到着期限までに本学に到着するように，スコアの直送を手配してください。併せて、TOEFL IBTのスコアを直送する旨入学志願書の余白に記入してください。 ※社会人特別入試志願者は受験日に制限はありません。

本学所定の様式は各研究科・学環のウェブサイトに掲載しています。ダウンロードし、Ａ４サイズに印刷して提出してください。

（注）英語以外の外国語で記載されたものについては、日本語訳又は英語訳を添付してください。

（２）博士後期課程

【総合医薬学研究科博士後期課程（看護科学プログラム、先端薬科学プログラム）】

【医薬理工学環博士後期課程（全プログラム）】

【理工学研究科博士後期課程（全プログラム）】

書類等		摘　　要
1	入学志願票	インターネット出願サイトから**Ａ４サイズでカラー印刷**してください。検定料の支払い後に、印刷が可能となります。印字されている内容に誤りがないか必ず確認してください。見本105ページ
2	宛名シート	インターネット出願サイトから**Ａ４サイズでカラー印刷**してください。 市販の角形２号封筒（240mm × 332mm）に剥がれないように貼付してください。印字されている内容に誤りがないか必ず確認してください。 見本106ページ
3	安全保障管理に関する誓約書及び外国貿易法第２５条第１項及び第２項の遵守のための特定類型該当性に関する誓約書	インターネット出願サイトから**Ａ４サイズで印刷**してください。 本要項の「112 安全保障輸出管理について」（101ページ）及び誓約書の内容を確認し、出願者本人が自署の上、必ず提出してください。
4	修了（見込）証明書	出身大学長又は大学院研究科等の長が作成したもの。 本学大学院修士課程・博士前期課程出身（修了見込）者は提出する必要はありません。 外国人留学生でやむを得ず提出できない場合は必ず修了証書本紙を事前に受付窓口に呈示し、修了証書の写しを提出してください。
5	出身大学院の成績証明書	出身大学長又は大学院研究科等の長が作成し厳封したもの。 ただし、偽造・複写防止用紙使用の場合は厳封不要です。
6	出身大学学部の成績証明書	出身大学長又は学部長が作成し厳封したもの。 ただし、偽造・複写防止用紙使用の場合は厳封不要です。
7	住民票の写し等（外国人のみ）	**【日本国内に居住している外国籍を有する者のみ提出】** 現に日本国に在住している外国人は、居住している市町村長又は特別区長の交付する住民票の写し又は在留カードの写し(両面)（在留資格が明示されているもの）を添付してください。
8	修士論文又はこれにかわるもの	１部 （出願資格認定申請による出願者は「研究論文一覧表（学会発表を含む。）」（本学所定の様式）をこれにかえて提出することもできます。）
9	上記論文等の要旨	２部 Ａ４判、上質紙１ページ以内（図表等を添付する場合は別ページとし、全体で２ページ以内）とし、論文題目、氏名を明記してください。本文は、11ポイント以上の文字サイズで、上下左右20㎜以上の余白をとることとします。 （出願資格認定申請による出願者は、「研究及び業務内容の概要（Ａ４判で2,000字程度にまとめたもの）」をこれにかえて提出することもできます。）

10	研究計画書 （該当者のみ）	**【理工学研究科 一般入試、社会人特別入試、外国人留学生特別入試志願者】** 本学所定の様式による。
11	博士学位論文作成計画書、研究業績資料等 （該当者のみ）	**【理工学研究科 社会人早期修了入試志願者】** 本学所定の様式による。併せて，査読付き学術論文の写し又は登録特許を証明するもの等を提出してください。
12	研究業績資料 （該当者のみ）	**【社会人短期修了制度の申請者のみ】** ・申請要件を満たす学術論文（写でも可） ・申請要件を満たす学術論文の要旨(本学所定の様式) **※社会人短期修了制度については７ページを参照してください。**
13	受験承認書 （様式任意）	**【社会人早期修了入試志願者】** **【一般入試、社会人特別入試、外国人留学生特別入試志願者の内、他大学大学院に在籍中の者又は官公庁、会社等に在職中の者】** 当該大学院研究科等の長又は所属長が作成したもの。
14	TOEFL / TOEIC/ IELTS / のスコアシート（写し） （該当者のみ）	**【外部英語試験を利用して出願する者のみ提出】** 下記の試験のいずれか１つのスコアシートの写しを提出してください。 また、出願時にスコアシートが提出できない場合は、下記の試験を受験したこと又は受験予定であることが確認できる書類（受験票の写し等）を提出した上で入学試験当日までにスコアシートの写しを提出してください。 ①TOEFL-iBT 受験者用控えスコアレポート ②TOEFL-ITP スコアレポート ③TOEIC L&R 公式認定証（Official Score Certificate） ④TOEIC L&R-IP スコアレポート ⑤IELTS 成績証明書（Test Report Form-TRF） なお、スコアシートは入学試験日から過去４年以内の試験を受験したものに限ります。スコアの換算点が50点未満の場合は不合格となりますのでご留意ください。（71～72、78～79ページを参照してください。） 試験当日に原本確認を行うため、必ず持参してください。 また、以下の提出方法も認めます。この場合、試験当日に原本を持参する必要はありません。 ・TOEIC L&Rのデジタル公式認定証：PDF 版を印刷して提出してください。 ・TOEFL IBTのスコア直送：ETSアカウントからＤＩコード（G256）を選択し，出願書類到着期限までに本学に到着するように，スコアの直送を手配してください。併せて、TOEFL IBTのスコアを直送する旨入学志願書の余白に記入してください。 ※看護科学プログラムのみ受験日に制限はありません。

本学所定の様式は各研究科・学環のウェブサイトに掲載しています。ダウンロードし、Ａ４サイズに印刷して提出してください。

※入学検定料（30,000円）は、「共通事項　２．出願の流れ」（81ページ）に従って、インターネット出願サイトから支払手続を行ってください。

入学検定料の支払方法は、日本国内の場合は、コンビニエンスストア、クレジットカード、ネットバンキング、ペイジー対応郵便局・銀行ATMのいずれかとなります。日本国外の場合は、クレジットカードでお支払いください。入学検定料のほか、支払いにかかる手数料が別途必要です。

（３）博士課程

【総合医薬学研究科博士課程（生命・臨床医学プログラム、臨床薬学プログラム）】

書類等		摘　　要
1	入学志願票	インターネット出願サイトから**Ａ４サイズでカラー印刷**してください。検定料の支払い後に、印刷が可能となります。印字されている内容に誤りがないか必ず確認してください。見本105ページ
2	宛名シート	インターネット出願サイトから**Ａ４サイズでカラー印刷**してください。 市販の角形２号封筒（240mm × 332mm）に剥がれないように貼付してください。印字されている内容に誤りがないか必ず確認してください。 見本106ページ

3	安全保障管理に関する誓約書及び外国貿易法第２５条第１項及び第２項の遵守のための特定類型該当性に関する誓約書	インターネット出願サイトから**Ａ４サイズで印刷**してください。 本要項の「112 安全保障輸出管理について」（101ページ）及び誓約書の内容を確認し、出願者本人が自署の上、必ず提出してください。
4	卒業（見込）証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの。 本学出身者は提出する必要はありません。 外国人留学生でやむを得ず提出できない場合は必ず卒業証書原本を事前に受付窓口に呈示し、卒業証書の写しを提出してください。
5	出身大学学部の成績証明書	出身大学長又は学部長が作成し厳封したもの。 ただし、偽造・複写防止用紙使用の場合は厳封不要です。
6	住民票の写し等 （外国人のみ）	**【日本国内に居住している外国籍を有する者のみ提出】** 現に日本国に在住している外国人は、居住している市町村長又は特別区長の交付する住民票の写し又は在留カードの写し(両面)（在留資格が明示されているもの）を添付してください。
7	卒業論文又はこれにかわるもの	**【博士課程臨床薬学プログラム志願者のみ提出】** １部 （出願資格認定申請による出願者は「研究論文一覧表（学会発表を含む。）」（本学所定の様式）をこれにかえて提出することもできます。）
8	上記論文等の要旨	**【博士課程臨床薬学プログラム志願者のみ提出】** ２部 Ａ４判、上質紙１ページ以内（図表等を添付する場合は別ページとし、全体で２ページ以内）とし、論文題目、氏名を明記してください。本文は、11ポイント以上の文字サイズで、上下左右20㎜以上の余白をとることとします。 （出願資格認定申請による出願者は、「研究及び業務内容の概要（Ａ４判で2,000字程度にまとめたもの）」をこれにかえて提出することもできます。）
9	研究業績資料 （該当者のみ）	**【社会人短期修了制度の申請者】** ・出願要件を満たす学術論文（写でも可） ・出願要件を満たす学術論文の要旨(本学所定の様式) **※社会人短期修了制度については７ページを参照してください。**
10	受験承認書 （様式任意）	**【他大学大学院に在籍中の者又は官公庁、会社等に在職中の者】** 当該大学院研究科等の長又は所属長が作成したもの。
11	TOEFL/TOEIC/IELTS / のスコアシート（写し） （該当者のみ）	**【外部英語試験を利用して出願する者のみ提出】** 下記の試験のいずれか１つのスコアシートの写しを提出してください。 また、出願時にスコアシートが提出できない場合は、下記の試験を受験したこと又は受験予定であることが確認できる書類（受験票の写し等）を提出した上で入学試験当日までにスコアシートの写しを提出してください。 ①TOEFL-iBT 受験者用控えスコアレポート ②TOEFL-ITP スコアレポート ③TOEIC L&R 公式認定証（Official Score Certificate） ④TOEIC L&R-IP スコアレポート ⑤IELTS 成績証明書（Test Report Form-TRF） なお、スコアシートは入学試験日から過去４年以内の試験を受験したものに限ります。スコアの換算点が以下に満たない場合は不合格となりますのでご留意ください。（71～72ページを参照してください。） 生命・臨床医学プログラム：60点未満 臨床薬学プログラム：50点未満 試験当日に原本確認を行うため、必ず持参してください。 また、以下の提出方法も認めます。この場合、試験当日に原本を持参する必要はありません。 ・TOEIC L&Rのデジタル公式認定証：PDF 版を印刷して提出してください。

		・TOEFL IBTのスコア直送：ETSアカウントからＤＩコード（G256）を選択し，出願書類到着期限までに本学に到着するように，スコアの直送を手配してください。併せて、TOEFL IBTのスコアを直送する旨入学志願書の余白に記入してください。 ※生命・臨床医学プログラムのみ受験日に制限はありません。

本学所定の様式は各研究科・学環のウェブサイトに掲載しています。ダウンロードし、Ａ４サイズに印刷して提出してください。

※入学検定料（30,000円）は、「共通事項　２．出願の流れ」（81ページ）に従って、インターネット出願サイトから支払手続を行ってください。

入学検定料の支払方法は、日本国内の場合は、コンビニエンスストア、クレジットカード、ネットバンキング、ペイジー対応郵便局・銀行ATMのいずれかとなります。日本国外の場合は、クレジットカードでお支払いください。入学検定料のほか、支払いにかかる手数料が別途必要です。

6　出願上の注意事項

①志願者本人が作成する書類において、ChatGPT等の生成ＡＩを利用することは禁止します。
②出願書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
③受理された出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。
④入学許可の後においても、提出書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学を取り消すことがあります。
⑤入学検定料に不足のあるものは受理しません。
⑥出願手続後の書類の変更は認めません。
⑦所定の試験を一部でも受験しない者は、入学者選抜の対象から除きます。

7　出願資格の事前審査

（1）修士課程・博士前期課程

一般入試における出願資格(9)、(10)、(11)又は（12）により出願しようとする者は、事前に出願資格審査を行いますので、必ず電話等により照会のうえ、期日までに所定の書類を提出してください。申請期限日の午後4時までに必着とします。直接持参する場合は、午前9時から午後4時までの間、受け付けます。 人文社会芸術総合研究科においては、持参による書類の提出は認めませんので注意してください。

なお、出願資格の事前審査の結果は、**各入試における出願受付開始日前日までに本人宛に通知します。**

【出願資格審査照会・提出先】　102ページ

【出願資格審査に必要とする書類】

出願資格	申請書類
一般入試（9）	①出願資格認定審査申請書（本学所定の用紙） ②学業成績証明書 ③出願者の所属する学科等の教育課程表　※人文社会芸術総合研究科志願者のみ ④在学証明書、在籍期間証明書又は卒業証明書 ⑤住民票の写し（日本国内に居住している外国籍を有する者のみ提出） ⑥履歴書（様式任意、ただし外国籍を有する者は、本学所定の用紙） ⑦返信用封筒（長形３号封筒に住所氏名を明記し、410円の郵便切手を貼ること）
一般入試（10）	①出願資格認定審査申請書（所定の様式） ②学業成績証明書（出身学校等の様式） ③卒業（修了）証明書（出身学校等の様式） ④大学・研究機関等の発行する研究歴、業務経験歴証明書又は見込み証明書 ※理工学研究科志願者のみ ⑤志望理由書（所定の様式）※理工学研究科志願者のみ ⑥返信用封筒（長形３号封筒に住所氏名を明記し、410円の郵便切手を貼ること）
一般入試（11）	①出願資格認定審査申請書（所定の様式）

※大学に３年以上在学（見込）の者	②学業成績証明書（在学大学・学部の様式） ③在学証明書（本学学生は不要） ④所属大学等の教育課程表 ⑤推薦書【出願資格審査認定用】（所定の様式）※理工学研究科及び持続可能社会創成学環志願者のみ ⑥志望理由書（所定の様式）※理工学研究科志願者のみ ⑦返信用封筒（長形３号封筒に住所氏名を明記し、410円の郵便切手を貼ること）
一般入試（11） ※外国において学校教育における15年の課程を修了の者	①出願資格認定審査申請書（所定の様式） ②学業成績証明書（在学大学・学部の様式） ③在学証明書（在学大学・学部の様式） ④所属大学等の教育課程表 ⑤推薦書【出願資格審査認定用】（所定の様式）※持続可能社会創成学環志願者のみ ⑥志望理由書（所定の様式）※理工学研究科志願者のみ ⑦返信用封筒（長形３号封筒に住所氏名を明記し、410円の郵便切手を貼ること）
一般入試（12）	①出願資格認定審査申請書（所定の様式） ②学業成績証明書（在学大学・学部の様式） ③卒業証明書（出身大学・学部の様式） ④所属大学等の教育課程表 ⑤大学・研究機関等の発行する研究歴証明書又は見込み証明書 ⑥志望理由書（所定の様式）※理工学研究科志願者のみ ⑦返信用封筒（長形３号封筒に住所氏名を明記し、410円の郵便切手を貼ること）

本学所定の様式は各研究科・学環のウェブサイトに掲載しています。ダウンロードし、Ａ４サイズに印刷して提出してください。

※英語以外の外国語で記載されたものについては、日本語訳又は英語訳を添付してください。

（２）博士課程・博士後期課程

博士後期課程一般入試の出願資格(7)、（8）、博士課程一般入試の出願資格（7）～（10）により出願しようとする者は、事前に出願資格審査を行います。必ず電話等により事前に照会のうえ、期日までに所定の書類を提出してください。申請期限日の午後4時までに必着とします。直接持参する場合は、午前9時から午後4時までの間、受け付けます。

なお、出願資格の事前審査の結果は、**各入試における出願受付開始日前日までに本人宛に通知します。**

【出願資格審査照会・提出先】

102ページを参照してください。

【出願資格審査に必要とする書類】

各証明書は、原本を提出してください。写しが提出された場合は受理しません。英語以外の外国語で記載されたものについては、日本語訳又は英語訳を添付してください。本学所定の様式は各研究科・学環のウェブサイトに掲載しています。ダウンロードし、Ａ４サイズに印刷して提出してください。

【理工学研究科】

①出願資格認定審査申請書（本学所定の様式）
②最終出身学校の卒業証明書
③最終出身学校の成績証明書（出身大学等の学長又は学部長が作成し、厳封したもの。）
④研究及び業務上の業績調書（本学所定の様式）
⑤論文別刷等

【総合医薬学研究科及び医薬理工学環】

①出願資格認定審査申請書（本学所定の様式）
②最終出身学校の卒業証明書
③最終出身学校の成績証明書（出身大学等の学長又は学部長が作成し、厳封したもの。）

④ 研究及び業務内容の概要
⑤ 研究論文一覧表（学会発表を含む。）（本学所定の様式）
⑥ 長形３号の返信用封筒（410円分の切手を貼付し、あて名、郵便番号を明記したもの）
⑦ 住民票の写し（現に日本国に在住している外国人志願者のみ）

8　受験票及び受験上の注意事項の印刷

(1) 受験票は、志願者が郵送した出願書類を本学が受理した後、受験票等発行日以降に、インターネット出願サイト上で印刷ができるようになります。なお、受験票の印刷が可能になりましたら、インターネット出願時に登録した志願者のメールアドレスへ通知します。
受験票等発行日は本要項内の各研究科・学環の入学試験関係日程で確認して下さい。（注）
（注）受験票等発行日は予定のため、変更になる可能性があります。

(2) インターネット出願サイトの「ログイン」からマイページにログインします。ログインするためには【メールアドレス・ご自身で設定したパスワード】が必要になります。

(3) ログイン後、受験票をダウンロードしてください。受験票は、Ａ４用紙にカラー印刷して、必ず試験当日に持参してください。また、受験票と一緒に受験上の注意事項が印刷されますので、必ず事前に熟読してください。なお、総合医薬学研究科、持続可能社会創成学環及び医薬理工学環においては、受験上の注意事項はメールで通知します。

注意事項

(1) 受験票を印刷後、記載内容を必ず確認してください。出願登録した内容と異なっている場合は、各研究科等の問合先（102ページ）へ速やかに連絡してください。
　また、パソコン等の画面上の受験番号と、実際に印刷された受験票の受験番号が、一致していることを必ず確認してください。

(2) メールが届かない場合でも、インターネット出願サイトにログインして受験票を印刷してください。

(3) インターネット出願登録した際の受付番号は、受験番号ではありません。試験当日は受付番号での受験はできませんので、必ず受験票を持参してください。

(4) 試験当日に、スマートフォン等での画面表示による受験票の提示は認めません。必ず印刷した受験票を持参し、試験終了後も大切に保管してください。

9　不正行為について

(1) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示し、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての教科・科目の成績を無効とします。
ア　本学インターネット出願において故意に虚偽の情報を登録すること。また、本学インターネット出願サイトから取得した受験票等の内容を改ざんすること。
イ　解答用紙へ故意に虚偽の記入（解答用紙に本人以外の受験番号を記入すること等）をすること。
ウ　カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わること等）をすること。
エ　他の受験者に答えを教えるなどカンニングの手助けをすること。
オ　配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
カ　解答用紙を試験室から持ち出すこと。
キ「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めたりすること。
ク　試験時間中に、持ち込みを許可されたもの以外の補助具（定規、コンパス、電卓等）を使用すること。
ケ　試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
コ「解答やめ。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けたりすること。

(2) オンライン試験の場合は、上記(1)のほか、次のことをすると不正行為になります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、(1)と同様です。
ア　本人以外の者が受験すること。
ア　オンライン試験中に他者と連絡を取ること。また、他者の協力を得て解答を作成すること。
イ　面接試験で虚偽の回答をすること。
ウ　撮影、録音、録画、外部通信等の手段によって、事前の接続テストを含め、試験に関係する全ての内容を外部に漏洩すること。
エ　試験担当者の指示に違反すること。

(3)　上記(1)、(2)以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、(1)と同様です。

ア　試験時間中に、定規、コンパス、電卓等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすること。

イ　試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信、アラーム、振動音等）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。

ウ　試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。

エ　試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。

オ　試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。

カ　その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

上記(1)から(3)について、追加・変更が発生する場合は、本学ウェブサイト及びインターネット出願サイトを通じて、受験者に案内します。

10　入学手続

入学手続の詳細は合格者に通知します。入学手続日は各研究科等のページで確認してください。

なお、理工学研究科博士前期課程推薦入試合格者は、入学手続の前に、研究科が定めた期限までに入学確約書の提出が必要となります。詳細は51ページを確認してください。入学確約書を提出しない者は、本学に入学の意思がないものとして取り扱います。

(1) 入学手続に必要な経費等

ア　入学料 282,000円（予定額）

（注）　① 上記の入学料は予定額であり、入学時に入学料が改定された場合は、改定時から新たな入学料が適用されます。
② 納付された入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

イ　その他

①　入学料の納付が困難と認められる場合には、申請に基づき選考の上、免除・徴収猶予されることがあります。

②　授業料については、入学後に納付することとなります。なお、納付金額・納付方法については入学手続時に案内します。

＜参考＞令和８年度授業料 年額535,800円

③ 独立行政法人日本学生支援機構の貸与型奨学金制度があります。

④ 学生教育研究災害傷害保険制度等の経費が別途必要です。

(2) 注意事項

入学手続期間内に入学手続を完了しない者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

(3) 入学案内／学生生活

本学の入学者が利用できる主な制度をお知らせします。これらの詳細な内容は、合格発表の際に、合格通知書とあわせて本学から合格者に送付します。また、本学ウェブサイトでも情報提供します。

①入学料及び授業料の免除等の制度
（本学トップページ）→「教育・学生支援」→「経済的支援」→「授業料・入学料免除」
https://www.u-toyama.ac.jp/studentsupport/financial-support/exemption/

②奨学金制度
（本学トップページ）→「教育・学生支援」→「経済的支援」→「奨学金制度」
https://www.u-toyama.ac.jp/studentsupport/financial-support/scholarship/

③学生保険制度
学生が安心して学生生活（教育研究活動、課外活動、学外実習、通学等）を送ることができるよう、「学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険」に全員加入としています。
（本学トップページ）→「教育・学生支援」→「学生支援」→「学生保険」
https://www.u-toyama.ac.jp/studentsupport/student-support/insurance/

④学生寮（新樹寮）
（本学トップページ）→「教育・学生支援」→「学生支援」→「学生寮・アパート等」
https://www.u-toyama.ac.jp/studentsupport/student-support/dormitory/

⑤アパート・マンションの紹介
アパート・マンションの紹介は、富山大学生活協同組合で行っています。

上記に係る問い合わせ先
①～④：入学後に所属するキャンパスの問い合せ先に連絡してください。
【五福キャンパス】富山大学学務部学生支援課
免除等担当 TEL（076）445－6087 奨学金担当 TEL（076）445－6089

学生寮担当 TEL（076）445－6090 学生保険担当 TEL（076）445－6085
【杉谷キャンパス】富山大学杉谷地区事務部学務課 TEL（076）434－7124
【高岡キャンパス】富山大学芸術系総務・学務課総務課 学務担当 TEL（0766）25－9131
⑤：富山大学生活協同組合 TEL（0120）31－4248
受験生・新入生サポートサイト（https://www.coop.u-toyama.ac.jp/）

11　入学志願者の個人情報保護について

本学が保有する個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」 及び「国立大学法人富山大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。

(1) 出願にあたって知り得た氏名、住所その他個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、⑤これらに付随する業務を行うために利用します。

(2) 出願にあたって知り得た個人情報は、本学入学手続完了者についてのみ、入学前における準備教育及び入学後における①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、授業料免除、奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収に関する業務、④統計調査及び分析を行うために利用します。

(3) 本学合格者についての受験番号、氏名及び住所に限り、課外活動団体並びに本学の関係団体である同窓会、後援会及び生活協同組合からの連絡を行うために利用する場合があります。
注 上記団体からの連絡を希望しない場合は、各研究科等の事務担当（102ページ）にその旨申し出てください。

(4) 各種業務での利用にあたっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。業務委託にあたり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部または一部を提供しますが、 守秘義務を遵守するよう指導します。

12　安全保障輸出管理について

富山大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人富山大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供、貨物の輸出の観点から、安全保障輸出管理について厳格な審査を行っています。規制されている事項に該当する場合は、入学を許可できない場合や希望する教育が受けられない、希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、出願にあたっては注意してください。

【参考】「国立大学法人富山大学安全保障輸出管理規則」
URL http://www3.u-toyama.ac.jp/soumu/kisoku/pdf/0110401.pdf

13　障害等のある入学志願者の事前相談

障害等（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱、怪我、発達障害等）があって、受験上及び修学上特別な配慮を希望する入学志願者は、出願に先立ち、各研究科等の担当（102ページ）へ事前相談を行ってください。

なお、必要に応じて、本学において入学志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行うことがあります。

※事前相談の申請を行った場合でも、本学への出願が義務付けられるわけではありません。

(1) 相談期限
各研究科等のページを参照してください。

(2) 相談方法
本学ウェブサイトから事前相談申請書をダウンロードするか、下記事項を記載した申請書を作成し、医師の診断書（写しでも可）等を添え、各研究科等の担当 (102ページ)へ提出してください。

① 氏名・性別・生年月日・住所・電話番号・メールアドレス
② 志望のプログラム・受験する入試区分
③ 障害等の種類・程度
④ 受験の際に特別な配慮を希望する事項
⑤ 修学の際に特別な配慮を希望する事項
⑥ 出身大学等でとられていた措置（担任教員の所見のあるもの）
⑦ 日常生活の状況
⑧ その他参考となる事項（相談する際の参考資料があれば、併せて提出してください。例：身体障害者手帳の写し等）

（参考）事前相談申請書掲載ページ
（本学トップページ）→「入試情報」→「障害等のある入学志願者の事前相談」

（注） 日常生活で使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を、受験時に使用したい場合も、試験場設定等において配慮が必要となる場合がありますので、必ず事前に相談してください。
事前相談は、障害等のある入学志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験及び修学にあたってより良い方法やあり方を実現するためのもので、障害等のある方の受験や修

学を制限するものではありません。
（参考）国立大学法人富山大学障害を理由とする差別の解消の推進に関する職員対応要領
（本学トップページ）→「大学紹介」→「情報公開→「大学運営に関する情報」を確認してください。

14　書類提出先・問合せ先

研究科等	課程	担当・連絡先	提出先	学生募集要項・出願書類
人文社会芸術総合研究科 心理学プログラム 人文・芸術プログラム （人文科学系）	修士課程	人社系学務課 （人文学部入試担当） TEL：076-445-6138 E-mail： jinbunk＊adm.u-toyama.ac.jp	〒930-8555 富山市五福 3190	入試情報｜富山大学院人文社会芸術総合研究科
人文社会芸術総合研究科 人文・芸術プログラム （芸術文化学系）		芸術系総務・学務課 （入試担当） TEL：0766-25-9130 E-mail： tkyomu1＊adm.u-toyama.ac.jp	〒933-8588 高岡市二上 町 180	
人文社会芸術総合研究科 共創経済プログラム		人社系学務課 （経済学部入試担当） TEL：076-445-6410 E-mail： keikyomu＊adm.u-toyama.ac.jp	〒930-8555 富山市五福 3190	
総合医薬学研究科	修士課程・ 博士前期課程 博士課程・ 博士後期課程	杉谷地区事務部学務課 （入試担当） TEL：076-434-7658 E-mail： mpin＊adm.u-toyama.ac.jp	〒930-0194 富山市杉谷 2630	入試情報｜富山大学院総合医薬学研究科
理工学研究科	博士前期課程 博士後期課程	理工系学務課 （大学院入試担当） TEL：076-445-6399 E-mail： rikougs＊adm.u-toyama.ac.jp	〒930-8555 富山市五福 3190	入試情報｜富山大学大学院理工学研究科
持続可能社会創成学環	修士課程	理工系学務課 （入試担当） TEL：076-445-6546 E-mail： rikyoumu＊adm.u-toyama.ac.jp	〒930-8555 富山市五福 3190	入試情報｜富山大学大学院持続可能社会創成学環
医薬理工学環	博士前期課程 博士後期課程	杉谷地区事務部学務課 （入試担当） TEL：076-434-7658 E-mail： mpin＊adm.u-toyama.ac.jp	〒930-0194 富山市杉谷 2630	入試情報｜富山大学大学院医薬理工学環

上記連絡先のE-mailは「＊」を「@」に変更してください。

【その他（入試全般）】

学務部入試課　TEL：076-445-6100　〒930-8555　富山市五福3190

大学院入試情報
トップページ

添付書類

見本 ※様式は変更する場合があります。

令和９年度富山大学大学院 修士課程 入学志願票 （一般入試 令和9年4月入学）

フリガナ 氏名	トミヤマ　タロウ 富山 太郎	性別 Gender	生年月日/Date of birth	国籍 （外国籍の方のみ）
Name	Tomiyama Taro	男	2001年4月1日	

志願者連絡先 （合格通知等 送付先） Applicant Contact (Notification of Acceptance, etc. Mailing address)	郵便番号 〒930-0887			携帯電話	090-0000-0000
	富山県 富山市五福 3190　　五福アパート　１０３号室				
	e-mail	sample@xxxx.mail.com			
その他連絡先 Other Contacts	氏名			志願者 との関係	父
	郵便番号 〒930-0887	電話番号	000-0000-000	携帯電話番号	111-1111-1111
	富山県 富山市五福 3190　　五福アパート　１０３号室				

志望研究科等 Desired Graduate School, etc.	研究科・学環・ 専攻名	人文社会芸術総合研究科人文社会芸術総合専攻	
	プログラム・コース名	共創経済プログラム	
	分野、指導教員名	第１志望分野	△△△△△
		第２志望分野	▲▲▲▲▲
		第１希望指導教員名	○○○○
		第２希望指導教員名	●●●●
		第３希望指導教員名	

出願資格 qualifications of candidacy	国立　　富山大学　　○学部○学科○○コース○年次在学

学歴 academic background	2022年3月	○○高等学校　卒業
職歴 professional background		
賞罰 rewards and penalities	なし	

公認心理師	

※人文社会芸術総合研究科　心理学プログラム 志願者のみ表示

外部英語試験の スコア	

※以下の志願者のみ表示
・総合医薬学研究科
・医薬理工学環

（注）本用紙は，A4サイズでカラー印刷してください

見本

※志願する研究科・学環、プログラムによって送付先は異なります。必ずインターネット出願システムから出力された宛名シートを利用してください。

速　　達

郵便局の窓口から郵送してください

9 3 0 − 8 5 5 5

富山市五福3190

富山大学

経済学部（入試担当）行

書留速達

⑨

入学願書在中

選　抜　区　分	一般入試

課　　程	修士課程
志　望　大　学　院	人文社会芸術総合研究科人文社会芸術総合専攻
志望プログラム名等	共創経済プログラム

志願者	住　　所	〒930-0887 富山県富山市五福3190五福アパート　１０３号室
	氏　　名	富山　太郎

【様式3-①】

安全保障輸出管理に関する誓約書（入学・採用時）

富山大学長　殿

貴学への入学（採用）に際し、在学（在職）中は、以下の事項を遵守することを誓約します。

1　次のいずれかに該当する場合は、学生にあっては指導教員若しくは助言教員に、教員・研究者にあっては所属部局の安全保障輸出管理アドバイザーに相談するとともに、必要な場合には、日本国政府が定める外国為替及び外国貿易法及びこれに基づく関係法令並びに貴学が定める内部規程のほか、何らかの外国政府の輸出管理規制の対象となる場合にあっては当該規制にも従い、所定の手続を行います。

一　研究上の技術情報や実験データを、外国、若しくは非居住者※（日本入国後6か月未満の外国人、外国に滞在する日本人、日本法人の外国にある支店等）、若しくは非居住者の影響を強く受けている居住者（特定類型※に該当する者）に対して提供しようとする場合、又はこれを在学（在職）後に提供することが在学（在職）中に明らかとなった場合

二　研究上の使用機器若しくは使用材料若しくは研究の結果得られた有体物を、外国に輸出（送付又は持出し）しようとする場合、又はこれらを在学（在職）後に輸出することが在学（在職）中に明らかとなった場合

2　研究上の技術情報や実験データを、大量破壊兵器（核兵器、化学兵器、生物兵器、ロケット、無人航空機）及び通常兵器又はこれらに使用される材料・部品・製品の開発、製造、使用又は貯蔵に用いず、当該技術情報や実験データの使用は民生用途に限ります。

上記内容を確認しました。

日付＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

署名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

参考

安全保障貿易管理　https://www.meti.go.jp/policy/anpo/index.html
外国為替及び外国貿易法　https://www.meti.go.jp/policy/anpo/law01.html

※非居住者　詳細定義については、以下URLのP30参照のこと
https://www.meti.go.jp/policy/anpo/law_document/tutatu/t07sonota/t07sonota_jishukanri03.pdf

※特定類型　詳細定義については、以下URLのP4参照のこと
https://www.meti.go.jp/policy/anpo/law_document/minashi/jp_daigaku.pdf

【様式 13】

外国為替及び外国貿易法第２５条第１項及び第２項の遵守のための
特定類型該当性に関する誓約書

富山大学長　殿

年　月　日

住所

氏名

署名

私は、貴学が「外国為替及び外国貿易法第２５条第１項及び外国為替令第１７条第２項の規定に基づき許可を要する技術を提供する取引又は行為について」（平成４年１２月２１日付け４貿局第４９２号。以下「役務通達」という。）の１（３）サ①又は②に該当する居住者に対して技術の提供を行う場合は、外国為替及び外国貿易法第２５条第１項及び第２項に基づき経済産業大臣の許可が必要になる可能性があることを理解し、貴学の法令遵守のため、役務通達の１（３）サ①又は②に該当するか否かについて、下記のとおり誓約いたします。

記

私は、

□ 以下の①に該当します。
□ 以下の②に該当します。
□ 以下の①及び②に該当します。
□ 以下のいずれにも該当しませんので、誓約は不要です。

① 外国法令に基づいて設立された法人その他の団体（以下「外国法人等」という。）又は外国の政府、外国の政府機関、外国の地方公共団体、外国の中央銀行並びに外国の政党その他の政治団体（以下「外国政府等」という。）との間で雇用契約、委任契約、請負契約その他の契約を締結しており、当該契約に基づき当該外国法人等若しくは当該外国政府等の指揮命令に服する又は当該外国法人等若しくは当該外国政府等に対して善管注意義務を負う者（次に掲げる場合を除く。）

（イ） 当該者が本邦法人との間で雇用契約、委任契約、請負契約その他の契約を締結しており、当該契約に基づき当該本邦法人の指揮命令に服する又は当該本邦法人に対して善管注意義務を負う場合において、当該本邦法人又は当該者が、当該外国法人等又は当該外国政府等との間で、当該本邦法人による当該者に対する指揮命令又は当

該本邦法人に対して当該者が負う善管注意義務が、当該外国法人等若しくは当該外国政府等による当該者に対する指揮命令又は当該外国法人等若しくは当該外国政府等に対して当該者が負う善管注意義務よりも優先すると合意している場合

（ロ）　当該者が本邦法人との間で雇用契約、委任契約、請負契約その他の契約を締結しており、当該契約に基づき当該本邦法人の指揮命令に服する又は当該本邦法人に対して善管注意義務を負う場合において、グループ外国法人等（当該本邦法人の議決権の５０％以上を直接若しくは間接に保有する外国法人等又は当該本邦法人により議決権の５０％以上を直接若しくは間接に保有される外国法人等をいう。以下同じ。）との間で雇用契約、委任契約、請負契約その他の契約を締結しており、当該契約に基づき当該グループ外国法人等の指揮命令に服する又は当該グループ外国法人等に対して善管注意義務を負う場合

②　外国政府等から多額の金銭その他の重大な利益（金銭換算する場合に当該者の年間所得のうち２５％以上を占める金銭その他の利益をいう。）を得ている者又は得ることを約している者

【出願書類ではありません】

年　　月　　日

検定料返還請求書

富山大学長　宛

請求者（志願者）
フリガナ
氏　　名

富山大学へ｛・出願しなかった ・二重に払い込んだ ・多く払い込んだ｝ため，下記のとおり検定料の返還を請求いたします。

請求金額	金　　円		
振込先金融機関名			
支店名・出張所名等	支店 出張所		
預金種目	普通・当座・その他（　　）	口座番号 （右詰め）	
口座名義	フリガナ		請求者との続柄
	氏名		
受付番号	インターネット出願サイトの受付番号を記入してください。（12桁）		
住所	〒　－		
電話番号	（　　）　　－		

※返還時の振込手数料は、受取人負担とします。

送付先：〒930-8555 富山市五福3190 富山大学財務施設部経理第一課